

# 道内市町村史に記載されている「国土保全」に関連する 項目の索引

平成26(2014)年5月22日まとめ

- 【趣旨】 災害対策の第一歩は過去にどのような現象が発生していたかを調べることです。明治以前の記録が一般的に乏しい北海道において、各自治体から発行されている市町村史は貴重な資料の一つであり、その中に記載されている内容を全道的に網羅できるように索引を作成しました。本資料が各自治体の地域防災力向上のお役に立てれば幸いです。
- 【解説】 北海道内の市町村史(合併前も含む)に記載されている情報について、以下の様な分野の記述についての索引を作成しました。  
アイヌ伝承等 : 民話, 伝承(災害, 集落等の喪失, 神の怒り, 人柱・生贄, 災害を想起させる動物の暗喩など), 地名に関連するアイヌ語  
災害 : 土砂災害, 火山噴火, 地震, 津波, 大雨, 洪水, 台風, 山火事, 凶作, 冷害など  
地名 : 由来など  
地形, 地質 : 地形, 地質, 火山, 河川など  
移住 : 災害に伴う道内外における住民の流出, 流入など
- 【調査期間】 平成25(2013)年9月～平成26(2014)年5月
- 【注意事項】 1. 「〇〇(市町村名)史」として最も最近発行された資料の調査を目指しましたが、必ずしもそうになっていないことがあります。  
2. 一部市町村においては、過去の資料または派生資料(七十年史等)が含まれている場合があります。  
3. 北海道大学図書館に所蔵されていない資料など一部未調査のところがあります。  
4. 今後の追加調査により内容が修正される可能性があります。
- 【謝辞】 本調査は文学部の学生諸氏に協力してもらいました。  
(守山尚明君, 富山遥香さん, 宮本祐佑君, 中川裕也君, 小林あかりさん)
- 本調査は(一財)砂防・地すべり技術センターの研究開発助成制度に基づく助成を受けて実施しました。

国土保全学研究室(大学院農学研究院)  
<http://www.agr.hokudai.ac.jp/kokudohozen/index.html>



## 更新履歴

平成26(2014)年5月22日

追加

平取町、留寿都村、ニセコ町、倶知安町、剣淵町、愛別町、上富良野町、美瑛町、和寒町、当麻町、妹背牛町、雨竜町、新十津川町、長沼町、南幌町、岩見沢市、奈井江町、美唄市、新篠津村に追加

平成26(2014)年3月31日  
平成26(2014)年2月19日

追加  
公表

佐呂間町、豊頃町、清水町に追加

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1	石狩	札幌市	札幌の自然史			○				『新札幌市史第一巻』平成元年3月28日, pp3~pp122
2	石狩	札幌市	アイヌ民族の成立	○						『新札幌市史第一巻』平成元年3月28日, pp355~pp358
3	石狩	札幌市	豊平川の堤防		○					『新札幌市史第二巻』平成3年10月19日, pp192~pp194
4	石狩	札幌市	札幌本府とアイヌ	○						『新札幌市史第二巻』平成3年10月19日, pp534~pp540
5	石狩	札幌市	水害とその他の災害		○					『新札幌市史第二巻』平成3年10月19日, pp1006~pp1012
6	石狩	札幌市	移住民情況調査報告				○	○		『新札幌市史第七巻』昭和61年3月28日, pp241~pp309
7	石狩	江別市	アイヌの英雄時代	○		○				『新江別市史本編』平成17年3月1日, pp61~pp65
8	石狩	江別市	水害と治水工場		○					『新江別市史本編』平成17年3月1日, pp238~pp241
9	石狩	江別市	水害 環境激変		○					『新江別市史本編』平成17年3月1日, pp614~pp619
10	石狩	千歳市	地質				○			『新千歳市史 通史編 上巻』平成22年3月19日, pp5~pp6
11	石狩	千歳市	千歳の生い立ち				○			『新千歳市史 通史編 上巻』平成22年3月19日, pp28~pp66
12	石狩	千歳市	地名解	○		○				『新千歳市史 通史編 上巻』平成22年3月19日, pp117~pp143
13	石狩	恵庭市	第I期(室町時代)	○		○				『恵庭市史』昭和54年7月, pp105~pp114
14	石狩	恵庭市	自然環境				○			『恵庭市史』昭和54年7月, pp241~pp248
15	石狩	北広島市	自然環境				○			『北広島市史上巻』平成19年2月28日, pp4~pp10
16	石狩	北広島市	地層・地質と古生物				○			『北広島市史上巻』平成19年2月28日, pp11~pp19
17	石狩	北広島市	北広島市の地名	○		○				『北広島市史上巻』平成19年2月28日, pp35~pp63
18	石狩	北広島市	輪厚の位置・地名	○		○				『北広島市史上巻』平成19年2月28日, pp443
19	石狩	北広島市	仁別の位置・地名	○		○				『北広島市史上巻』平成19年2月28日, pp450
20	石狩	北広島市	三島の位置・地名	○		○				『北広島市史上巻』平成19年2月28日, pp456
21	石狩	北広島市	大曲の位置・地名	○		○				『北広島市史上巻』平成19年2月28日, pp464~pp466
22	石狩	北広島市	戦後災害の歴史		○					『北広島市史下巻』平成19年2月28日, pp301~pp305
23	石狩	石狩市(厚田村)	「厚田」の言語について	○		○				『厚田村史』昭和44年9月25日, pp353~pp358
24	石狩	石狩市(厚田村)	伝説, その他	○						『厚田村史』昭和44年9月25日, pp359~pp444
25	石狩	石狩市(浜益村)	浜益村の地質				○			『浜益村史』昭和55年3月, pp8~pp10
26	石狩	石狩市(浜益村)	アイヌ語による浜益の各所地名	○		○				『浜益村史』昭和55年3月, pp128~pp132
27	石狩	石狩市(浜益村)	浜益と改称	○		○				『浜益村史』昭和55年3月, pp279~pp280
28	石狩	石狩市(浜益村)	風水害		○					『浜益村史』昭和55年3月, pp1104~pp1105
29	石狩	当別町	地誌及び地質				○			『当別町史』昭和47年5月30日, pp7~pp10
30	石狩	当別町	統合後の学校		○					『当別町史』昭和47年5月30日, pp671~pp672
31	石狩	当別町	水害		○					『当別町史』昭和47年5月30日, pp1007~pp1017
32	石狩	当別町	震災		○					『当別町史』昭和47年5月30日, pp1021
33	石狩	新篠津村	新篠津村周辺の地名といわれ			○				『新篠津村史』昭和50年9月1日, pp71~pp76
34	石狩	新篠津村	地質と土性				○			『新篠津村史』昭和50年9月1日, pp80~pp84
35	石狩	新篠津村	東北のアイヌ語地名	○		○				『新篠津村百年史 上巻』平成8年9月1日, pp99
36	石狩	新篠津村	飽くなき水との闘い		○					『新篠津村百年史 上巻』平成8年9月1日, pp296~pp297
37	石狩	新篠津村	川は毎年のように襲いかかってきた		○					『新篠津村百年史 上巻』平成8年9月1日, pp348~pp363

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
38	渡島	函館市	周辺自治体の概況				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp10～pp12	
39	渡島	函館市	地形・地質				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp13～pp57	
40	渡島	函館市	函館市地形図				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp15～pp16	
41	渡島	函館市	函館付近平坦面分布図				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp19～pp20	
42	渡島	函館市	函館市の地質図				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp43～pp44	
43	渡島	函館市	函館の気象災害		○				『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp115～pp121	
44	渡島	函館市	志海苔古銭					○	『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp307	
45	渡島	函館市	志海苔館跡				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp311～pp313	
46	渡島	函館市	汐泊川チャシ				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp313～pp315	
47	渡島	函館市	和人の渡来	○			○	○	『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp319～pp324	
48	渡島	函館市	アイヌ蜂起の底流	○					『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp333～pp334	
49	渡島	函館市	アイヌ蜂起と蠣咲氏の台頭	○				○	『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp334～pp339	
50	渡島	函館市	駒ヶ岳噴火		○				『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp347～pp348	
51	渡島	函館市	元禄の大洪水		○				『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp350～pp351	
52	渡島	函館市	箱館山の植樹, 森林の保護				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp435～pp436	
53	渡島	函館市	文化の大火と消防組設置		○				『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp484～pp487	
54	渡島	函館市	住民性格					○	『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp489	
55	渡島	函館市	天保飢饉と箱館		○			○	『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp520	
56	渡島	函館市	海面埋立と溝渠新設				○		『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp646～pp648	
57	渡島	函館市	災害		○				『函館市史』通説編第一巻, 昭和55(1980)年, pp701～pp702	
58	渡島	函館市	大火と街区改正		○				『函館市史』通説編第二巻, 平成2(1990)年, pp513～pp522	
59	渡島	函館市	大火の影響と工場分布, 工業組合の設立		○				『函館市史』通説編第三巻, 平成9(1997)年, pp485～pp488	
60	渡島	函館市	昭和一三年一月の焼失		○				『函館市史』通説編第三巻, 平成9(1997)年, pp551～pp552	
61	渡島	函館市	大火と都市形成		○		○		『函館市史』通説編第三巻, 平成9(1997)年, pp717～pp738	
62	渡島	函館市	「洞爺丸台風」とその後のディーゼル化		○				『函館市史』通説編第四巻, 平成14(2002)年, pp480～pp481	
63	渡島	函館市	コラム41 洞爺丸台風の悲劇		○				『函館市史』通説編第四巻, 平成14(2002)年, pp804～pp808	
64	渡島	函館市	コラム42 チリ地震津波と十勝沖地震		○				『函館市史』通説編第四巻, 平成14(2002)年, pp809～pp813	
65	渡島	函館市(恵山町)	恵山町の地学的環境				○		『恵山町史』平成19(2008)年, pp5～pp57	
66	渡島	函館市(恵山町)	気象災害		○				『恵山町史』平成19(2008)年, pp73～pp77	
67	渡島	函館市(恵山町)	地震災害		○				『恵山町史』平成19(2008)年, pp77～pp87	
68	渡島	函館市(恵山町)	火山災害		○				『恵山町史』平成19(2008)年, pp87～pp97	
69	渡島	函館市(恵山町)	火山災害評価と防災対策		○				『恵山町史』平成19(2008)年, pp97～pp111	
70	渡島	函館市(恵山町)	土地災害(参考文献含む9)		○				『恵山町史』平成19(2008)年, pp111～pp122	
71	渡島	函館市(亀田市)	亀田の大地				○		『函館市史』別巻亀田市編, 昭和53(1978)年, pp3～pp14	
72	渡島	函館市(亀田市)	消防の沿革(駒ヶ岳噴火応援, 函館大火応援)		○				『函館市史』別巻亀田市編, 昭和53(1978)年, pp512～pp515	
73	渡島	函館市(亀田市)	十五号台風		○				『函館市史』別巻亀田市編, 昭和53(1978)年, pp849～pp852	
74	渡島	函館市(戸井町)	位置と地勢				○		『戸井町史』昭和48(1973)年, pp3～pp5	
75	渡島	函館市(戸井町)	地質構造と岩石				○		『戸井町史』昭和48(1973)年, pp10～pp19	
76	渡島	函館市(戸井町)	戸井の地名考	○		○			『戸井町史』昭和48(1973)年, pp99～pp136	
77	渡島	函館市(戸井町)	戸井及び近隣町村の災害事件(明治以降)		○				『戸井町史』昭和48(1973)年, pp444～pp469	
78	渡島	函館市(榎法華村)	榎法華村の位置				○		『榎法華村史』平成元(1990), pp3～pp5	
79	渡島	函館市(榎法華村)	榎法華村の地名			○			『榎法華村史』平成元(1990), pp17～pp29	
80	渡島	函館市(榎法華村)	現在の地形				○		『榎法華村史』平成元(1990), pp38～pp41	
81	渡島	函館市(榎法華村)	明治九年(榎法華村略史)		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp91	
82	渡島	函館市(榎法華村)	明治十六年		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp110～pp111	
83	渡島	函館市(榎法華村)	明治二十三年		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp131～pp132	
84	渡島	函館市(榎法華村)	明治二十九年		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp142	
85	渡島	函館市(榎法華村)	明治四十一年		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp168	
86	渡島	函館市(榎法華村)	大正元年		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp178	
87	渡島	函館市(榎法華村)	大正七年		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp191～pp192	
88	渡島	函館市(榎法華村)	昭和二十九年町村合併促進の年		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp298～pp299	
89	渡島	函館市(榎法華村)	山津波と土砂流出		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp1105～pp1115	
90	渡島	函館市(榎法華村)	噴火・津波・その他		○				『榎法華村史』平成元(1990), pp1116～pp1123	

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
91	渡島	函館市(南茅部町)	位置				○			『南茅部町史』上巻, 昭和62(1987)年, pp3~pp16
92	渡島	函館市(南茅部町)	地勢				○			『南茅部町史』上巻, 昭和62(1987)年, pp17~pp22
93	渡島	函館市(南茅部町)	風水害		○					『南茅部町史』下巻, 昭和62(1987)年, pp503~pp525
94	渡島	函館市(南茅部町)	駒ヶ岳の噴火		○	○				『南茅部町史』下巻, 昭和62(1987)年, pp526~pp567
95	渡島	北斗市(上磯町)	位置				○			『上磯町史』上巻, 平成9(1997)年, pp3
96	渡島	北斗市(上磯町)	地形				○			『上磯町史』上巻, 平成9(1997)年, pp4~pp6
97	渡島	北斗市(上磯町)	地質・鉱物				○			『上磯町史』上巻, 平成9(1997)年, pp6~pp9
98	渡島	北斗市(上磯町)	日本列島ができる頃の上磯町とその周辺				○			『上磯町史』上巻, 平成9(1997)年, pp9~pp29
99	渡島	北斗市(上磯町)	昭和二十九年洞爺丸台風		○					『上磯町史』上巻, 平成9(1997)年, pp44~pp46
100	渡島	北斗市(上磯町)	災害		○					『上磯町史』上巻, 平成9(1997)年, pp978~pp997
101	渡島	松前町	地域の推移と現況				○			『松前町史』通説編第一巻上, 昭和59(1984)年8月15日, pp6~pp15
102	渡島	松前町	地形と地質				○			『松前町史』通説編第一巻上, 昭和59(1984)年8月15日, pp17~pp36
103	渡島	松前町	蜂起の背景(駒ヶ岳の大噴火の発生)		○					『松前町史』通説編第一巻上, 昭和59(1984)年8月15日, pp445~pp447
104	渡島	松前町	藩財政の窮乏		○					『松前町史』通説編第一巻上, 昭和59(1984)年8月15日, pp515~pp522
105	渡島	松前町	定住者の渡来		○	○		○		『松前町史』通説編第一巻上, 昭和59(1984)年8月15日, pp530~pp537
106	渡島	松前町	箱館湊の機能		○			○		『松前町史』通説編第一巻上, 昭和59(1984)年8月15日, pp731~pp733
107	渡島	松前町	変災		○					『松前町史』通説編第一巻上, 昭和59(1984)年8月15日, pp1028~pp1033
108	渡島	松前町	変災		○					『松前町史』通説編第一巻下, 昭和63(1988)年8月15日, pp1068~pp1070
109	渡島	松前町	特権商人の離散					○		『松前町史』通説編第二巻, 平成5(1993)年3月30日, pp113~pp116
110	渡島	松前町	松前陶石				○			『松前町史』通説編第二巻, 平成5(1993)年3月30日, pp248~pp251
111	渡島	松前町	各町村の町名および字地番改正			○				『松前町史』通説編第二巻, 平成5(1993)年3月30日, pp979~pp986
112	渡島	松前町	相次ぐ台風襲来		○					『松前町史』通説編第二巻, 平成5(1993)年3月30日, pp1373~pp1419
113	渡島	松前町	白神岬の国道開削		○					『松前町史』通説編第二巻, 平成5(1993)年3月30日, pp1431~pp1434
114	渡島	松前町	日本海中部地震と松前家墓地		○					『松前町史』通説編第二巻, 平成5(1993)年3月30日, pp1621~pp1623
115	渡島	福島町	地勢・地質			○	○			『福島町史』第二巻, 通説編上巻, 平成7(1995)年, pp3~pp10
116	渡島	福島町	津軽海峡の成立				○			『福島町史』第二巻, 通説編上巻, 平成7(1995)年, pp11~pp16
117	渡島	福島町	変災	○	○					『福島町史』第二巻, 通説編上巻, 平成7(1995)年, pp294~pp302
118	渡島	福島町	冷害・多雨による凶作・凶漁と住民生活		○					『福島町史』第二巻, 通説編下巻, 平成7(1995)年, pp689~pp693
119	渡島	福島町	洞爺丸台風・台風一五号		○					『福島町史』第三巻, 通説編下巻, 平成9(1997)年, pp1117~pp1125
120	渡島	知内町	位置と範囲				○			『知内町史』昭和61(1986)年, pp3~pp4
121	渡島	知内町	砂金採取伝承の町				○			『知内町史』昭和61(1986)年, pp5~pp6
122	渡島	知内町	農業を基幹作業とする町					○		『知内町史』昭和61(1986)年, pp7~pp9
123	渡島	知内町	地形・地質				○			『知内町史』昭和61(1986)年, pp11~pp38
124	渡島	知内町	風水害		○					『知内町史』昭和61(1986)年, pp117~pp120
125	渡島	知内町	知内町の地名の起こり	○			○			『知内町史』昭和61(1986)年, pp175~pp177
126	渡島	知内町	戸口の推移				○	○		『知内町史』昭和61(1986)年, pp201
127	渡島	知内町	林業		○					『知内町史』昭和61(1986)年, pp207
128	渡島	知内町	南部藩船の遭難		○					『知内町史』昭和61(1986)年, pp225~pp226
129	渡島	知内町	災害をのりこえて		○					『知内町史』昭和61(1986)年, pp302~pp306
130	渡島	知内町	鳥賊漁業		○					『知内町史』昭和61(1986)年, pp418~pp419
131	渡島	知内町	鳥賊漁業		○					『知内町史』昭和61(1986)年, pp422
132	渡島	知内町	永田時代が終わる		○					『知内町史』昭和61(1986)年, pp733~pp735
133	渡島	知内町	町政の第一歩		○					『知内町史』昭和61(1986)年, pp778~pp782
134	渡島	木古内町	位置・地勢				○			『木古内町史』昭和57(1982)年, pp19
135	渡島	木古内町	地名の由来			○				『木古内町史』昭和57(1982)年, pp59~pp63
136	渡島	木古内町	災害		○					『木古内町史』昭和57(1982)年, pp413~pp426
137	渡島	木古内町	災害		○					『木古内町史』昭和57(1982)年, pp563~pp571
138	渡島	七飯町	先史時代				○			『七飯町史』続刊, 平成13(2001)年, pp3~pp4
139	渡島	七飯町	アイヌ文化時代	○		○				『七飯町史』続刊, 平成13(2001)年, pp6~pp7
140	渡島	七飯町	明治以前の観光		○		○			『七飯町史』続刊, 平成13(2001)年, pp463
141	渡島	七飯町	駒ヶ岳		○		○			『七飯町史』続刊, 平成13(2001)年, pp515~pp519
142	渡島	七飯町	明治以前の公安, 防災		○					『七飯町史』続刊, 平成13(2001)年, pp611
143	渡島	七飯町	昭和初期・中期の公安, 防災		○					『七飯町史』続刊, 平成13(2001)年, pp615~pp617

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
144	渡島	七飯町	災害		○					『七飯町史』続刊, 平成13(2001)年, pp640~pp644
145	渡島	鹿部町	位置地勢		○		○			『鹿部町史』平成6(1994)年, pp3~pp41
146	渡島	鹿部町	地名			○				『鹿部町史』平成6(1994)年, pp322~pp333
147	渡島	鹿部町	駒ヶ岳噴火		○	○				『鹿部町史』平成6(1994)年, pp955~pp993
148	渡島	森町	森町の風土と位置				○			『森町史』昭和55(1980)年, pp3~pp4
149	渡島	森町	地形, 地質				○			『森町史』昭和55(1980)年, pp4~pp10
150	渡島	森町	地名			○				『森町史』昭和55(1980)年, pp20~pp24
151	渡島	森町	駒ヶ岳の噴火		○					『森町史』昭和55(1980)年, pp1073~pp1089
152	渡島	森町	火災		○					『森町史』昭和55(1980)年, pp1090~pp1106
153	渡島	森町	暴風雨などの被害		○					『森町史』昭和55(1980)年, pp1107~pp1110
154	渡島	森町(砂原町)	位置地勢		○		○			『砂原町史』第一巻通説編, 平成12(2000)年, pp3~pp24
155	渡島	森町(砂原町)	記録にない時代と自然環境		○		○			『砂原町史』第一巻通説編, 平成12(2000)年, pp161~pp163
156	渡島	森町(砂原町)	災害		○					『砂原町史』第一巻通説編, 平成12(2000)年, pp869~pp893
157	渡島	八雲町	位置・面積				○			『三訂 八雲町史』上巻, 平成25(2013)年, pp3
158	渡島	八雲町	地形, 地質と地質時代		○		○			『三訂 八雲町史』上巻, 平成25(2013)年, pp4~pp11
159	渡島	八雲町	災害		○					『三訂 八雲町史』下巻, 平成25(2013)年, pp129~pp143
160	渡島	八雲町(熊石町)	沿革		○	○	○			『熊石町史』昭和62(1987)年, pp3~pp8
161	渡島	八雲町(熊石町)	地質, 土壌及び土質				○			『熊石町史』昭和62(1987)年, pp8~pp14
162	渡島	八雲町(熊石町)	寛保元年の大津浪		○					『熊石町史』昭和62(1987)年, pp216~pp222
163	渡島	八雲町(熊石町)	変災・衛生		○					『熊石町史』昭和62(1987)年, pp724~pp725
164	渡島	八雲町(熊石町)	相次ぐ台風襲来		○					『熊石町史』昭和62(1987)年, pp982~pp1001
165	渡島	長万部町	三億年前の化石				○			『長万部町史』昭和52(1977)年, pp13~pp15
166	渡島	長万部町	シャクシャインさいごの戦場	○	○	○	○			『長万部町史』昭和52(1977)年, pp55~pp57
167	渡島	長万部町	松浦武四郎の見た長万部	○		○	○			『長万部町史』昭和52(1977)年, pp94~pp104
168	渡島	長万部町	平沢豊作の日記		○		○	○		『長万部町史』昭和52(1977)年, pp110~pp120
169	渡島	長万部町	初めてはいった開拓者集団		○		○	○		『長万部町史』昭和52(1977)年, pp121~pp127
170	渡島	長万部町	村とよばれる		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp135
171	渡島	長万部町	大政奉還のころ		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp144
172	渡島	長万部町	川上十郎の長万部観			○				『長万部町史』昭和52(1977)年, pp239~pp242
173	渡島	長万部町	郵便局		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp249
174	渡島	長万部町	農業の進展		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp269
175	渡島	長万部町	酢酸工場		○	○		○		『長万部町史』昭和52(1977)年, pp322~pp323
176	渡島	長万部町	電燈がともる		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp334~pp335
177	渡島	長万部町	つづく凶作・災害		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp381~pp396
178	渡島	長万部町	軍国主義への歩みと不況下の行政	○			○			『長万部町史』昭和52(1977)年, pp410~pp413
179	渡島	長万部町	農地開放と教育制度改革		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp573
180	渡島	長万部町	静狩原野				○	○		『長万部町史』昭和52(1977)年, pp591~pp605
181	渡島	長万部町	ガス, 温泉, 石油		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp615
182	渡島	長万部町	ガス, 温泉, 石油				○			『長万部町史』昭和52(1977)年, pp634~pp635
183	渡島	長万部町	開発と財政破綻		○					『長万部町史』昭和52(1977)年, pp650

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
184	檜山	江差町	江差の地名起源	○		○				『江差町史』第五巻通説一, 昭和57(1982)年, pp1~pp2
185	檜山	江差町	江差町の位置および地形, 地質				○			『江差町史』第五巻通説一, 昭和57(1982)年, pp2~pp12
186	檜山	江差町	伝説と歴史	○		○				『江差町史』第五巻通説一, 昭和57(1982)年, pp13~pp15
187	檜山	江差町	医療, 防災施設等の整備		○					『江差町史』第六巻通説二, 昭和58(1983)年, pp420~pp435
188	檜山	江差町	風水害/火災		○					『江差町史』第六巻通説二, 昭和58(1983)年, pp655~pp677
189	檜山	江差町	伝説	○	○	○				『江差町史』第六巻通説二, 昭和58(1983)年, pp796~pp807
190	檜山	江差町	北海道開拓と江差人					○		『江差町史』第六巻通説二, 昭和58(1983)年, pp1073~pp1079
191	檜山	江差町(歌登町)	位置及び地勢, 地質				○			『歌登町史』昭和55(1980)年, pp1~pp2
192	檜山	江差町(歌登町)	地名に見るアイヌ語	○		○				『歌登町史』昭和55(1980)年, pp29~pp31
193	檜山	江差町(歌登町)	桧垣農場開設		○			○		『歌登町史』昭和55(1980)年, pp61~pp74
194	檜山	江差町(歌登町)	事故		○					『歌登町史』昭和55(1980)年, pp350
195	檜山	江差町(歌登町)	気象災害		○					『歌登町史』昭和55(1980)年, pp354~pp361
196	檜山	江差町(歌登町)	緊急開拓					○		『歌登町史』昭和55(1980)年, pp480~pp485
197	檜山	上ノ国町	上ノ国の名の起り			○				『上ノ国村史』復刻版, 昭和31(1956)年初版, pp1~pp3
198	檜山	上ノ国町	蠣崎氏の諸館統一			○				『上ノ国村史』復刻版, 昭和31(1956)年初版, pp11
199	檜山	上ノ国町	天の川流域水田の開発					○		『上ノ国村史』復刻版, 昭和31(1956)年初版, pp174~pp176
200	檜山	上ノ国町	戸口の変遷					○		『上ノ国村史』復刻版, 昭和31(1956)年初版, pp214~pp218
201	檜山	上ノ国町	太平山と神の道, 桂の木	○	○	○				『上ノ国村史』復刻版, 昭和31(1956)年初版, pp237~pp239
202	檜山	上ノ国町	大島の津波		○					『上ノ国村史』復刻版, 昭和31(1956)年初版, pp276
203	檜山	上ノ国町	沼の大蛇	○		○				『わたしたちのまち かみのくに ふるさと読本』平成12(2000)年, pp162
204	檜山	上ノ国町	桂の木	○		○				『かみのくにの文化財と伝説』昭和51(1976)年, pp41
205	檜山	上ノ国町	太平山と神の道		○					『かみのくにの文化財と伝説』昭和51(1976)年, pp49
206	檜山	厚沢部町	アイヌ語に語源のある厚沢部	○		○				『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp20~pp21
207	檜山	厚沢部町	天正年間/俄虫部落誕生, 目名部落誕生					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp44
208	檜山	厚沢部町	元和年間		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp50
209	檜山	厚沢部町	正保年間/安野呂部落誕生					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp54
210	檜山	厚沢部町	万治年間/赤沼部落誕生					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp57
211	檜山	厚沢部町	寛文年間/あっさふの名称初出		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp58
212	檜山	厚沢部町	元禄年間/目名沢村厚沢部ヒノキ山焼く		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp73
213	檜山	厚沢部町	寛保年間		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp84
214	檜山	厚沢部町	宝暦年間		○			○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp90
215	檜山	厚沢部町	天保年間/「松前国中記」の厚沢部		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp163
216	檜山	厚沢部町	天保年間/「松前国中記」の厚沢部					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp164
217	檜山	厚沢部町	慶応年間		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp208
218	檜山	厚沢部町	厚沢部を前進させたもの/明治十九年の厚沢部の現状					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp290
219	檜山	厚沢部町	顕著な入殖者たち					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp293~pp305
220	檜山	厚沢部町	松村辨治郎					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp305~pp312
221	檜山	厚沢部町	天沼恒三郎					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp328
222	檜山	厚沢部町	開拓者の入殖					○		『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp664~pp669
223	檜山	厚沢部町	昭和三十年(一九五五)の概況		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp674~pp675
224	檜山	厚沢部町	厚沢部川改修工事		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp675
225	檜山	厚沢部町	昭和三十七年(一九六二)の概況		○					『桜島 厚沢部町の歩み』昭和44(1969)年, pp692
226	檜山	厚沢部町	明治二十年代の著名な入殖者たち					○		『桜島 厚沢部町の歩み』第二巻, 昭和56(1981)年, pp269
227	檜山	厚沢部町	厚沢部への開拓移民					○		『桜島 厚沢部町の歩み』第二巻, 昭和56(1981)年, pp277~pp280
228	檜山	乙部町	乙部のはじまり	○		○				『乙部町抄史』昭和54(1979)年, pp8~pp17
229	檜山	乙部町	漁業関係年表		○			○		『乙部町抄史』昭和54(1979)年, pp208
230	檜山	乙部町	漁業関係年表		○					『乙部町抄史』昭和54(1979)年, pp215
231	檜山	乙部町	農業		○		○	○		『乙部町抄史』昭和54(1979)年, pp221~pp239
232	檜山	乙部町	鮪(しび)の岬の蛸と大蛇	○						『乙部町抄史』昭和54(1979)年, pp266~pp268
233	檜山	乙部町	乙部の大地の形成				○			乙部町歴史シリーズ3『乙部の歴史』上, 平成5年, pp35~pp37
234	檜山	乙部町	乙部新地名考			○				乙部町歴史シリーズ3『乙部の歴史』上, 平成5年, pp88~pp90
235	檜山	乙部町	乙部の道路と交通		○					乙部町歴史シリーズ3『乙部の歴史』下, 平成6年, pp104~pp105
236	檜山	乙部町	乙部新地名考			○				乙部町歴史シリーズ3『乙部の歴史』下, 平成6年, pp109~pp111

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
237	檜山	奥尻町	気象災害		○					『新奥尻町史』上巻, 平成9(1997)年, pp95~pp99
238	檜山	奥尻町	陸上地形				○			『新奥尻町史』上巻, 平成9(1997)年, pp103~pp110
239	檜山	奥尻町	海底地形				○			『新奥尻町史』上巻, 平成9(1997)年, pp111~pp118
240	檜山	奥尻町	地質				○			『新奥尻町史』上巻, 平成9(1997)年, pp119~pp152
241	檜山	奥尻町	自然災害		○					『新奥尻町史』上巻, 平成9(1997)年, pp197~pp235
242	檜山	奥尻町	奥尻島の古地名			○				『新奥尻町史』下巻, 平成15(2003)年, pp143~pp148
243	檜山	奥尻町	産業					○		『新奥尻町史』下巻, 平成15(2003)年, pp268
244	檜山	奥尻町	水害		○					『新奥尻町史』下巻, 平成15(2003)年, pp388~pp395
245	檜山	奥尻町	地震災害, 津波災害		○					『新奥尻町史』下巻, 平成15(2003)年, pp396~pp400
246	檜山	奥尻町	その他の災害		○					『新奥尻町史』下巻, 平成15(2003)年, pp401~pp402
247	檜山	今金町	利別の地名			○				『今金町史』上巻, 平成3(1991)年, pp32~pp36
248	檜山	今金町	地域概観				○			『今金町史』上巻, 平成3(1991)年, pp137~pp138
249	檜山	今金町	地勢				○			『今金町史』上巻, 平成3(1991)年, pp138~pp144
250	檜山	今金町	自然の生成				○			『今金町史』上巻, 平成3(1991)年, pp144~pp148
251	檜山	今金町	利別風土記	○	○	○		○		『今金町史』上巻, 平成3(1991)年, pp206~pp256
252	檜山	今金町	年次別, 地域別入殖者調票					○		『今金町史』上巻, 平成3(1991)年, pp257~pp274
253	檜山	今金町	防災		○					『今金町史』上巻, 平成3(1991)年, pp556~pp566
254	檜山	今金町	豊田神社		○					『今金町史』上巻, 平成3(1991)年, pp782
255	檜山	今金町	集団入殖					○		『今金町史』下巻, 平成6(1994)年, pp271~pp275
256	檜山	今金町	自然災害		○					『今金町史』下巻, 平成6(1994)年, pp545~pp555
257	檜山	せたな町(北檜山町)	北檜山町の自然				○			『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp3~pp7
258	檜山	せたな町(北檜山町)	地名と伝説			○		○		『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp21~pp27
259	檜山	せたな町(北檜山町)	明治時代					○		『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp131~pp132
260	檜山	せたな町(北檜山町)	若松開墾地		○			○		『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp249~pp252
261	檜山	せたな町(北檜山町)	太櫓・二俣の開墾					○		『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp268
262	檜山	せたな町(北檜山町)	丹羽村の開拓					○		『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp271~pp275
263	檜山	せたな町(北檜山町)	東瀬棚地区の開拓					○		『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp278~pp285
264	檜山	せたな町(北檜山町)	戦後の開拓					○		『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp285~pp287
265	檜山	せたな町(北檜山町)	土壌		○		○			『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp287~pp290
266	檜山	せたな町(北檜山町)	国有林の概況			○		○		『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp360
267	檜山	せたな町(北檜山町)	漁業		○					『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp384
268	檜山	せたな町(北檜山町)	若松神社		○					『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp663
269	檜山	せたな町(北檜山町)	災害		○					『北檜山町史』昭和56(1981)年, pp804~pp815
270	檜山	せたな町(瀬棚町)	地形, 地質				○			『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp50~pp64
271	檜山	せたな町(瀬棚町)	狩場茂津多道立自然公園(公園区域, 地形, 地質)				○			『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp70~pp73
272	檜山	せたな町(瀬棚町)	瀬棚地方の地名			○		○		『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp79~pp88
273	檜山	せたな町(瀬棚町)	天保の飢饉と和人の移住					○		『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp176~pp177
274	檜山	せたな町(瀬棚町)	入稼・出稼漁夫					○		『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp522
275	檜山	せたな町(瀬棚町)	明治期の農業 (移住, 入殖の箇所のみ)		○			○		『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp685~pp717
276	檜山	せたな町(瀬棚町)	瀬棚町の土壌				○			『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp769~pp774
277	檜山	せたな町(瀬棚町)	国有林					○		『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp836
278	檜山	せたな町(瀬棚町)	入殖当時の道路					○		『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp1018~pp1020
279	檜山	せたな町(瀬棚町)	風水害		○			○		『瀬棚町史』平成3(1991)年, pp1435~pp1443
280	檜山	せたな町(大成町)	位置, 面積				○			『大成町史』昭和59(1984)年, pp3~pp5
281	檜山	せたな町(大成町)	久遠地域の地質				○			『大成町史』昭和59(1984)年, pp10~pp21
282	檜山	せたな町(大成町)	地名			○				『大成町史』昭和59(1984)年, pp58~pp63
283	檜山	せたな町(大成町)	檜山の農業/明治以降の大成町の農業					○		『大成町史』昭和59(1984)年, pp270~pp271
284	檜山	せたな町(大成町)	太田権現につたわる伝説	○						『大成町史』昭和59(1984)年, pp572~pp573
285	檜山	せたな町(大成町)	災害		○					『大成町史』昭和59(1984)年, pp735~pp758



No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
286	後志	小樽市	小樽市地形図				○		『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, 付録	
287	後志	小樽市	小樽市地質図				○		『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, 付録	
288	後志	小樽市	自然環境	○		○	○		『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp1~pp10	
289	後志	小樽市	慶応二年の山火		○				『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp248~pp249	
290	後志	小樽市	各町の発達(信香町, 信香裡町)	○		○			『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp317~pp318	
291	後志	小樽市	各町の発達(勝納町, 若竹町)	○		○			『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp322	
292	後志	小樽市	各町の発達(港町クツタルシ, 堺町ヲコハチ)	○		○			『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp323~pp325	
293	後志	小樽市	各町の発達(川原町)		○				『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp327	
294	後志	小樽市	各町の発達(色内町, 手宮町, 稲穂町)	○		○			『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp331~pp332	
295	後志	小樽市	護岸, 隧道, 橋梁等の工事		○				『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp467~pp470	
296	後志	小樽市	水害		○				『小樽市史 第一巻』昭和33(1958)年, pp722~pp724	
297	後志	小樽市	防波堤の必要性		○				『小樽市史 第二巻』昭和38(1963)年, pp141~pp142	
298	後志	小樽市	第三図(小樽港風力図)		○				『小樽市史 第二巻』昭和38(1963)年, pp142付図	
299	後志	小樽市	第五図(波力観測)		○				『小樽市史 第二巻』昭和38(1963)年, pp141付図	
300	後志	小樽市	港湾調査報告文		○		○		『小樽市史 第二巻』昭和38(1963)年, pp143~pp148	
301	後志	小樽市	災害		○				『小樽市史 第二巻』昭和38(1963)年, pp393~pp396	
302	後志	小樽市	火災(三十五年の山火)		○				『小樽市史 第三巻』昭和39(1964)年, pp331~pp333	
303	後志	小樽市	豪雨による河川及び側溝の護岸工事		○				『小樽市史 第四巻』昭和41(1966)年, pp167~pp168	
304	後志	小樽市	火災一覧表		○				『小樽市史 第六巻』昭和44(1969)年, pp493~pp493	
305	後志	小樽市	小樽市の災害		○				『小樽市史 第七巻』平成5(1993)年, pp438~pp441	
306	後志	小樽市	公共土木施設災害復旧		○				『小樽市史 第九巻』平成7(1995)年, pp663~pp673	
307	後志	小樽市	蘭島川改修事業		○				『小樽市史 第九巻』平成7(1995)年, pp701~pp705	
308	後志	小樽市	昭和37年災公共土木施設災害復旧		○				『小樽市史 第九巻』平成7(1995)年, pp706~pp736	
309	後志	小樽市	於古登川店舗災害復旧工事		○				『小樽市史 第九巻』平成7(1995)年, pp737~pp747	
310	後志	小樽市	地滑りと地盤沈下		○				『小樽市史 第九巻』平成7(1995)年, pp1197~pp1198	
311	後志	寿都町	寿都湾の地勢と自然	○		○	○		『寿都町史』昭和49(1974)年, pp3~pp26	
312	後志	寿都町	地質年代				○		『寿都町史』昭和49(1974)年, pp50~pp51	
313	後志	寿都町	寿都地方の沿岸調査	○		○			『寿都町史』昭和49(1974)年, pp194~pp212	
314	後志	寿都町	農村の水害と寿都の凶作		○				『寿都町史』昭和49(1974)年, pp402~pp407	
315	後志	寿都町	昭和十一年大演習と水害		○				『寿都町史』昭和49(1974)年, pp475~pp476	
316	後志	黒松内町	位置・地勢				○		『黒松内町史 上巻』昭和62(1987)年, pp3~pp19	
317	後志	黒松内町	黒松内地方気象日誌		○				『黒松内町史 上巻』昭和62(1987)年, pp38~pp66	
318	後志	黒松内町	山道通行者の記録	○		○			『黒松内町史 上巻』昭和62(1987)年, pp86~pp105	
319	後志	黒松内町	黒松内村	○		○			『黒松内町史 上巻』昭和62(1987)年, pp129~pp130	
320	後志	黒松内町	インカラシ	○		○			『黒松内町史 上巻』昭和62(1987)年, pp851~pp852	
321	後志	黒松内町	地名の由来と出典	○		○			『黒松内町史 上巻』昭和62(1987)年, pp915~pp960	
322	後志	黒松内町	黒松内のおいたちー自然の歴史ー				○		『黒松内町史 上巻』昭和62(1987)年, pp965~pp977	
323	後志	黒松内町	黒松内の古地理の変遷				○		『黒松内町史 上巻』昭和62(1987)年, pp972	
324	後志	黒松内町	黒松内低地帯				○		『黒松内町史 下巻』平成5(1993)年, pp3~pp4	
325	後志	黒松内町	町村合併					○	『黒松内町史 下巻』平成5(1993)年, pp37~pp116	
326	後志	黒松内町	地質				○		『黒松内町史 下巻』平成5(1993)年, pp1307~pp1329	
327	後志	蘭越町	蘭越町のあらまし				○		『新蘭越町史』平成11(1999)年, pp3~pp7	
328	後志	蘭越町	字名の変更	○		○			『新蘭越町史』平成11(1999)年, pp16~pp17	
329	後志	蘭越町	尻別村の設置まで	○		○			『新蘭越町史』平成11(1999)年, pp19~pp24	
330	後志	蘭越町	字名の変更	○		○			『新蘭越町史』平成11(1999)年, pp50~pp51	
331	後志	蘭越町	蘭越町の山と湖沼	○		○	○		『新蘭越町史』平成11(1999)年, pp555~pp570	
332	後志	蘭越町	水害と治水		○				『新蘭越町史』平成11(1999)年, pp591~pp613	
333	後志	蘭越町	地区史	○		○	○		『新蘭越町史』平成11(1999)年, pp805~pp923	
334	後志	蘭越町	分村当時の磯谷郡	○		○	○		『新蘭越町史』平成11(1999)年, pp944~pp958	
335	後志	ニセコ町	地名のいわれ	○	○	○			『ニセコ町史』, 昭和57(1982)年, pp13~pp16	
336	後志	ニセコ町	開墾団体と開拓		○			○	『ニセコ町史』, 昭和57(1982)年, pp67	
337	後志	ニセコ町	暴風雨		○				『ニセコ町史』, 昭和57(1982)年, pp129	
338	後志	ニセコ町	開拓の思い出(川原サキ談)					○	『ニセコ町史』, 昭和57(1982)年, pp147~pp149	

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
339	後志	ニセコ町	地勢, 地質				○			『ニセコ町史』, 昭和57(1982)年, pp180~pp187
340	後志	ニセコ町	風水害		○					『ニセコ町史』, 昭和57(1982)年, pp680~pp685
341	後志	ニセコ町	火災(羊蹄山 山火事)		○					『ニセコ町史』, 昭和57(1982)年, pp690~pp691
342	後志	ニセコ町	有珠山の爆発と本町		○					『ニセコ町史』, 昭和57(1982)年, pp747~pp749
343	後志	ニセコ町	地理				○			『ニセコ町百年史 上巻』平成14年3月20日, pp3~pp11
344	後志	ニセコ町	災害の記録		○					『ニセコ町百年史 下巻』平成14年3月20日, pp562~pp566
345	後志	真狩村	地形と地質				○			『真狩村史』平成6(1994)年, pp33~pp47
346	後志	真狩村	地名の変遷	○		○				『真狩村史』平成6(1994)年, pp66~pp78
347	後志	真狩村	山火の発生		○					『真狩村史』平成6(1994)年, pp922~pp923
348	後志	真狩村	風水害		○					『真狩村史』平成6(1994)年, pp1617~pp1620
349	後志	真狩村	火災		○					『真狩村史』平成6(1994)年, pp1624~pp1626
350	後志	真狩村	有珠山噴火による被害, 対策		○					『真狩村史』平成6(1994)年, pp1626~pp1630
351	後志	留寿都村	位置, 地勢, 土地の状況				○			『留寿都村史』昭和44(1969)年, pp1~pp3
352	後志	留寿都村	松浦武四郎の「後方羊蹄日記」にみられる本村	○		○				『留寿都村史』昭和44(1969)年, pp167~pp169
353	後志	留寿都村	移住団体一覧		○			○		『留寿都村史』昭和44(1969)年, pp177
354	後志	留寿都村	水害罹災移民 団体移住		○			○		『留寿都村史』昭和44(1969)年, pp221~pp222
355	後志	留寿都村	古老の思い出(上木儀一郎, ハノ原)	○		○				『留寿都村史』昭和44(1969)年, pp380~pp383
356	後志	留寿都村	登, 旭野地区の歩み		○			○		『留寿都村史』昭和44(1969)年, pp413~pp418
357	後志	留寿都村	アイヌ語地名(西岡音吉氏調)	○		○				『留寿都村史』昭和44(1969)年, pp426
358	後志	留寿都村	地形と地質				○			『留寿都村百年史』平成13年9月20日, pp11~pp21
359	後志	留寿都村	留寿都村のアイヌ語地名	○		○				『留寿都村百年史』平成13年9月20日, pp28~pp39
360	後志	留寿都村	風水害		○					『留寿都村百年史』平成13年9月20日, pp754~pp757
361	後志	喜茂別町	喜茂別町の位置・面積				○			『喜茂別町史』昭和44(1969)年, pp4~pp9
362	後志	喜茂別町	先住民とその遺跡		○					『喜茂別町史』昭和44(1969)年, pp36~pp45
363	後志	喜茂別町	アイヌ語地名考	○		○				『喜茂別町史』昭和44(1969)年, pp45~pp53
364	後志	喜茂別町	北海道移住の原因		○			○		『喜茂別町史』昭和44(1969)年, pp73~pp79
365	後志	喜茂別町	あい次ぐ大水害		○					『喜茂別町史』昭和44(1969)年, pp439~pp445
366	後志	喜茂別町	町になってからの水害と火災		○					『喜茂別町史』昭和44(1969)年, pp832~pp843
367	後志	喜茂別町	喜茂別町水害関連図表・写真・地図		○					『喜茂別町史』昭和44(1969)年, pp833~pp835
368	後志	京極町	渡道の動機と経路		○			○		『京極町史』昭和52(1977)年, pp67
369	後志	京極町	京極町入植詳細図		○			○		『京極町史』昭和52(1977)年, pp111
370	後志	京極町	団体入植詳細(庄川農場)		○			○		『京極町史』昭和52(1977)年, pp119~pp120
371	後志	京極町	団体入植詳細(山梨団体)		○			○		『京極町史』昭和52(1977)年, pp124~pp128
372	後志	京極町	第一群馬団体		○			○		『京極町史』昭和52(1977)年, pp147~pp150
373	後志	京極町	第三群馬団体		○			○		『京極町史』昭和52(1977)年, pp151~pp152
374	後志	京極町	水害も連続した昭和初期		○					『京極町史』昭和52(1977)年, pp293~pp294
375	後志	京極町	災害を越えて		○					『京極町史』昭和52(1977)年, pp499~pp516
376	後志	京極町	京極町の地形・地質・地史・先史時代				○			『京極町史』昭和52(1977)年, pp863~pp880
377	後志	倶知安町	町の生い立ちと開拓				○			『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp1~pp4
378	後志	倶知安町	先史時代の地形				○			『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp31~pp32
379	後志	倶知安町	伝説と倶知安	○		○				『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp33~pp48
380	後志	倶知安町	山梨県の団体移住		○			○		『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp77~pp79
381	後志	倶知安町	冷害凶作とたたかう		○					『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp167~pp173
382	後志	倶知安町	相次ぐ災害		○					『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp312~pp317
383	後志	倶知安町	やさしくなった字名, 地番	○		○				『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp369~pp370
384	後志	倶知安町	羊蹄山の山くずれ		○					『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp445~pp446
385	後志	倶知安町	十五号台風		○					『倶知安町史』昭和36(1961)年, pp763~pp765
386	後志	倶知安町	倶知安の名称				○			『倶知安町百年史 上巻』平成5年3月30日, pp3~pp5
387	後志	倶知安町	クッチャンの地名				○			『倶知安町百年史 上巻』平成5年3月30日, pp24~pp40
388	後志	倶知安町	地名伝説			○				『倶知安町百年史 上巻』平成5年3月30日, pp117~pp118
389	後志	倶知安町	加賀団体の入殖					○		『倶知安町百年史 上巻』平成5年3月30日, pp213~pp218
390	後志	倶知安町	山梨団体の移住					○		『倶知安町百年史 上巻』平成5年3月30日, pp228~pp242
391	後志	倶知安町	アイヌ語の呼び名	○		○				『倶知安町百年史 上巻』平成5年3月30日, pp457~pp461

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
392	後志	倶知安町	大正期の災害		○					『倶知安町百年史 上巻』平成5年3月30日、pp490～pp491
393	後志	倶知安町	地震の記録		○					『倶知安町百年史 下巻』平成5年3月30日、pp572～pp574
394	後志	倶知安町	倶知安町の地形と地質				○			『倶知安町百年史 下巻』平成5年3月30日、pp1161～pp1192
395	後志	共和町	共和町の地形と地質				○			『新共和町史』平成19(2007)年、pp13～pp39
396	後志	共和町	共和町のアイヌ語地名	○		○				『新共和町史』平成19(2007)年、pp95～pp106
397	後志	共和町	廃止された字名	○		○				『新共和町史』平成19(2007)年、pp390～pp392
398	後志	岩内町	岩内の語源	○		○				『岩内町史』昭和41(1966)年、pp10～15
399	後志	岩内町	アイヌ語地名	○		○				『岩内町史』昭和41(1966)年、pp64～65
400	後志	岩内町	土人由来記	○		○				『岩内町史』昭和41(1966)年、pp75
401	後志	岩内町	雷電中ノ滝崖崩れ		○					『岩内町史』昭和41(1966)年、pp478
402	後志	岩内町	一・二九台風大災害		○					『岩内町史』昭和41(1966)年、pp606～pp608
403	後志	岩内町	岩内郡古宇郡アイヌ語地名解	○		○				『岩内町史』昭和41(1966)年、pp700～pp707
404	後志	泊村	位置, 地勢, 面積				○			『泊村史』昭和42(1967)年、pp1～pp2
405	後志	泊村	泊村の地質				○			『泊村史』昭和42(1967)年、pp24～pp28
406	後志	泊村	地名考	○		○				『泊村史』昭和42(1967)年、pp50～pp54
407	後志	泊村	藩政時代における本村の実情	○		○				『泊村史』昭和42(1967)年、pp82～pp88
408	後志	泊村	災害(水害)		○					『泊村史』昭和42(1967)年、pp234～pp235
409	後志	泊村	写真(昭和5年水害による盃川の氾濫)		○					『泊村史』昭和42(1967)年、pp392
410	後志	泊村	泊村のいろいろな災害		○					『泊村史』昭和42(1967)年、pp616～624
411	後志	泊村	位置・地勢・面積				○			『泊村史Ⅱ』平成13(2001)年、pp5
412	後志	泊村	村内の地名考	○		○				『泊村史Ⅱ』平成13(2001)年、pp10～pp13
413	後志	泊村	漁港の災害発生		○					『泊村史Ⅱ』平成13(2001)年、pp191
414	後志	泊村	泊村茅沼地域の思い出 昭和の初期より							『泊村史Ⅱ』平成13(2001)年、pp261～pp265
415	後志	泊村	泊村を襲った災害		○					『泊村史Ⅱ』平成13(2001)年、pp404
416	後志	泊村	猛威をふるった低気圧		○					『泊村史Ⅱ』平成13(2001)年、pp453
417	後志	泊村	モヘル川の護岸決壊, 北海道南西沖地震奥尻島全滅状態		○					『泊村史Ⅱ』平成13(2001)年、pp454～pp455
418	後志	積丹町	積丹の概観, 概要	○	○		○			『積丹町史』昭和60(1985)年、pp27～pp32
419	後志	積丹町	大字各町(成立, 直前, 世帯, 人口, 由来, その他)	○	○		○			『積丹町史』昭和60(1985)年、pp33～pp44
420	後志	積丹町	積丹町の地質, 地形とその生いたち				○			『積丹町史』昭和60(1985)年、pp45～pp72
421	後志	積丹町	地名考	○		○				『積丹町史』昭和60(1985)年、pp73～pp87
422	後志	積丹町	積丹町の先史時代研究史	○		○				『積丹町史』昭和60(1985)年、pp95～pp97
423	後志	積丹町	積丹周辺絵図	○		○				『積丹町史』昭和60(1985)年、pp200～pp201
424	後志	積丹町	壬申戸籍法の施行	○		○				『積丹町史』昭和60(1985)年、pp247～pp249
425	後志	積丹町	明治9年ごろの婦美見取図, 明治9年ごろの幌武意見取図	○		○				『積丹町史』昭和60(1985)年、pp388
426	後志	積丹町	村づくりの様子	○	○	○				『積丹町史』昭和60(1985)年、pp379～pp383
427	後志	古平町	地勢, 地質				○			『古平町史 第一巻』昭和48(1973)年、pp2～pp4
428	後志	古平町	アイヌ文化	○		○				『古平町史 第一巻』昭和48(1973)年、pp66～pp132
429	後志	古平町	アイヌ人口動態	○		○				『古平町史 第一巻』昭和48(1973)年、pp96～pp98
430	後志	古平町	永田方正の北海道蝦夷語地名解	○		○				『古平町史 第一巻』昭和48(1973)年、pp112～pp117
431	後志	古平町	更科源蔵, 河野広道校閲古平のアイヌ語	○		○				『古平町史 第一巻』昭和48(1973)年、pp119～pp122
432	後志	古平町	忍路沖の地震		○					『古平町史 第一巻』昭和48(1973)年、pp122～pp124
433	後志	古平町	集中豪雨, 洪水災害		○					『古平町史 第二巻』昭52(1977)年、pp784～pp785
434	後志	仁木町	アイヌの文化	○		○				『新仁木町史』平成12(2000)年、pp30～pp31
435	後志	仁木町	大江村の発展と諸問題(余市川の治水)		○					『新仁木町史』平成12(2000)年、pp54
436	後志	仁木町	余市場所と余市越え山道	○		○				『新仁木町史』平成12(2000)年、pp57～pp75
437	後志	仁木町	渡道の動機		○			○		『新仁木町史』平成12(2000)年、pp77～pp78
438	後志	仁木町	移民団の組織		○			○		『新仁木町史』平成12(2000)年、pp83～pp84
439	後志	仁木町	移住の原因(徳島県)		○			○		『新仁木町史』平成12(2000)年、pp138～pp140
440	後志	仁木町	火災出動の記録		○					『新仁木町史』平成12(2000)年、pp263
441	後志	仁木町	余市川の洪水と水害		○					『新仁木町史』平成12(2000)年、pp359～pp365
442	後志	仁木町	続く凶作と不作		○					『新仁木町史』平成12(2000)年、pp414
443	後志	仁木町	相次ぐ災害		○					『新仁木町史』平成12(2000)年、pp572
444	後志	仁木町	戦後の大火災		○					『新仁木町史』平成12(2000)年、pp692～pp693

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
445	後志	仁木町	水害と治水		○					『新仁木町史』平成12(2000)年, pp694～pp697
446	後志	仁木町	仁木・砥ノ川(地域の概観, 移住・開拓)	○	○	○	○	○		『新仁木町史』平成12(2000)年, pp933～pp941
447	後志	仁木町	大江(地域の概観)	○		○	○			『新仁木町史』平成12(2000)年, pp969～pp971
448	後志	仁木町	然別(地域の概観)	○		○	○			『新仁木町史』平成12(2000)年, pp1001～pp1003
449	後志	仁木町	鉄橋の流出		○					『新仁木町史』平成12(2000)年, pp1021～pp1022
450	後志	仁木町	山川農場		○					『新仁木町史』平成12(2000)年, pp1037～pp1040
451	後志	仁木町	银山(地域の概観)	○		○	○			『新仁木町史』平成12(2000)年, pp1031～pp1032
452	後志	仁木町	尾根内(地域の概観)	○	○	○	○	○		『新仁木町史』平成12(2000)年, pp1056～pp1060
453	後志	仁木町	長沢(地域の概観・沿革, 交通(護岸工事), 通信, 運輸)	○	○	○	○			『新仁木町史』平成12(2000)年, pp1077～pp1079, pp1090～pp1093
454	後志	余市町	余市の自然と農業		○		○			『余市郷土史 第二巻 余市農業発達史』昭和43(1968)年, pp33～pp46
455	後志	余市町	余市平野の洪水		○		○			『余市郷土史 第二巻 余市農業発達史』昭和43(1968)年, pp47
456	後志	余市町	余市平野の洪水		○		○			『余市郷土史 第二巻 余市農業発達史』昭和43(1968)年, pp48
457	後志	余市町	第一期拓殖計画で余市西部地区に入植した人々と山火事		○					『余市郷土史 第二巻 余市農業発達史』昭和43(1968)年, pp179～pp181
458	後志	余市町	十五号台風と農作物空前の被害		○					『余市郷土史 第二巻 余市農業発達史』昭和43(1968)年, pp290～pp293
459	後志	余市町	台風9号, 濁流の余市市街と被害		○					『余市郷土史 第二巻 余市農業発達史』昭和43(1968)年, pp325～pp326
460	後志	余市町	阿倍比羅夫北征の伝説とその周辺	○		○				『余市郷土史 第三巻 余市文教発達史』昭和57(1982)年, pp53～pp58
461	後志	余市町	一八〇七(文化四)年丁卯	○		○				『余市郷土史 第六巻 余市商工業発達史』平成7(1995)年, pp110～pp111
462	後志	余市町	西蝦夷地分間(余市周辺の地名入り絵図)	○		○				『余市郷土史 第六巻 余市商工業発達史』平成7(1995)年, pp112

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
463	空知	夕張市	地名「夕張」について	○		○				『夕張市史 上巻』昭和56年3月1日, pp1～pp2
464	空知	夕張市	地形				○			『夕張市史 上巻』昭和56年3月1日, pp9～pp15
465	空知	夕張市	夕張の地質				○			『夕張市史 上巻』昭和56年3月1日, pp35～pp64
466	空知	夕張市	夕張の1日地名			○				『夕張市史 上巻』昭和56年3月1日, pp116～pp139
467	空知	夕張市	夕張アイヌの記録	○						『夕張市史 上巻』昭和56年3月1日, pp162～pp163
468	空知	岩見沢市	地形と地質				○			『岩見沢市史』昭和38年8月1日, pp204～pp220
469	空知	岩見沢市	岩見澤の地名由来			○				『岩見沢市史』昭和38年8月1日, pp399～pp409
470	空知	岩見沢市	水害		○					『岩見沢市史』昭和38年8月1日, pp1261～pp1293
471	空知	岩見沢市	地名考			○				『岩見沢百年史』昭和60年3月31日, pp7～pp8
472	空知	岩見沢市	自由移民と各部落の入殖調べ					○		『岩見沢百年史』昭和60年3月31日, pp252～pp253
473	空知	岩見沢市	明治三十一年大水害報		○					『岩見沢百年史』昭和60年3月31日, pp343～pp345
474	空知	岩見沢市	大水害		○					『岩見沢百年史』昭和60年3月31日, pp483～pp484
475	空知	岩見沢市	岩見澤水害情報		○					『岩見沢百年史』昭和60年3月31日, pp989～pp997
476	空知	岩見沢市	位置、地勢、気候				○			『岩見沢百年史』昭和60年3月31日, pp2093～pp2094
477	空知	岩見沢市(北村)	石狩と空知の名			○				『北村史 上巻』昭和60年8月31日, pp167～pp169
478	空知	岩見沢市(北村)	地名のいわれ	○		○				『北村史 上巻』昭和60年8月31日, pp280～pp287
479	空知	岩見沢市(北村)	風水害にあえぐ北村		○					『北村史 上巻』昭和60年8月31日, pp633～pp711
480	空知	岩見沢市(北村)	石狩低地帯のち質をみる				○			『北村史 上巻』昭和60年8月31日, pp811～pp821
481	空知	岩見沢市(北村)	北村の名称、区域、自然			○	○			『北村百年史』平成16年3月31日, pp2～pp14
482	空知	岩見沢市(北村)	北村のアイヌ語地名	○		○				『北村百年史』平成16年3月31日, pp27～pp42
483	空知	岩見沢市(北村)	1898(明治31)年9月の石狩原野大洪水		○					『北村百年史』平成16年3月31日, pp333～pp335
484	空知	岩見沢市(北村)	忘れられない昭和7年の大水害		○					『北村百年史』平成16年3月31日, pp679～pp729
485	空知	岩見沢市(北村)	水害のない村を目指して		○					『北村百年史』平成16年3月31日, pp1214～pp1237
486	空知	岩見沢市(栗沢町)	地勢・地質				○			『栗沢町史』昭和39年12月10日, pp66～pp76
487	空知	岩見沢市(栗沢町)	地名のおこり			○				『栗沢町史』昭和39年12月10日, pp280～pp282
488	空知	岩見沢市(栗沢町)	水害		○					『栗沢町史』昭和39年12月10日, pp769～pp782
489	空知	美唄市	美唄の自然と環境			○	○	○		『美唄市史』昭和45年7月10日, pp143～pp190
490	空知	美唄市	風・水・雪害		○					『美唄市史』昭和45年7月10日, pp752～pp758
491	空知	美唄市	地形と地質				○			『美唄市百年史 通史編』平成3年9月30日, pp3～pp15
492	空知	美唄市	アイヌモシリの人々	○						『美唄市百年史 通史編』平成3年9月30日, pp74～pp81
493	空知	美唄市	幕末期以降のコタンと人々			○				『美唄市百年史 通史編』平成3年9月30日, pp110～pp131
494	空知	美唄市	人びとの往来と移住民の入地					○		『美唄市百年史 通史編』平成3年9月30日, pp187～pp196
495	空知	美唄市	一般入植地への移住と開墾		○			○		『美唄市百年史 通史編』平成3年9月30日, pp305～pp321
496	空知	美唄市	気象と水害		○					『美唄市百年史 通史編』平成3年9月30日, pp1394～pp1398
497	空知	芦別市	地質				○			『新芦別市史 第1巻』平成6年10月31日, pp35～pp60
498	空知	芦別市	石狩日誌			○	○			『新芦別市史 第1巻』平成6年10月31日, pp134～pp139
499	空知	芦別市	地域の変遷と現況			○	○			『新芦別市史 第1巻』平成6年10月31日, pp739～pp909
500	空知	赤平市	赤平地内の地層と火山岩類				○			『赤平市史 上巻』平成13年1月1日, pp61～pp67
501	空知	赤平市	『丁巳日誌』空知川遡上に記載されているアイヌ語地名解	○		○				『赤平市史 上巻』平成13年1月1日, pp112～pp117
502	空知	赤平市	各部落に伝わるアイヌの生活	○						『赤平市史 上巻』平成13年1月1日, pp153～pp156
503	空知	赤平市	赤平のアイヌ語地名	○			○			『赤平市史 上巻』平成13年1月1日, pp168～pp172
504	空知	赤平市	過去における主な災害		○					『赤平市史 下巻』平成13年1月1日, pp1223～pp1227
505	空知	三笠市	自然			○	○			『新三笠市史 通史編』平成5年1月30日, pp4～pp37
506	空知	三笠市	災害の記録		○					『新三笠市史 通史編』平成5年1月30日, pp1136～pp1138
507	空知	三笠市	三笠の位置と地勢・気象				○			『続 新三笠市史』平成13年12月27日, pp10～pp13
508	空知	三笠市	三笠の地名			○				『続 新三笠市史』平成13年12月27日, pp23～pp26
509	空知	滝川市	地誌				○			『滝川市史 上巻』昭和56年3月31日, pp45～pp60
510	空知	滝川市	アイヌ語地名とその語源	○		○				『滝川市史 上巻』昭和56年3月31日, pp114～pp116
511	空知	滝川市	地名・字名の由来			○				『滝川市史 上巻』昭和56年3月31日, pp494～pp495
512	空知	滝川市	風水害		○					『滝川市史 上巻』昭和56年3月31日, pp678～pp688
513	空知	砂川市	砂川の地質				○			『私たちの砂川市史 上巻』1991年3月20日, pp4～pp8
514	空知	砂川市	アイヌ語の地名	○		○				『私たちの砂川市史 上巻』1991年3月20日, pp27～pp38
515	空知	砂川市	火災と水害		○					『私たちの砂川市史 上巻』1991年3月20日, pp370～pp372

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
516	空知	歌志内市	地勢				○			『歌志内市史』昭和39年11月10日, pp46～pp60
517	空知	歌志内市	風水害		○					『歌志内市史』昭和39年11月10日, pp72～pp74
518	空知	歌志内市	地名ウタシナイ	○		○				『歌志内市史』昭和39年11月10日, pp126～pp0134
519	空知	深川市	自然と人文				○			『新深川市史』平成6年3月31日, pp3～pp14
520	空知	深川市	地名の由来	○		○				『新深川市史』平成6年3月31日, pp197～pp213
521	空知	深川市	自然災害		○					『新深川市史』平成6年3月31日, pp825～pp893
522	空知	南幌町	地質				○			『南幌町史』昭和37年12月1日, pp20～pp23
523	空知	南幌町	地名の起源			○		○		『南幌町史』昭和37年12月1日, pp33～pp37
524	空知	南幌町	水害と凶作		○					『南幌町史』昭和37年12月1日, pp622～pp661
525	空知	南幌町	町の自然				○			『南幌町百年史 上巻』平成5年10月1日, pp65～pp79
526	空知	南幌町	地名の起源			○				『南幌町百年史 上巻』平成5年10月1日, pp80～pp82
527	空知	南幌町	地勢および地質	○		○	○			『南幌町百年史 上巻』平成5年10月1日, pp96～pp102
528	空知	南幌町	水害と凶作		○					『南幌町百年史 上巻』平成5年10月1日, pp49～pp90
529	空知	奈井江町	地形および地質地層				○			『奈井江町史』昭和50年4月20日, pp3～pp10
530	空知	奈井江町	アイヌ地名	○		○				『奈井江町史』昭和50年4月20日, pp45～pp46
531	空知	奈井江町	水害		○					『奈井江町史』昭和50年4月20日, pp921～pp927
532	空知	奈井江町	地形および地質地層				○			『奈井江町百年史(上巻 通史編)』平成2年9月, pp3～pp12
533	空知	奈井江町	出土遺跡と先住民族	○		○				『奈井江町百年史(上巻 通史編)』平成2年9月, pp51～pp55
534	空知	奈井江町	水害		○					『奈井江町百年史(上巻 通史編)』平成2年9月, pp372～pp373
535	空知	奈井江町	水害		○					『奈井江町百年史(上巻 通史編)』平成2年9月, pp839～pp847
536	空知	上砂川町	アイヌ語の地名	○		○				『新砂川町史』昭和63年3月, pp12～pp13
537	空知	上砂川町	町域の地理的輪郭				○			『新砂川町史』昭和63年3月, pp708～pp710
538	空知	上砂川町	風水害		○					『新砂川町史』昭和63年3月, pp1299～pp1301
539	空知	由仁町	地名「由仁」の由来	○		○				『由仁町史<上巻>』平成6年3月30日, pp282
540	空知	由仁町	地質				○			『由仁町史<上巻>』平成6年3月30日, pp288
541	空知	由仁町	由仁町の災害		○					『由仁町史<上巻>』平成6年3月30日, pp722～pp728
542	空知	由仁町	アイヌ人の文化	○						『由仁町史<上巻>』平成6年3月30日, pp923～pp924
543	空知	長沼町	町名の由来	○		○				『長沼町の歴史 上巻』昭和37年9月15日, pp60～pp61
544	空知	長沼町	地質時代				○			『長沼町の歴史 下巻』昭和37年9月15日, pp24～pp30
545	空知	長沼町	災害の克服・治水のあゆみ		○					『長沼町の歴史 下巻』昭和37年9月15日, pp110～pp146
546	空知	長沼町	地勢				○			『長沼町九十年史』昭和52年12月, pp70
547	空知	長沼町	低地帯の成立				○			『長沼町九十年史』昭和52年12月, pp84～pp87
548	空知	長沼町	馬追原野・地名の由来			○				『長沼町九十年史』昭和52年12月, pp197～pp198
549	空知	長沼町	地名の説明			○				『長沼町九十年史』昭和52年12月, pp198～pp205
550	空知	長沼町	地名の説明			○				『長沼町九十年史』昭和52年12月, pp207～pp209
551	空知	長沼町	災害記録		○					『長沼町九十年史』昭和52年12月, pp958～pp973
552	空知	栗山町	アイヌ語地名	○		○				『栗山町史 第一巻』平成元年6月30日, pp61～pp65
553	空知	栗山町	災害の記録		○					『栗山町史 第一巻』平成元年6月30日, pp288～pp294
554	空知	月形町	地理的環境		○	○	○			『月形町史』昭和60年4月, 30日, pp3～pp12
555	空知	月形町	災害の歴史		○					『月形町史』昭和60年4月, 30日, pp657～pp667
556	空知	浦臼町	未曾有の大水害		○					『浦臼町史』昭和42年11月3日, pp107～pp109
557	空知	浦臼町	新しい村の環境			○	○			『浦臼町史』昭和42年11月3日, pp109～pp114
558	空知	浦臼町	地名をさめる	○		○				『浦臼町史』昭和42年11月3日, pp161～pp162
559	空知	新十津川町	地質				○			『新十津川町史』昭和41年3月25日, pp58～pp63
560	空知	新十津川町	母村十津川郷の水害		○					『新十津川町史』昭和41年3月25日, pp93～pp103
561	空知	新十津川町	字名	○		○				『新十津川町史』昭和41年3月25日, pp282～pp289
562	空知	新十津川町	災害記録		○					『新十津川町史』昭和41年3月25日, pp941～pp962
563	空知	新十津川町	地勢				○			『新十津川百年史』平成3年3月31日, pp4～pp5
564	空知	新十津川町	地質				○			『新十津川百年史』平成3年3月31日, pp5～pp11
565	空知	新十津川町	新十津川地質図				○			『新十津川百年史』平成3年3月31日
566	空知	新十津川町	アイヌの伝説	○						『新十津川百年史』平成3年3月31日, pp53～pp55
567	空知	新十津川町	新十津川のアイヌ語地名	○		○				『新十津川百年史』平成3年3月31日, pp55～pp57
568	空知	新十津川町	母村十津川郷の水害		○					『新十津川百年史』平成3年3月31日, pp99～pp105

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
569	空知	新十津川町	地名、字名の由来			○				『新十津川百年史』平成3年3月31日、pp337～pp340
570	空知	新十津川町	災害記録		○					『新十津川百年史』平成3年3月31日、pp1052～pp1073
571	空知	新十津川町	民話	○						『新十津川百年史』平成3年3月31日、pp1218～pp1227
572	空知	妹背牛町	地勢				○			『妹背牛町史』昭和54年4月30日、pp93～pp96
573	空知	妹背牛町	地名の起源	○		○				『妹背牛町史』昭和54年4月30日、pp108～pp109
574	空知	妹背牛町	風水害		○					『妹背牛町史』昭和54年4月30日、pp813～pp828
575	空知	妹背牛町	地質と地形				○			『妹背牛町百年史 上巻』平成5年11月30日、pp5～pp11
576	空知	妹背牛町	自然災害		○					『妹背牛町百年史 上巻』平成5年11月30日、pp645～pp656
577	空知	妹背牛町	位置と自然環境			○	○			『妹背牛町百年史 下巻』平成6年2月28日、pp3～pp5
578	空知	妹背牛町	風水害の記録		○					『妹背牛町百年史 下巻』平成6年2月28日、pp18～pp19
579	空知	妹背牛町	地名			○				『妹背牛町百年史 下巻』平成6年2月28日、pp41～pp46
580	空知	秩父別町	位置・面積・地勢				○			『秩父別町史』昭和62年3月、pp16～18
581	空知	秩父別町	秩父別の地名考	○		○				『秩父別町史』昭和62年3月、pp58～71
582	空知	秩父別町	自然災害の記録		○					『秩父別町史』昭和62年3月、pp1499～1503
583	空知	雨竜町	自然と環境				○			『雨竜町史』昭和44年9月12日、pp17～pp30
584	空知	雨竜町	地名の由来	○		○				『雨竜町史』昭和44年9月12日、pp157～pp160
585	空知	雨竜町	水害		○					『雨竜町史』昭和44年9月12日、pp313～pp326
586	空知	雨竜町	地勢				○			『雨竜町百年史』平成2年11月30日、pp3～pp7
587	空知	雨竜町	雨竜町の地質				○			『雨竜町百年史』平成2年11月30日、pp11～pp25
588	空知	雨竜町	アイヌ語地名	○		○				『雨竜町百年史』平成2年11月30日、pp101～pp102
589	空知	雨竜町	伝説を伝える	○						『雨竜町百年史』平成2年11月30日、pp135
590	空知	雨竜町	移住の展開					○		『雨竜町百年史』平成2年11月30日、pp137～pp173
591	空知	雨竜町	水害		○					『雨竜町百年史』平成2年11月30日、pp223～pp225
592	空知	北竜町	地勢				○			『北竜町史』昭和43年3月25日、pp51～pp56
593	空知	北竜町	先住民・アイヌ語地名	○		○				『北竜町史』昭和43年3月25日、pp77～pp80
594	空知	北竜町	自然災害		○					『北竜町史』昭和43年3月25日、pp324～pp334
595	空知	北竜町	自然災害		○					『北竜町史』昭和43年3月25日、pp475～pp493
596	空知	沼田町	地勢・地質				○			『新編沼田町史』昭和57年12月10日、pp58～pp83
597	空知	沼田町	地名の起源			○				『新編沼田町史』昭和57年12月10日、pp119～pp128
598	空知	沼田町	風水害の状況		○					『新編沼田町史』昭和57年12月10日、pp1027～pp1031

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
599	上川	旭川市	上川盆地の形成				○			『新旭川市史 第一巻』平成6年6月5日, pp3～pp40
600	上川	旭川市	川と地下水				○			『新旭川市史 第一巻』平成6年6月5日, pp55～pp74
601	上川	旭川市	災害		○					『新旭川市史 第二巻』平成14年3月22日, pp790～pp804
602	上川	旭川市	移民の増加					○		『新旭川市史 第二巻』平成14年3月22日, pp1008～pp1015
603	上川	旭川市	災害・事故		○					『新旭川市史 第三巻』平成18年3月30日, pp613～pp624
604	上川	旭川市	移民と戸口の増加					○		『新旭川市史 第三巻』平成18年3月30日, pp910～pp922
605	上川	旭川市	災害・事故と消防組		○					『新旭川市史 第三巻』平成18年3月30日, pp1268～pp1280
606	上川	旭川市	災害と消防組		○					『新旭川市史 第四巻』平成21年3月31日, pp770～pp776
607	上川	士別市	地形と地質				○			『士別市史』昭和44年7月1日, pp12～pp20
608	上川	士別市	自然災害		○					『士別市史』昭和44年7月1日, pp27～pp28
609	上川	士別市	士別アイヌ語地名解	○		○				『士別市史』昭和44年7月1日, pp98～pp104
610	上川	士別市	水害		○					『士別市史』昭和44年7月1日, pp1104～pp1117
611	上川	士別市(朝日町)	地形と地質				○			『朝日町史』昭和56年11月1日, pp6～pp14
612	上川	士別市(朝日町)	農業災害		○					『朝日町史』昭和56年11月1日, pp588～pp631
613	上川	士別市(朝日町)	風水害等の状況		○					『続朝日町史』平成20年6月30日, pp542～pp544
614	上川	名寄市	説話・伝説	○						『新名寄市史 第一巻』平成11年11月30日, pp50
615	上川	名寄市	「なよろ」の地名			○				『新名寄市史 第一巻』平成11年11月30日, pp73～pp74
616	上川	名寄市	治水と河川環境		○					『新名寄市史 第一巻』平成11年11月30日, pp475～pp481
617	上川	名寄市	地形と地質				○			『新名寄市史 第三巻』平成11年11月30日, pp12～pp37
618	上川	名寄市(風連町)	位置と地勢				○			『風連町史』昭和42年4月20日, pp1～pp3
619	上川	名寄市(風連町)	戸口と人口					○		『風連町史』昭和42年4月20日, pp15～pp21
620	上川	名寄市(風連町)	地理と気象				○			『風連町史 第二巻』平成11年8月31日, pp24～pp33
621	上川	名寄市(風連町)	風水害の発生状況		○					『風連町史 第二巻』平成11年8月31日, pp922～pp924
622	上川	富良野市	自然災害		○					『富良野市史 第三巻』平成6年5月30日, pp248～pp254
623	上川	富良野市	盆地をめぐる山々				○			『富良野市史 第一巻』昭和43年12月9日, pp1～pp2
624	上川	富良野市	自然環境				○			『富良野市史 第一巻』昭和43年12月9日, pp18～pp27
625	上川	富良野市	アイヌ語による郷土の地名	○		○				『富良野市史 第一巻』昭和43年12月9日, pp106～pp111
626	上川	富良野市	九・十号台風と水害		○					『富良野市史 第一巻』昭和43年12月9日, pp323～pp333
627	上川	富良野市	治水・治山		○					『富良野市史 第二巻』昭和44年2月1日, pp113～pp118
628	上川	富良野市	災害		○					『富良野市史 第二巻』昭和44年2月1日, pp119～pp128
629	上川	鷹栖町	村名の由来	○		○				『鷹栖町史』昭和48年7月31日, pp32～pp35
630	上川	鷹栖町	鷹栖町の自然環境				○			『鷹栖町史』昭和48年7月31日, pp35～pp56
631	上川	鷹栖町	水害		○					『鷹栖町史』昭和48年7月31日, pp318～pp329
632	上川	東神楽町	環境			○	○			『東神楽町史』昭和48年8月1日, pp3～pp39
633	上川	東神楽町	災害の発生		○					『東神楽町史』昭和48年8月1日, pp801～pp821
634	上川	当麻町	上川の地名地誌			○				『当麻町史』昭和50年1月20日, pp12～pp18
635	上川	当麻町	名称・地勢			○	○			『当麻町史』昭和50年1月20日, pp120～pp129
636	上川	当麻町	災害・凶作		○					『当麻町史』昭和50年1月20日, pp833～pp856
637	上川	当麻町	地質と土壌				○			『当麻百年史』平成5年11月1日, pp17～pp18
638	上川	当麻町	主要な風水害の記録		○					『当麻百年史』平成5年11月1日, pp757～pp759
639	上川	愛別町	愛別の名称	○		○				『愛別町史』昭和44年3月31日, pp93～pp94
640	上川	愛別町	地形と地質				○			『愛別町史』昭和44年3月31日, pp220～pp254
641	上川	愛別町	水害		○					『愛別町史』昭和44年3月31日, pp815～pp823
642	上川	愛別町	アイヌ語地名解	○		○				『愛別町史』昭和44年3月31日, pp1110～pp1113
643	上川	愛別町	山岳、河川				○			『愛別町百年記念史』平成6年8月1日, pp4～pp9
644	上川	上川町	地形・地質				○			『上川町史』昭和41年9月10日, pp53～pp99
645	上川	上川町	アイヌ語地名解	○		○				『上川町史』昭和41年9月10日, pp1239～pp1251
646	上川	東川町	東川町の土壌区				○			『東川町史』昭和50年2月28日, pp47～pp54
647	上川	東川町	災害		○					『東川町史』昭和50年2月28日, pp197～pp211
648	上川	東川町	地質と土壌				○			『東川町史 第二巻』平成7年8月1日, pp21～pp31
649	上川	東川町	風水害		○					『東川町史 第二巻』平成7年8月1日, pp780～pp783
650	上川	美瑛町	地名考			○				『美瑛町史』昭和32年7月31日, pp1～pp10
651	上川	美瑛町	アイヌ語地名解	○		○				『美瑛町史』昭和32年7月31日, pp40～pp42



No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
652	上川	美瑛町	土地・人口				○			『美瑛町史』昭和32年7月31日, pp103~pp129
653	上川	美瑛町	災害		○					『美瑛町史』昭和32年7月31日, pp466~pp496
654	上川	美瑛町	自然環境				○			『美瑛町百年史』平成12年12月1日, pp3~pp13
655	上川	美瑛町	美瑛のアイヌ語地名、伝説	○		○				『美瑛町百年史』平成12年12月1日, pp49~pp56
656	上川	美瑛町	美瑛の地名			○				『美瑛町百年史』平成12年12月1日, pp82~pp86
657	上川	美瑛町	災害		○					『美瑛町百年史』平成12年12月1日, pp553~pp558
658	上川	比布町	位置と地勢				○			『比布町史 第三巻』平成9年9月30日, pp3~pp29
659	上川	比布町	ビップの地名と由来			○				『比布町史 第三巻』平成9年9月30日, pp30~pp33
660	上川	比布町	比布町の伝説	○						『比布町史 第三巻』平成9年9月30日, pp109~pp110
661	上川	比布町	災害の発生		○					『比布町史 第三巻』平成9年9月30日, pp1241~pp1244
662	上川	比布町	比布町の移住者たち					○		『比布町史』昭和39年8月10日, pp51~pp55
663	上川	比布町	村名の由来	○		○				『比布町史』昭和39年8月10日, pp60~pp63
664	上川	比布町	位置と地勢				○			『比布町史』昭和39年8月10日, pp74~pp78
665	上川	比布町	地質および土壌				○			『比布町史』昭和39年8月10日, pp78~pp89
666	上川	比布町	水害				○			『比布町史』昭和39年8月10日, pp776~pp796
667	上川	上富良野町	自然環境				○			『上富良野町史』昭和42年8月15日, pp1~pp10
668	上川	上富良野町	伝説	○						『上富良野町史』昭和42年8月15日, pp66~pp68
669	上川	上富良野町	アイヌ語の地名	○		○				『上富良野町史』昭和42年8月15日, pp75~pp76
670	上川	上富良野町	上富良野の地形と地質				○			『上富良野百年史』平成10年8月, pp13~pp22
671	上川	上富良野町	上川・富良野盆地とアイヌ民族	○				○		『上富良野百年史』平成10年8月, pp132~pp141
672	上川	上富良野町	上富良野のアイヌ語地名	○		○				『上富良野百年史』平成10年8月, pp150~pp154
673	上川	上富良野町	災害の記録		○					『上富良野百年史』平成10年8月, pp316
674	上川	中富良野町	地勢				○			『中富良野町史 上巻』昭和61年3月31日, pp2~pp6
675	上川	中富良野町	地名	○		○				『中富良野町史 上巻』昭和61年3月31日, pp6~pp15
676	上川	中富良野町	地質				○			『中富良野町史 上巻』昭和61年3月31日, pp66~pp94
677	上川	中富良野町	明治以降の災害		○					『中富良野町史 下巻』昭和61年3月31日, pp440~pp456
678	上川	南富良野町	地形と地質				○			『南富良野町史 上巻』平成3年3月31日, pp3~pp9
679	上川	南富良野町	地名と部落誌	○		○				『南富良野町史 上巻』平成3年3月31日, pp26~pp55
680	上川	南富良野町	凶作等の爪跡		○					『南富良野町史 下巻』平成3年3月31日, pp463~pp478
681	上川	占冠村	占冠村の地誌				○			『占冠村史』昭和38年11月23日, pp3~pp6
682	上川	占冠村	アイヌ語の地名	○		○				『占冠村史』昭和38年11月23日, pp38~pp40
683	上川	占冠村	大正十一年の大水害		○					『占冠村史』昭和38年11月23日, pp192~pp194
684	上川	占冠村	水害のあらまし		○					『占冠村史』昭和38年11月23日, pp299~pp304
685	上川	占冠村	地誌(双珠別)				○			『占冠村史』昭和38年11月23日, pp818~pp820
686	上川	占冠村	地誌(中央)				○			『占冠村史』昭和38年11月23日, pp833~pp834
687	上川	占冠村	地誌(字占冠)				○			『占冠村史』昭和38年11月23日, pp853~pp856
688	上川	占冠村	地誌(ニニウ)				○			『占冠村史』昭和38年11月23日, pp875
689	上川	占冠村	地誌(上トマム)				○			『占冠村史』昭和38年11月23日, pp891~pp893
690	上川	占冠村	地誌(下トマム)				○			『占冠村史』昭和38年11月23日, pp910~pp911
691	上川	和寒町	地形と地質				○			『和寒町史』昭和50年9月1日, pp2~pp7
692	上川	和寒町	アイヌと地名	○		○				『和寒町史』昭和50年9月1日, pp32~pp36
693	上川	和寒町	道庁による地質, 河川調査				○			『和寒町史』昭和50年9月1日, pp65~pp70
694	上川	和寒町	水害		○					『和寒町史』昭和50年9月1日, pp693~pp698
695	上川	和寒町	山と川と峠				○			『和寒町百年史』平成12年3月, pp17~pp18
696	上川	和寒町	地質と土壌				○			『和寒町百年史』平成12年3月, pp19~pp21
697	上川	和寒町	災害の発生		○					『和寒町百年史』平成12年3月, pp707~pp710
698	上川	剣淵町	地質と地形				○			『剣淵町史』昭和54年3月26日, pp14~pp25
699	上川	剣淵町	剣淵川筋のアイヌ語地名解	○		○				『剣淵町史』昭和54年3月26日, pp66~pp+686
700	上川	剣淵町	水害							『剣淵町史』昭和54年3月26日, pp1438~pp1447
701	上川	剣淵町	地形、地質				○			『百年のあゆみ 剣淵町史 続史一』平成11年12月27日, pp29~pp45
702	上川	剣淵町	連続した地震		○					『百年のあゆみ 剣淵町史 続史一』平成11年12月27日, pp131~pp133
703	上川	剣淵町	農業災害と対策		○					『百年のあゆみ 剣淵町史 続史一』平成11年12月27日, pp385~pp388
704	上川	剣淵町	特筆すべき災害の記録		○					『百年のあゆみ 剣淵町史 続史一』平成11年12月27日, pp1057~pp1072

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
705	上川	下川町	概要及び環境			○	○			『下川町史』昭和43年9月26日, pp1～pp36
706	上川	下川町	本町に関係あるアイヌ語地名解	○		○				『下川町史』昭和43年9月26日, pp1443
707	上川	美深町	地形・地質				○			『美深町史(昭和46年版)』昭和46年11月1日発行, pp4～pp7
708	上川	美深町	アイヌ語地名解	○		○				『美深町史(昭和46年版)』昭和46年11月1日発行, pp60～pp67
709	上川	音威子府村	地誌				○			『音威子府村史 上巻』平成19年7月31日, pp3～pp12
710	上川	音威子府村	音威子府地方の地名	○		○				『音威子府村史 上巻』平成19年7月31日, pp26～pp54
711	上川	音威子府村	音威子府村のアイヌ伝説	○						『音威子府村史 上巻』平成19年7月31日, pp78～pp80
712	上川	中川町	山と川				○			『中川町史』昭和50年4月1日, pp1～pp6
713	上川	中川町	地形・地質				○			『中川町史』昭和50年4月1日, pp8～pp10
714	上川	中川町	なか川を中心とした天塩川筋のアイヌ	○		○				『中川町史』昭和50年4月1日, pp54～pp79
715	上川	中川町	災害		○					『中川町史』昭和50年4月1日, pp403～pp434
716	上川	幌加内町	地勢				○			『新幌加内町史』平成20年3月31日, pp4～pp5
717	上川	幌加内町	自然災害		○					『新幌加内町史』平成20年3月31日, pp713～pp735
718	上川	幌加内町	幌加内町の生いたち				○			『新幌加内町史』平成20年3月31日, pp1463～pp1466
719	上川	幌加内町	地名考			○				『新幌加内町史』平成20年3月31日, pp1482～pp1483

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
720	留萌	小平町	自然環境とアイヌ語地名	○		○	○			『小平町史』昭和51年10月1日, ppⅢ～ppX
721	留萌	留萌市	位置と地形				○			『新 留萌市史』平成15年3月31日, pp3～pp12
722	留萌	留萌市	自然災害と留萌市地域防災計画		○					『新 留萌市史』平成15年3月31日, pp941～pp948
723	留萌	増毛町	農業災害		○					『新 増毛町史』平成18年3月31日, pp258～pp260
724	留萌	増毛町	地勢, 地理, 地質				○			『新 増毛町史』平成18年3月31日, pp743～pp754
725	留萌	増毛町	アイヌ語地名	○		○				『新 増毛町史』平成18年3月31日, pp786～pp801
726	留萌	苫前町	地誌			○	○			『苫前町史』昭和57年11月30日, pp3～pp34
727	留萌	羽幌町	羽幌町の地誌				○			『新 羽幌町史』平成13年2月28日, pp3～pp66
728	留萌	羽幌町	羽幌町のアイヌ語地名	○		○				『新 羽幌町史』平成13年2月28日, pp67～pp109
729	留萌	羽幌町	昭和七年の冷・水害		○					『新 羽幌町史』平成13年2月28日, pp458～pp459
730	留萌	羽幌町	風水害		○					『新 羽幌町史』平成13年2月28日, pp1059
731	留萌	初山別村	農民の移住, 開拓の開始					○		『新 初山別村史』平成25年6月, pp124～pp166
732	留萌	初山別村	自然災害		○					『新 初山別村史』平成25年6月, pp988～pp990
733	留萌	初山別村	村名「初山別」の語源			○				『新 初山別村史』平成25年6月, pp1058～pp1062
734	留萌	初山別村	地理			○	○			『新 初山別村史』平成25年6月, pp1100～pp1102
735	留萌	初山別村	地理			○	○			『新 初山別村史』平成25年6月, pp1118～pp1121
736	留萌	初山別村	地理			○	○			『新 初山別村史』平成25年6月, pp1133～pp1137
737	留萌	初山別村	地理			○	○			『新 初山別村史』平成25年6月, pp1145～pp1147
738	留萌	初山別村	地理			○	○			『新 初山別村史』平成25年6月, pp1151～pp1156
739	留萌	初山別村	地理			○	○			『新 初山別村史』平成25年6月, pp1169～pp1171
740	留萌	初山別村	地理			○	○			『新 初山別村史』平成25年6月, pp1180～pp1184
741	留萌	初山別村	地理			○	○			『新 初山別村史』平成25年6月, pp1189～pp1192
742	留萌	遠別町	天塩の名称	○		○				『遠別町史』昭和32年8月20日, pp2～pp3
743	留萌	遠別町	遠別の名称	○		○				『遠別町史』昭和32年8月20日, pp4～pp5
744	留萌	遠別町	遠別の地誌				○			『遠別町史』昭和32年8月20日, pp23～pp25
745	留萌	遠別町	団体移住の動機と手続					○		『遠別町史』昭和32年8月20日, pp32～pp33
746	留萌	遠別町	洪水の状況		○					『遠別町史』昭和32年8月20日, pp52
747	留萌	天塩町	移住の展開					○		『新編 天塩町史』平成5年3月15日, pp135～pp147
748	留萌	天塩町	火事・災害		○					『新編 天塩町史』平成5年3月15日, pp535～pp537

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
749	宗谷	稚内市	地形と地質				○		『稚内市史』昭和43年12月20日, pp27～pp44	
750	宗谷	稚内市	宗谷, 稚内のアイヌ語地名	○		○			『稚内市史』昭和43年12月20日, pp77～pp83	
751	宗谷	稚内市	地形				○		『稚内市史 第二巻』平成11年1月31日, pp3～pp8	
752	宗谷	稚内市	地質				○		『稚内市史 第二巻』平成11年1月31日, pp9～pp31	
753	宗谷	稚内市	稚内のアイヌ語地名	○		○			『稚内市史 第二巻』平成11年1月31日, pp112～pp120	
754	宗谷	稚内市	自然災害		○				『稚内市史 第二巻』平成11年1月31日, pp433～pp436	
755	宗谷	猿払村	位置, 地勢				○		『猿払村史』昭和51年3月31日, pp1～pp15	
756	宗谷	猿払村	アイヌ語地名	○		○			『猿払村史』昭和51年3月31日, pp81～pp83	
757	宗谷	猿払村	暴風雨雪		○				『猿払村史』昭和51年3月31日, pp455～pp459	
758	宗谷	猿払村	伝説と民話	○					『猿払村史』昭和51年3月31日, pp601～pp603	
759	宗谷	中頓別町	母なる山河				○		『中頓別町史』平成9年5月, pp3～pp7	
760	宗谷	中頓別町	頓別平野の土壌				○		『中頓別町史』平成9年5月, pp38～pp42	
761	宗谷	中頓別町	頓別川の水系				○		『中頓別町史』平成9年5月, pp43～pp47	
762	宗谷	中頓別町	アイヌ語地名の足跡	○		○			『中頓別町史』平成9年5月, pp80～pp83	
763	宗谷	中頓別町	気象災害の記録		○				『中頓別町史』平成9年5月, pp747～pp752	
764	宗谷	枝幸町	枝幸町地名解			○			『枝幸町史 上巻』昭和42年7月15日, pp107～pp138	
765	宗谷	枝幸町	枝幸の自然				○		『枝幸町史 下巻』昭和46年7月15日, pp17～pp58	
766	宗谷	豊富町	地形と地質				○		『豊富町史』昭和61年3月20日, pp5～pp13	
767	宗谷	豊富町	兜沼, 沼向				○		『豊富町史』昭和61年3月20日, pp189～pp194	
768	宗谷	豊富町	豊富(西豊富, 南豊富, 中豊富)		○	○		○	『豊富町史』昭和61年3月20日, pp194～pp201	
769	宗谷	豊富町	芦川, 開源		○	○	○		『豊富町史』昭和61年3月20日, pp215～pp217	
770	宗谷	礼文町	地勢				○		『礼文町史』昭和47年9月10日, pp14～pp39	
771	宗谷	礼文町	アイヌ語地名解	○		○			『礼文町史』昭和47年9月10日, pp83～pp89	
772	宗谷	利尻町	気象災害		○				『利尻町史通史編』平成12年3月31日, pp11～pp15	
773	宗谷	利尻町	地質, 地形				○		『利尻町史通史編』平成12年3月31日, pp17～pp40	
774	宗谷	利尻町	地名				○		『利尻町史通史編』平成12年3月31日, pp100～pp118	
775	宗谷	利尻町	風水害		○				『利尻町史通史編』平成12年3月31日, pp1081～pp1083	
776	宗谷	利尻富士町	地質と地形				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp22～pp41	
777	宗谷	利尻富士町	地名				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp91～pp144	
778	宗谷	利尻富士町	地名				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp146～pp147	
779	宗谷	利尻富士町	人口の増加と集落の発達				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp151～pp153	
780	宗谷	利尻富士町	人口の増加と市街地の発達				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp172～pp176	
781	宗谷	利尻富士町	地名				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp204～pp205	
782	宗谷	利尻富士町	人口の増加と集落の発達					○	『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp207～pp210	
783	宗谷	利尻富士町	地名				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp230～pp232	
784	宗谷	利尻富士町	地名				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp259～pp260	
785	宗谷	利尻富士町	地名				○		『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp279～pp280	
786	宗谷	利尻富士町	災害の記録		○				『利尻富士町史』平成10年3月31日, pp1462～pp1465	
787	宗谷	幌延町	幌延町の地質				○		『新幌延町史』平成12年12月12日, pp9～pp36	
788	宗谷	幌延町	幌延町の地名解				○		『新幌延町史』平成12年12月12日, pp156～pp168	
789	宗谷	幌延町	水害		○				『新幌延町史』平成12年12月12日, pp1205～pp1207	

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
790	オホーツク	北見市	地形, 地質, 地史				○		『北見市史 上巻』昭和56(1981)年, pp3~pp44	
791	オホーツク	北見市	古北見湖と北見粘土の生成				○		『北見市史 上巻』昭和56(1981)年, pp57~pp68	
792	オホーツク	北見市	災害発生地域		○				『北見市史 上巻』昭和56(1981)年, pp82	
793	オホーツク	北見市	水害		○				『北見市史 上巻』昭和56(1981)年, pp83	
794	オホーツク	北見市	屈斜路火山の軽石流				○		『北見市史 上巻』昭和56(1981)年, pp252~pp254	
795	オホーツク	北見市	幕藩体制下の北見地方	○		○			『北見市史 上巻』昭和56(1981)年, pp571~pp626	
796	オホーツク	北見市	飯田農場(水害の記述)		○			○	『北見市史 上巻』昭和56(1981)年, pp952~pp953	
797	オホーツク	北見市	福島団地(災害移住)		○			○	『北見市史 下巻』昭和58(1983)年, pp65~pp67	
798	オホーツク	北見市	風水害		○				『北見市史 下巻』昭和58(1983)年, pp201~pp202	
799	オホーツク	北見市(端野町)	地質, 地形		○		○		『端野町史』昭和40(1965)年, pp1~pp15	
800	オホーツク	北見市(端野町)	昭和二十八, 九年の凶作		○				『端野町史』昭和40(1965)年, pp33~pp35	
801	オホーツク	北見市(端野町)	先住民	○		○			『端野町史』昭和40(1965)年, pp97~pp106	
802	オホーツク	北見市(端野町)	試練(水害)		○				『端野町史』昭和40(1965)年, pp183~pp189	
803	オホーツク	北見市(常呂町)	位置, 面積, 地勢, 地質				○		『常呂町史』昭和44(1969)年, pp1~pp12	
804	オホーツク	北見市(常呂町)	常呂川氾濫		○				『常呂町史』昭和44(1969)年, pp65~pp67	
805	オホーツク	北見市(常呂町)	オホーツク災害		○				『常呂町史』昭和44(1969)年, pp86~pp87	
806	オホーツク	北見市(常呂町)	常呂川の氾濫		○				『常呂町史』昭和44(1969)年, pp93	
807	オホーツク	北見市(常呂町)	常呂川の氾濫(その2)		○				『常呂町史』昭和44(1969)年, pp95	
808	オホーツク	北見市(常呂町)	水害		○				『常呂町史』昭和44(1969)年, pp374~pp375	
809	オホーツク	北見市(常呂町)	災害		○				『常呂町史』昭和44(1969)年, pp545~pp553	
810	オホーツク	北見市(常呂町)	イワケシ悲話	○	○				『常呂町史』昭和44(1969)年, pp683~pp684	
811	オホーツク	北見市(留辺蘂町)	「むかしむかし」るべしべ物語, 無加川の生いたちとその流域				○		『新留辺蘂町史』昭和60(1985)年, pp3~pp6	
812	オホーツク	北見市(留辺蘂町)	無加川の大出水, 九号台風による風水害, 台風六号			○			『新留辺蘂町史』昭和60(1985)年, pp328~pp333	
813	オホーツク	北見市(留辺蘂町)	十五号台風の被害とその処理過程		○				『新留辺蘂町史』昭和60(1985)年, pp420~pp425	
814	オホーツク	網走市	宗谷地方の商場	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp324~pp326	
815	オホーツク	網走市	元禄御国繪図, 松前島郷帳	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp341~pp346	
816	オホーツク	網走市	佐藤玄六郎の巡行, 地図に現れた北海岸	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp434~pp441	
817	オホーツク	網走市	寛政の乱と網走地方	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp452~pp465	
818	オホーツク	網走市	ソウヤ附近の図, モンベツ附近の図	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp487	
819	オホーツク	網走市	北見沿岸の旅	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp560~pp564	
820	オホーツク	網走市	網走越の開通	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp650~pp652	
821	オホーツク	網走市	主要部落の状況, 前時代との比較	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp726~pp733	
822	オホーツク	網走市	松浦武四郎の地理調査	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp913~pp932	
823	オホーツク	網走市	地名の発祥	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp1284~pp1285	
824	オホーツク	網走市	網走郡内アイヌ語地名解	○		○			『網走市史 上巻』昭和33(1958)年, pp1339~pp1374	
825	オホーツク	網走市	山火事		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp212~pp213	
826	オホーツク	網走市	開拓記の冷・水害		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp432	
827	オホーツク	網走市	災害		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp617~pp631	
828	オホーツク	網走市	大正の変災		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp999~pp1015	
829	オホーツク	網走市	許可移住		○			○	『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp1026~pp1031	
830	オホーツク	網走市	治水事業		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp1101~pp1107	
831	オホーツク	網走市	硫黄山噴火		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp1286~pp1287	
832	オホーツク	網走市	昭和七年の水害凶作		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp1410~pp1418	
833	オホーツク	網走市	昭和10年の水害凶作		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp1422~pp1424	
834	オホーツク	網走市	戦時下の災害		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp1425~pp1427	
835	オホーツク	網走市	字名の変更	○		○			『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp1492~pp1498	
836	オホーツク	網走市	水害		○				『網走市史 下巻』昭和46(1971)年, pp1508	
837	オホーツク	紋別市	アイヌ語地名	○		○			『新修 紋別市史』平成19年3月31日, pp26~pp28	
838	オホーツク	紋別市	紋別市の位置と地勢				○		『新修 紋別市史』平成19年3月31日, pp997~pp998	
839	オホーツク	紋別市	風水害		○				『新修 紋別市史』平成19年3月31日, pp1102~pp1105	
840	オホーツク	美幌町	美幌周辺の伝説	○					『美幌町史』昭和47年3月30日, pp63~pp73	
841	オホーツク	美幌町	アイヌ語地名解			○			『美幌町史』昭和47年3月30日, pp74~pp82	
842	オホーツク	美幌町	大正11年の大水害		○				『美幌町史』昭和47年3月30日, pp278~pp279	

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
843	オホーツク	美幌町	地誌, 気象				○			『美幌町史』昭和47年3月30日, pp357~pp367
844	オホーツク	美幌町	水害の記録		○					『美幌町史』昭和47年3月30日, pp1289~pp1292
845	オホーツク	津別町	地形, 地質				○			『新訂津別町史』昭和46(1971)年3月30日, pp3~pp10
846	オホーツク	津別町	災害		○					『新訂津別町史』昭和46(1971)年3月30日, pp16~pp18
847	オホーツク	津別町	河川				○			『新訂津別町史』昭和46(1971)年3月30日, pp19~pp20
848	オホーツク	津別町	木桶部落		○	○				『新訂津別町史』昭和46(1971)年3月30日, pp126~pp127
849	オホーツク	津別町	戦中戦後の濫伐, 一五号台風		○					『新訂津別町史』昭和46(1971)年3月30日, pp718~pp719
850	オホーツク	津別町	林野火災発生状況(昭和29年以降)		○					『新訂津別町史』昭和46(1971)年3月30日, pp909~pp910
851	オホーツク	津別町	災害と防災体制		○					『新訂津別町史』昭和46(1971)年3月30日, pp915~pp916
852	オホーツク	津別町	当地方の地名解	○		○				『津別町史』昭和29(1954)年9月, pp37~pp40
853	オホーツク	津別町	木桶山崩れ事件		○					『津別町史』昭和29(1954)年9月, pp173~pp174
854	オホーツク	津別町	達美		○					『津別町史』昭和29(1954)年9月, pp231
855	オホーツク	津別町	豊永		○					『津別町史』昭和29(1954)年9月, pp241
856	オホーツク	津別町	木桶		○					『津別町史』昭和29(1954)年9月, pp281
857	オホーツク	津別町	アイヌ語地名	○		○				『津別町百年史』昭和60(1985)年12月, pp4~pp6
858	オホーツク	津別町	受難の記録		○					『津別町百年史』昭和60(1985)年12月, pp235~pp238
859	オホーツク	津別町	災害の記録		○					『津別町百年史』昭和60(1985)年12月, pp625~pp631
860	オホーツク	津別町	天災		○					『津別町百年史』昭和60(1985)年12月, pp1013
861	オホーツク	津別町	台風禍		○					『津別町百年史』昭和60(1985)年12月, pp1034
862	オホーツク	津別町	山火事		○					『津別町百年史』昭和60(1985)年12月, pp1115
863	オホーツク	津別町	天災		○					『津別町百年史』昭和60(1985)年12月, pp1118~pp1121
864	オホーツク	斜里町	農業災害		○					『斜里町史』32昭和30(1955)年4月1日, pp332~pp334
865	オホーツク	斜里町	斜里郡内アイヌ語地名解	○		○				『斜里町史』昭和30(1955)年4月1日, pp851~pp872
866	オホーツク	斜里町	暴れまわる川		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp84~pp86
867	オホーツク	斜里町	火災		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp109~pp110
868	オホーツク	斜里町	栃木団体の入殖		○			○		『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp126~pp127
869	オホーツク	斜里町	地名の由来	○		○				『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp143~pp145
870	オホーツク	斜里町	大山火		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp153
871	オホーツク	斜里町	大水害		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp187~pp188
872	オホーツク	斜里町	火災		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp228~pp229
873	オホーツク	斜里町	山火		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp264
874	オホーツク	斜里町	治水		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp311~pp313
875	オホーツク	斜里町	猿間川の洪水		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp332
876	オホーツク	斜里町	斜里川のはん濫		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp345
877	オホーツク	斜里町	斜里川の被害		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp381~pp383
878	オホーツク	斜里町	奥の深い所	○		○				『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp445
879	オホーツク	斜里町	未開時代	○		○				『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp449
880	オホーツク	斜里町	オホーツク災害		○					『斜里町史』第2巻, 昭和45(1970)年3月20日, pp623~pp628
881	オホーツク	清里町	位置と面積, 地勢				○			『清里町史』昭和53(1978)年, pp23~pp24
882	オホーツク	清里町	アイヌ語地名解	○		○				『清里町史』昭和53(1978)年, pp37~pp40
883	オホーツク	清里町	塚本伊勢太の入地定住					○		『清里町史』昭和53(1978)年, pp46
884	オホーツク	清里町	相次ぐ入植					○		『清里町史』昭和53(1978)年, pp47
885	オホーツク	清里町	部落の創成					○		『清里町史』昭和53(1978)年, pp69~pp80
886	オホーツク	清里町	開拓史話					○		『清里町史』昭和53(1978)年, pp81~pp94
887	オホーツク	清里町	災害とのたたかい		○					『清里町史』昭和53(1978)年, pp218~pp222
888	オホーツク	清里町	災害の歴史		○					『清里町史』昭和53(1978)年, pp375~pp381
889	オホーツク	小清水町	地勢				○			『新小清水町史』平成12(2000)年, pp3~pp5
890	オホーツク	小清水町	和人の定住	○		○		○		『新小清水町史』平成12(2000)年, pp27~pp31
891	オホーツク	小清水町	開拓期の農牧場, 新天地を求めて, 団体入殖					○		『新小清水町史』平成12(2000)年, pp36~pp50
892	オホーツク	小清水町	風害の苦難		○					『新小清水町史』平成12(2000)年, pp58
893	オホーツク	小清水町	緊急開拓の軌跡					○		『新小清水町史』平成12(2000)年, pp61~pp67
894	オホーツク	小清水町	アイヌ語地名解	○		○				『新小清水町史』平成12(2000)年, pp78~pp81
895	オホーツク	小清水町	北見国開拓の始まり					○		『新小清水町史』平成12(2000)年, pp101

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
896	オホーツク	小清水町	水害		○					『新小清水町史』平成12(2000)年, pp439~pp440
897	オホーツク	小清水町	自然物の崇拜	○						『新小清水町史』平成12(2000)年, pp715
898	オホーツク	小清水町	竜神宮		○					『新小清水町史』平成12(2000)年, pp721~pp722
899	オホーツク	訓子府町	位置, 面積, 地形, 地質				○			『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp38~pp47
900	オホーツク	訓子府町	アイヌ語地名	○		○				『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp64~pp65
901	オホーツク	訓子府町	拓殖事業の進展(大農場の発生)					○		『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp93
902	オホーツク	訓子府町	北見地方のあけぼの, 北光社農場					○		『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp100~pp106
903	オホーツク	訓子府町	大水害と不況		○					『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp122
904	オホーツク	訓子府町	災害復旧		○					『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp130~pp131
905	オホーツク	訓子府町	戸口					○		『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp188~pp197
906	オホーツク	訓子府町	戦後開拓					○		『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp356~pp358
907	オホーツク	訓子府町	洪水と治水		○			○		『訓子府町史』昭和42(1967)年, pp1107~pp1133
908	オホーツク	置戸町	地勢				○			『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp40~pp49
909	オホーツク	置戸町	地質, 地史				○			『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp50~pp62
910	オホーツク	置戸町	地図, 図表(網走地方の地質図)				○			『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp57
911	オホーツク	置戸町	観測を続けて(推移観測所員の証言)		○					『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp79
912	オホーツク	置戸町	蝦夷時代の北見地方	○		○				『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp163~pp168
913	オホーツク	置戸町	秋田団体(大水害にあい新天地を求めて)		○			○		『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp238~pp239
914	オホーツク	置戸町	水害(昭和初期の冷害史)		○					『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp299~pp304
915	オホーツク	置戸町	橋梁(水害)		○					『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp704~pp705
916	オホーツク	置戸町	災害(冷害害, 水害)		○					『置戸町史 上巻』昭和60(1985)年, pp787~pp794
917	オホーツク	置戸町	台風15号		○					『置戸町史 下巻』昭和62(1987)年, pp64~pp69
918	オホーツク	置戸町	五〇年水害		○					『置戸町史 下巻』昭和62(1987)年, pp99~pp100
919	オホーツク	置戸町	冷害害史		○					『置戸町史 下巻』昭和62(1987)年, pp192~pp198
920	オホーツク	置戸町	水害の状況, 戦後の風水害記録		○					『置戸町史 下巻』昭和62(1987)年, pp498~pp501
921	オホーツク	佐呂間町	栃木部落		○			○		『佐呂間町史』昭和41(1966)年5月30日, pp157~pp163
922	オホーツク	佐呂間町	地形, 地質				○			『佐呂間町史』昭和41(1966)年5月30日, pp219~pp232
923	オホーツク	佐呂間町	山岳, 河川及び湖沼				○			『佐呂間町史』昭和41(1966)年5月30日, pp275~pp281
924	オホーツク	佐呂間町	地震		○					『佐呂間町史』昭和41(1966)年5月30日, pp292~pp293
925	オホーツク	佐呂間町	許可移民の入殖		○			○		『佐呂間町史』昭和41(1966)年5月30日, pp330~pp331
926	オホーツク	佐呂間町	山火事		○					『佐呂間町史』昭和41(1966)年5月30日, pp841~pp843
927	オホーツク	佐呂間町	最近10年間の水害		○					『佐呂間町史』昭和41(1966)年5月30日, pp847~pp849
928	オホーツク	佐呂間町	十勝アイヌとの戦い	○						『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp31
929	オホーツク	佐呂間町	町名の由来	○		○				『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp36~pp37
930	オホーツク	佐呂間町	町内のアイヌ語地名	○		○				『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp37~pp41
931	オホーツク	佐呂間町	天災とのたたかい							『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp126
932	オホーツク	佐呂間町	昭和七年の冷水害		○					『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp317~pp320
933	オホーツク	佐呂間町	昭和十六年の冷水害		○					『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp322~pp323
934	オホーツク	佐呂間町	山火事		○					『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp477~pp478
935	オホーツク	佐呂間町	水害		○					『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp479~pp480
936	オホーツク	佐呂間町	一五号台風禍		○					『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp1094
937	オホーツク	佐呂間町	山火事		○					『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp1276~pp1277
938	オホーツク	佐呂間町	水害		○					『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp1277~pp1280
939	オホーツク	佐呂間町	台風禍		○					『佐呂間町百年史』平成7(1995)年9月, pp1280
940	オホーツク	佐呂間町仁倉	地勢, 地質				○			『仁倉部落史』昭和49(1974)年, pp10~pp11
941	オホーツク	佐呂間町仁倉	昭和二九年, 昭和三七年		○					『仁倉部落史』昭和49(1974)年, pp103~pp105
942	オホーツク	佐呂間町仁倉	水利組合		○					『仁倉部落史』昭和49(1974)年, pp181~pp184
943	オホーツク	佐呂間町仁倉	橋梁[ママ]		○					『仁倉部落史』昭和49(1974)年, pp219~pp223
944	オホーツク	佐呂間町仁倉	治山治水		○					『仁倉部落史』昭和49(1974)年, pp241~pp249
945	オホーツク	佐呂間町仁倉	砂防ダム		○					『仁倉部落史』昭和49(1974)年, pp249~pp250
946	オホーツク	遠軽町	名称, 位置, 面積, 人口, 地形, 地質	○		○	○			『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp38~pp46
947	オホーツク	遠軽町	土性				○			『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp47~pp61
948	オホーツク	遠軽町	遠軽町の土じょう図				○			『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp58~pp59

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
949	オホーツク	遠軽町	遠軽に關係する異常気象		○					『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp77~pp83
950	オホーツク	遠軽町	伝説	○						『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp145~pp146
951	オホーツク	遠軽町	明治31年の水害		○					『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp199~pp207
952	オホーツク	遠軽町	松浦武四郎の日記	○		○				『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp213~pp218
953	オホーツク	遠軽町	大正11年8月25日の水害		○					『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp555
954	オホーツク	遠軽町	災害		○					『遠軽町史』昭和52(1977)年, pp669~pp670
955	オホーツク	遠軽町(生田原町)	地勢と気象	○		○	○			『生田原町史』昭和56(1981)年, pp9~pp57
956	オホーツク	遠軽町(生田原町)	先住民時代	○		○				『生田原町史』昭和56(1981)年, pp64~pp67
957	オホーツク	遠軽町(生田原町)	字名改定	○		○				『生田原町史』昭和56(1981)年, pp97~pp103
958	オホーツク	遠軽町(生田原町)	災禍とのたたかい		○					『生田原町史』昭和56(1981)年, pp339~pp352
959	オホーツク	遠軽町(生田原町)	山火事		○					『生田原町史』昭和56(1981)年, pp591~pp593
960	オホーツク	遠軽町(生田原町)	水害と雪害		○					『生田原町史』昭和56(1981)年, pp599~pp601
961	オホーツク	遠軽町(生田原町)	治山と治水, 生田原川の改修		○					『生田原町史』昭和56(1981)年, pp602~pp605
962	オホーツク	遠軽町(白滝村)	自然と環境				○			『白滝村史』昭和46(1971)年, pp25~pp40
963	オホーツク	遠軽町(白滝村)	村名の決定	○		○				『白滝村史』昭和46(1971)年, pp66~pp67
964	オホーツク	遠軽町(白滝村)	凶作(災害)		○					『白滝村史』昭和46(1971)年, pp174~pp178
965	オホーツク	遠軽町(白滝村)	水害, 十五号台風による災害		○					『白滝村史』昭和46(1971)年, pp346~pp349
966	オホーツク	遠軽町(白滝村)	渡船(水害)		○					『白滝村史』昭和46(1971)年, pp480~pp481
967	オホーツク	遠軽町(白滝村)	アイヌの伝説(水害)	○	○					『白滝村史』昭和46(1971)年, pp557~pp558
968	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	自然(地形, 山岳, 河川)				○			『新丸瀬布町史 上巻』平成6(1994)年, pp6~pp18
969	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	蝦夷地時代の地理調査	○		○	○			『新丸瀬布町史 上巻』平成6(1994)年, pp99~pp104
970	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	丸瀬布の伝承地名	○		○				『新丸瀬布町史 上巻』平成6(1994)年, pp255~pp272
971	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	流産した西湧別村(山火事)		○					『新丸瀬布町史 上巻』平成6(1994)年, pp323~pp324
972	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	分村七年目で町政へ(洞爺丸台風)		○					『新丸瀬布町史 上巻』平成6(1994)年, pp363~pp365
973	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	佐賀団体		○			○		『新丸瀬布町史 上巻』平成6(1994)年, pp680~pp688
974	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	地図(巻頭付録諸地図)	○		○	○			『新丸瀬布町史 下巻』平成6(1994)年
975	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	気田和二郎(滝ノ下駅通所歴代取扱人)		○					『新丸瀬布町史 下巻』平成6(1994)年, pp1300
976	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	渡船(災害)		○					『新丸瀬布町史 下巻』平成6(1994)年, pp1305~pp1307
977	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	なだれ遭難		○					『新丸瀬布町史 下巻』平成6(1994)年, pp1463~pp1464
978	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	風水害, 地震		○					『新丸瀬布町史 下巻』平成6(1994)年, pp1497~pp1504
979	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	山火事		○					『新丸瀬布町史 下巻』平成6(1994)年, pp1512~pp1520
980	オホーツク	遠軽町(丸瀬布町)	雪害, 寒害		○					『新丸瀬布町史 下巻』平成6(1994)年, pp1521~pp1523
981	オホーツク	湧別町	自然環境				○			『湧別町史』昭和40年6月13日, pp62~pp71
982	オホーツク	湧別町	災害		○					『湧別町史』昭和40年6月13日, pp637~pp645
983	オホーツク	湧別町	町名の由来			○				『湧別町史』昭和40年6月13日, pp717~pp718
984	オホーツク	湧別町(上湧別町)	地勢と地質				○			『上湧別町史』昭和54年11月20日, pp45~pp47
985	オホーツク	湧別町(上湧別町)	土壌と土性				○			『上湧別町史』昭和54年11月20日, pp47~pp70
986	オホーツク	湧別町(上湧別町)	地形及び土質, 面積				○			『上湧別町史』昭和54年11月20日, pp334
987	オホーツク	湧別町(上湧別町)	渡船場		○					『上湧別町史』昭和54年11月20日, pp345
988	オホーツク	湧別町(上湧別町)	位置, 地形, 土質, 面積				○			『上湧別町史』昭和54年11月20日, pp368
989	オホーツク	湧別町(上湧別町)	水害		○					『上湧別町史』昭和54年11月20日, pp1333~pp1334
990	オホーツク	滝上町	アイヌ地名と文獻	○		○				『滝上町史』昭和37(1962)年5月15日, pp53~pp68
991	オホーツク	滝上町	第三回村会議員選挙		○					『滝上町史』昭和37(1962)年5月15日, pp110
992	オホーツク	滝上町	滝上商工会設立		○					『滝上町史』昭和37(1962)年5月15日, pp117
993	オホーツク	滝上町	山人水害と凶作		○					『滝上町史』昭和37(1962)年5月15日, pp119~pp120
994	オホーツク	滝上町	災害		○					『滝上町史』昭和37(1962)年5月15日, pp334~pp337
995	オホーツク	滝上町	地名			○				『滝上町史』昭和51(1976)年8月20日, pp36
996	オホーツク	滝上町	地勢, 地質				○			『滝上町史』昭和51(1976)年8月20日, pp38~pp44
997	オホーツク	滝上町	アイヌ地名と文獻			○				『滝上町史』昭和51(1976)年8月20日, pp50~pp64
998	オホーツク	滝上町	当時の渚滑村		○					『滝上町史』昭和51(1976)年8月20日, pp110~pp111
999	オホーツク	滝上町	山火と水害と凶作		○					『滝上町史』昭和51(1976)年8月20日, pp215~pp216
1000	オホーツク	滝上町	造材の始め		○					『滝上町史』昭和51(1976)年8月20日, pp400~pp403
1001	オホーツク	滝上町	洞爺丸台風の影響		○					『滝上町史』昭和51(1976)年8月20日, pp433~pp436



No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1002	オホーツク	滝上町	災害 (山火, 水害)		○					『滝上町史』昭和51(1976)年8月20日, pp615~pp618
1003	オホーツク	興部町	興部村時代 (大正四年から昭和二五年まで)		○					『興部町史』昭和36(1961)年, pp38~pp48
1004	オホーツク	興部町	台風		○					『興部町史』昭和36(1961)年, pp50
1005	オホーツク	興部町	興部川の氾濫		○					『興部町史』昭和36(1961)年, pp65~pp69
1006	オホーツク	興部町	藻興部の災害		○					『興部町史』昭和36(1961)年, pp76
1007	オホーツク	興部町	豊野の災害		○					『興部町史』昭和36(1961)年, pp84~pp85
1008	オホーツク	興部町	地名起源	○		○				『興部町史』昭和36(1961)年, pp101~pp103
1009	オホーツク	興部町	地誌				○			『興部町史』昭和36(1961)年, pp107~pp110
1010	オホーツク	興部町	治山, 治水		○					『興部町史』昭和36(1961)年, pp150~pp154
1011	オホーツク	興部町	水難救済		○					『興部町史』昭和36(1961)年, pp495~pp496
1012	オホーツク	興部町	風水害		○					『興部町史』昭和36(1961)年, pp616~pp619
1013	オホーツク	西興部村	地形と地質				○			『西興部村史』昭和52(1977)年11月3日, pp2~pp14
1014	オホーツク	西興部村	アイヌ地名解	○		○				『西興部村史』昭和52(1977)年11月3日, pp35~pp41
1015	オホーツク	西興部村	入殖の動機と背景		○			○		『西興部村史』昭和52(1977)年11月3日, pp245~pp247
1016	オホーツク	西興部村	森林防火組合と森林愛護組合		○					『西興部村史』昭和52(1977)年11月3日, pp491
1017	オホーツク	西興部村	消防の沿革		○					『西興部村史』昭和52(1977)年11月3日, pp658~pp659
1018	オホーツク	西興部村	風水害		○					『西興部村史』昭和52(1977)年11月3日, pp717~pp721
1019	オホーツク	西興部村	山火事		○					『西興部村史』昭和52(1977)年11月3日, pp722~pp731
1020	オホーツク	雄武町	位置, 面積, 地形	○		○	○			『雄武町百年史』平成18(2006)年, pp1~pp17
1021	オホーツク	雄武町	アイヌ文化, 雄武町のアイヌ語地名	○		○				『雄武町百年史』平成18(2006)年, pp83~pp130
1022	オホーツク	雄武町	中川原町長の誕生(災害)		○					『雄武町百年史』平成18(2006)年, pp277~pp279
1023	オホーツク	雄武町	河川災害		○					『雄武町百年史』平成18(2006)年, pp385~pp387
1024	オホーツク	雄武町	農業災害の苦難		○					『雄武町百年史』平成18(2006)年, pp720~pp721
1025	オホーツク	雄武町	昭和14年の雪崩事故		○					『雄武町百年史』平成18(2006)年, pp935~pp936
1026	オホーツク	雄武町	火事, 水害と海難		○					『雄武町百年史』平成18(2006)年, pp1136~pp1139
1027	オホーツク	雄武町	風水害		○					『雄武町百年史』平成18(2006)年, pp1144~pp1150
1028	オホーツク	大空町(東藻琴村)	概説				○			『東藻琴村史』昭和47(1972)年, pp3~pp5
1029	オホーツク	大空町(東藻琴村)	アイヌ人の居住	○		○				『東藻琴村史』昭和47(1972)年, pp7~pp8
1030	オホーツク	大空町(東藻琴村)	地勢, 地質				○			『東藻琴村史』昭和47(1972)年, pp19~pp25
1031	オホーツク	大空町(東藻琴村)	三百町歩を焼いた山火事		○					『東藻琴村史』昭和47(1972)年, pp129~pp130
1032	オホーツク	大空町(東藻琴村)	冷害の記録		○					『東藻琴村史』昭和47(1972)年, pp408~pp419
1033	オホーツク	大空町(東藻琴村)	アイヌの伝説「藻琴山」	○						『東藻琴村史』昭和47(1972)年, pp630~pp631
1034	オホーツク	大空町(東藻琴村)	往古の北海道				○			『東藻琴村史 第二巻』平成11(1999)年, pp3~pp6
1035	オホーツク	大空町(東藻琴村)	モコトのアイヌ文化	○		○				『東藻琴村史 第二巻』平成11(1999)年, pp8~pp11
1036	オホーツク	大空町(東藻琴村)	松浦武四郎の踏査	○		○				『東藻琴村史 第二巻』平成11(1999)年, pp20~pp21
1037	オホーツク	大空町(東藻琴村)	昭和十六年の冷水害		○					『東藻琴村史 第二巻』平成11(1999)年, pp126
1038	オホーツク	大空町(東藻琴村)	十五号台風禍		○					『東藻琴村史 第二巻』平成11(1999)年, pp150
1039	オホーツク	大空町(東藻琴村)	藻琴山のアイヌ伝説	○	○					『東藻琴村史 第二巻』平成11(1999)年, pp193~pp194
1040	オホーツク	大空町(東藻琴村)	農業災害の記録		○					『東藻琴村史 第二巻』平成11(1999)年, pp486~pp487
1041	オホーツク	大空町(東藻琴村)	風水害		○					『東藻琴村史 第二巻』平成11(1999)年, pp601~pp602
1042	オホーツク	大空町(女満別町)	アイヌ文化時代	○		○				『女満別町史』昭和44(1969)年, pp52~pp56
1043	オホーツク	大空町(女満別町)	和人当町初の踏入	○		○	○			『女満別町史』昭和44(1969)年, pp63~pp66
1044	オホーツク	大空町(女満別町)	位置と地勢				○			『女満別町史』昭和44(1969)年, pp104~pp118
1045	オホーツク	大空町(女満別町)	水害		○					『女満別町史』昭和44(1969)年, pp185~pp189
1046	オホーツク	大空町(女満別町)	農業災害		○					『女満別町史』昭和44(1969)年, pp387~pp389

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1047	胆振	室蘭市	地勢, 地質, 山地・河川				○			『新室蘭市史』第1巻, 昭和56(1981)年3月25日, pp30~pp40
1048	胆振	室蘭市	地震, 火山		○					『新室蘭市史』第1巻, 昭和56(1981)年3月25日, pp56~pp59
1049	胆振	室蘭市	災害		○					『新室蘭市史』第1巻, 昭和56(1981)年3月25日, pp60~pp67
1050	胆振	室蘭市	室蘭の旧地名, アイヌ語地名, 地名と伝説, 室蘭のアイヌ語地名国稿	○		○				『新室蘭市史』第1巻, 昭和56(1981)年3月25日, pp166~pp201
1051	胆振	苫小牧市	地質と地史				○			『苫小牧市史』上巻, 昭和50(1975)年3月31日, pp75~pp91
1052	胆振	苫小牧市	地形				○			『苫小牧市史』上巻, 昭和50(1975)年3月31日, pp93~pp113
1053	胆振	苫小牧市	火山と地震		○		○			『苫小牧市史』上巻, 昭和50(1975)年3月31日, pp115~pp129
1054	胆振	苫小牧市	苫小牧市アイヌ語地名	○		○				『苫小牧市史』上巻, 昭和50(1975)年3月31日, pp359~pp380
1055	胆振	苫小牧市	水害と地震		○					『苫小牧市史』下巻, 昭和51(1976)年, pp1354~pp1374
1056	胆振	苫小牧市	地名の由来	○		○				『苫小牧市史』下巻, 昭和51(1976), pp1771~pp1941
1057	胆振	苫小牧市	自然災害状況		○					『苫小牧市史 追補編』平成13(2001)年3月, pp1448~pp1459
1058	胆振	苫小牧市	樽前山の噴火		○					『苫小牧市史 追補編』平成13(2001)年3月, pp1435~pp1448
1059	胆振	登別市	山, 岬, 川, 滝	○		○				『市史ふるさと登別』上巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp5~pp20
1060	胆振	登別市	野作(えぞ)東部日記(市川十郎筆記)			○				『市史ふるさと登別』上巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp105~pp107
1061	胆振	登別市	湯の里登別温泉, 歴史に登場			○				『市史ふるさと登別』上巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp140~pp158
1062	胆振	登別市	共有牧場出現				○			『市史ふるさと登別』上巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp334~pp338
1063	胆振	登別市	四国から移住した山下一族				○	○		『市史ふるさと登別』上巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp375~pp377
1064	胆振	登別市	札内開拓の三原一族			○				『市史ふるさと登別』上巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp382~pp384
1065	胆振	登別市	登別村の難所 二つのトンネル				○			『市史ふるさと登別』上巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp412~pp415
1066	胆振	登別市	相次ぐ災害		○					『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp491
1067	胆振	登別市	昭和初期の災害		○					『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp538~pp539
1068	胆振	登別市	移駐後のあらし		○					『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp683
1069	胆振	登別市	十五号台風と未曾有の集中豪雨		○					『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp686~pp688
1070	胆振	登別市	史上最大の記録的豪雨災害		○					『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp780~pp784
1071	胆振	登別市	地形と地質		○		○			『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp793~pp797
1072	胆振	登別市	自然史		○		○			『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp809~pp847
1073	胆振	登別市	登別市周辺の地史				○			『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp882~pp883
1074	胆振	登別市	カルルス・登別温泉地区			○				『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp915~pp928
1075	胆振	登別市	中登別, 登別地区			○				『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp928~pp933
1076	胆振	登別市	豊浦地区			○				『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp934~pp939
1077	胆振	登別市	鉱山地区			○				『市史ふるさと登別』下巻, 昭和60(1985)年9月10日, pp946~pp949
1078	胆振	登別市	入植以前			○				『市史ふるさと登別』資料編, pp3~pp9
1079	胆振	登別市	災害		○					『市史ふるさと登別』資料編, pp225~pp228
1080	胆振	伊達市	地質・地形				○			『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp3~pp25
1081	胆振	伊達市	気候				○			『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp26~pp51
1082	胆振	伊達市	紋別岳(植物と昆虫)		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp54~pp55
1083	胆振	伊達市	有珠山(植物と昆虫)		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp61~pp62
1084	胆振	伊達市	ハルニレ	○						『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp67
1085	胆振	伊達市	伊達市内の遺跡			○	○			『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp154~pp182
1086	胆振	伊達市	松前藩進出以前の伊達地方		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp186~pp188
1087	胆振	伊達市	相次ぐ災害と揺らぐ蝦夷地政策		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp192~pp196
1088	胆振	伊達市	有珠虻田牧場		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp214~pp215
1089	胆振	伊達市	有珠岳の噴火		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp216~pp217
1090	胆振	伊達市	えぞ地大移住の請願と支配仰付		○		○			『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp237~pp238
1091	胆振	伊達市	自治村制伊達村の誕生			○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp292~pp293
1092	胆振	伊達市	明治四一年の長流川大水害		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp296
1093	胆振	伊達市	有珠山の大爆発と住民の避難		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp298~pp299
1094	胆振	伊達市	大正二年の大凶作					○		『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp300~pp301
1095	胆振	伊達市	字名と地番の改正			○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp308
1096	胆振	伊達市	昭和新山が出現		○		○			『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp310~pp311
1097	胆振	伊達市	長流の字名を長和と改正			○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp317
1098	胆振	伊達市	集中豪雨		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp319

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1099	胆振	伊達市	町制施行から終戦まで		○	○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp325～pp328
1100	胆振	伊達市	歴代議員一覧		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp353～pp360
1101	胆振	伊達市	畜産		○			○		『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp520
1102	胆振	伊達市	農業団体史		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp602～pp604
1103	胆振	伊達市	有珠山		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp709
1104	胆振	伊達市	河川		○					『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp796～pp799
1105	胆振	伊達市	防災		○		○			『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp846～pp855
1106	胆振	伊達市	稀府小学校・有珠小学校		○		○			『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp908～pp909
1107	胆振	伊達市	志門気分校			○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp936
1108	胆振	伊達市	喜門小学校			○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp937～pp940
1109	胆振	伊達市	長和小学校			○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp948～pp950
1110	胆振	伊達市	有珠中学校				○			『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp950～pp953
1111	胆振	伊達市	小貴文二氏の話(個人の生活史)					○		『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp1094
1112	胆振	伊達市	森茂氏の話(個人の生活史)			○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp1110～pp1111
1113	胆振	伊達市	水神碑			○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp1306
1114	胆振	伊達市	暮らしの中のことわざ	○						『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp1364～pp1368
1115	胆振	伊達市	年表		○	○				『伊達市史』平成6(1994)年10月15日, pp1377～pp1420
1116	胆振	豊富町	防災(防災施設整備の背景)				○			『新豊富町史』平成16(2004)年3月19日, pp102
1117	胆振	豊富町	上昆布駅通跡				○			『新豊富町史』平成16(2004)年3月19日, pp444～pp445
1118	胆振	豊富町	下山梨駅通跡				○			『新豊富町史』平成16(2004)年3月19日, pp447
1119	胆振	豊富町	東部噴火湾の先史時代		○		○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp3～pp31
1120	胆振	豊富町	遺跡(アルトル遺跡)の位置と調査結果				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp32
1121	胆振	豊富町	豊富町のチャン				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp79～pp84
1122	胆振	豊富町	松前藩成立と場所開設				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp141～pp145
1123	胆振	豊富町	記録に見る豊富		○					『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp183～pp190
1124	胆振	豊富町	当代の豊富					○		『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp201～pp205
1125	胆振	豊富町	幕末の本町の状況				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp227～pp238
1126	胆振	豊富町	本町の位置地勢				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp241
1127	胆振	豊富町	地質				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp242～pp243
1128	胆振	豊富町	山梨団体の移住		○			○		『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp311～pp341
1129	胆振	豊富町	経済恐慌とその対策		○					『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp350～pp366
1130	胆振	豊富町	村名の改称				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp319～pp381
1131	胆振	豊富町	集中豪雨の被害		○					『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp433～pp435
1132	胆振	豊富町	三十七年の集中豪雨		○					『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp435～pp438
1133	胆振	豊富町	過疎化と畜産		○			○		『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp576～pp577
1134	胆振	豊富町	坂之上観音				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp815～pp816
1135	胆振	豊富町	礼文華海岸の奇勝				○			『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp817～pp818
1136	胆振	豊富町	豊富町年表		○					『豊富町史』昭和47(1972)年9月30日, pp835～pp848
1137	胆振	壮瞥町	有史前				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp3～pp11
1138	胆振	壮瞥町	地勢				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp25～pp28
1139	胆振	壮瞥町	部落の変遷				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp39～pp42
1140	胆振	壮瞥町	中島部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp48～pp54
1141	胆振	壮瞥町	建部部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp54～pp58
1142	胆振	壮瞥町	滝ノ上集落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp58～pp60
1143	胆振	壮瞥町	阿波国部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp60～pp81
1144	胆振	壮瞥町	フカバ部落	○		○	○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp81～pp92
1145	胆振	壮瞥町	立香部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp93～pp98
1146	胆振	壮瞥町	幌登部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp98～pp102
1147	胆振	壮瞥町	仲洞爺部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp102～pp109
1148	胆振	壮瞥町	久保内部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp109～pp116
1149	胆振	壮瞥町	駒別部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp117～pp118
1150	胆振	壮瞥町	上久保内第二部落(元ウエンベツ)				○	○		『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp121～pp123
1151	胆振	壮瞥町	蟠溪部落				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp123～pp127

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1152	胆振	壮瞥町	弁景部落			○				『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp132～pp138
1153	胆振	壮瞥町	戸口					○		『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp141～pp144
1154	胆振	壮瞥町	創始時代		○		○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp161
1155	胆振	壮瞥町	初期の行政		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp175
1156	胆振	壮瞥町	字名地番の整理改正			○				『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp189～pp191
1157	胆振	壮瞥町	薄火山活動		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp197
1158	胆振	壮瞥町	有珠山大噴火発生(一九七七年有珠山噴火と呼称)		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp229
1159	胆振	壮瞥町	永年在住者表彰		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp342～pp344
1160	胆振	壮瞥町	村長説明内容		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp381～pp382
1161	胆振	壮瞥町	不動産の管理(収益資産の造成管理)				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp515
1162	胆振	壮瞥町	創業期の歩み(農業の歩みと農政)		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp529～pp533
1163	胆振	壮瞥町	旱天に雨乞い				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp535～pp536
1164	胆振	壮瞥町	豆類の最高販売価格の設定		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp543～pp544
1165	胆振	壮瞥町	連続的な農業災害, 集中豪雨		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp557～pp559
1166	胆振	壮瞥町	地力維持と施肥の状況		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp584～pp586
1167	胆振	壮瞥町	史跡及び文化財		○		○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1132～pp1135
1168	胆振	壮瞥町	有珠(白)善光寺		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1214～pp1218
1169	胆振	壮瞥町	一九七七年有珠山噴火		○		○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1245
1170	胆振	壮瞥町	壮瞥滝				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1247～pp1249
1171	胆振	壮瞥町	キムンドの滝				○			『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1249～pp1251
1172	胆振	壮瞥町	有珠山の災害記録		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1289～pp1295
1173	胆振	壮瞥町	明治新山噴火		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1296～pp1335
1174	胆振	壮瞥町	昭和新山の噴火		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1336～pp1383
1175	胆振	壮瞥町	一九七七年有珠山噴火		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1384～pp1506
1176	胆振	壮瞥町	農業・土木等の災害		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1507～pp1537
1177	胆振	壮瞥町	アイヌ語地名解			○				『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1542～pp1548
1178	胆振	壮瞥町	地名の由来について			○				『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1552
1179	胆振	壮瞥町	大鯨(あめます)の主	○						『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1560～pp1561
1180	胆振	壮瞥町	熊の跋扈			○				『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1562～pp1566
1181	胆振	壮瞥町	壮瞥町史年表		○					『壮瞥町史』昭和54(1979)年3月, pp1582～pp1677
1182	胆振	白老町	地勢と地質		○	○	○			『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp8～pp32
1183	胆振	白老町	地盤と災害		○		○			『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp33～pp36
1184	胆振	白老町	風向, 風速		○					『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp46～pp47
1185	胆振	白老町	陸水			○	○			『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp49～pp72
1186	胆振	白老町	白老アイヌの沿革				○			『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp216～pp220
1187	胆振	白老町	白老のアイヌ語地名	○			○			『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp267～pp280
1188	胆振	白老町	イザベラ・バードの日本奥地紀行				○			『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp423～pp424
1189	胆振	白老町	字名改正			○				『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp542～pp551
1190	胆振	白老町	ホロケナシ(森野)への入地			○		○		『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1027～pp1035
1191	胆振	白老町	木材利用と造林事業					○		『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1354～pp1366
1192	胆振	白老町	戦後の林業				○			『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1366～pp1386
1193	胆振	白老町	鉱業				○			『新白老町史』上巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1428～pp1441
1194	胆振	白老町	ポロトタン			○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp25～pp34
1195	胆振	白老町	昭和新山讃歌		○					『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp461～pp462
1196	胆振	白老町	災害		○					『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp828～pp837
1197	胆振	白老町	社台			○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1247～pp1266
1198	胆振	白老町	白老			○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1267～pp1288
1199	胆振	白老町	森野		○	○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1289～pp1302
1200	胆振	白老町	石山			○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1303～pp1317
1201	胆振	白老町	萩野			○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1318～pp1340
1202	胆振	白老町	北吉原			○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1341～pp1345
1203	胆振	白老町	竹浦			○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1346～pp1361
1204	胆振	白老町	虎杖浜			○				『新白老町史』下巻, 平成4(1992)年11月3日, pp1362～pp1377

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1205	胆振	厚真町	東西蝦夷地の交通要拠			○				『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp5~pp6
1206	胆振	厚真町	寛文蝦夷の乱と当地方のアイヌ		○			○		『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp7~pp8
1207	胆振	厚真町	シコツ十六(勇武津)場所と内陸調査		○	○	○	○		『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp21~pp47
1208	胆振	厚真町	厚真の地名, 表記の変り			○				『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp61~pp65
1209	胆振	厚真町	村落別人口・戸数の推移		○			○		『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp76~pp77
1210	胆振	厚真町	行政区画			○				『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp92~pp95
1211	胆振	厚真町	5つの道筋			○				『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp110~pp114
1212	胆振	厚真町	厚真川渡船場		○					『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp115~pp117
1213	胆振	厚真町	開墾当時の胆振国				○			『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp183~pp184
1214	胆振	厚真町	北海道庁「植民地撰定事業」移民入地		○		○			『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp184~pp188
1215	胆振	厚真町	木炭の大暴騰		○					『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp231~pp232
1216	胆振	厚真町	町長式辞(抜粋)		○					『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp702~pp705
1217	胆振	厚真町	厚真町土地改良区		○					『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp877~pp879
1218	胆振	厚真町	災害		○					『増補 厚真町史』平成10(1998)年3月31日, pp1299~pp1306
1219	胆振	洞爺湖町(虻田町)	『物語虻田町史』の完結を祝して			○				『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, 序文
1220	胆振	洞爺湖町(虻田町)	有珠山噴火による壊滅的被害		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp26
1221	胆振	洞爺湖町(虻田町)	松前藩復領後の牧場		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp27
1222	胆振	洞爺湖町(虻田町)	虻田町周辺の地形と地質		○		○			『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp44~pp58
1223	胆振	洞爺湖町(虻田町)	虻田町の遺跡と埋蔵文化財				○			『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp62~pp65
1224	胆振	洞爺湖町(虻田町)	虻田町の地名	○		○				『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp66~pp99
1225	胆振	洞爺湖町(虻田町)	ウェケベレ(説話)とユーカラ(神謡)	○	○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp100~pp108
1226	胆振	洞爺湖町(虻田町)	開拓充実期概説		○	○				『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp168~pp184
1227	胆振	洞爺湖町(虻田町)	四十三山の誕生とトコタン湖畔の変容		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp191~pp193
1228	胆振	洞爺湖町(虻田町)	団体移住による須藤第一農場の開設					○		『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp199~pp201
1229	胆振	洞爺湖町(虻田町)	字名の改正と区制			○				『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp255~pp256
1230	胆振	洞爺湖町(虻田町)	昭和新山の生成		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp270~pp272
1231	胆振	洞爺湖町(虻田町)	窮乏の町財政再建		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp366~pp368
1232	胆振	洞爺湖町(虻田町)	七七年有珠山噴火		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp417~pp423
1233	胆振	洞爺湖町(虻田町)	噴火・泥流とのたたかい		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp465~pp475
1234	胆振	洞爺湖町(虻田町)	七七年有珠山噴火と町勢		○			○		『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp475~pp483
1235	胆振	洞爺湖町(虻田町)	消防と防災		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp560~pp562
1236	胆振	洞爺湖町(虻田町)	虻田町年表		○					『物語虻田町史』第一巻行政編・資料編, pp565~pp692
1237	胆振	洞爺湖町(虻田町)	1977年有珠山噴火		○					『物語虻田町史』第二巻江戸時代編, 昭和56(1981)年4月1日, ppV~ppVI
1238	胆振	洞爺湖町(虻田町)	えぞのでぶり		○					『物語虻田町史』第二巻江戸時代編, 昭和56(1981)年4月1日, pp8~pp10
1239	胆振	洞爺湖町(虻田町)	村田卯五郎と田畑小太郎		○					『物語虻田町史』第二巻江戸時代編, 昭和56(1981)年4月1日, pp164~pp173
1240	胆振	洞爺湖町(虻田町)	巡錫の名僧		○					『物語虻田町史』第二巻江戸時代編, 昭和56(1981)年4月1日, pp191~pp195
1241	胆振	洞爺湖町(虻田町)	窮乏するアイヌ	○	○					『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp18~pp19
1242	胆振	洞爺湖町(虻田町)	七七年有珠山噴火		○					『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp91~pp95
1243	胆振	洞爺湖町(虻田町)	七七年噴火避難所開設		○					『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp113~pp115
1244	胆振	洞爺湖町(虻田町)	苦しかった有珠山噴火から得たもの		○					『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp127~pp129
1245	胆振	洞爺湖町(虻田町)	噴火と花壇と青桐学園と		○					『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp162~pp163
1246	胆振	洞爺湖町(虻田町)	洞爺湖中島の浮見堂			○				『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp399~pp400
1247	胆振	洞爺湖町(虻田町)	洞爺湖汽船株式会社「遊覧船ガイド」の一節から			○				『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp521~pp524
1248	胆振	洞爺湖町(虻田町)	和田屋茂兵衛の墓と文政噴火		○					『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp530
1249	胆振	洞爺湖町(虻田町)	虻田牧場と歴史公園		○	○				『物語虻田町史』第三巻教育文化編, 平成13(2001)年5月31日, pp549~pp551
1250	胆振	洞爺湖町(虻田町)	明治後期の虻田農業と花和の開拓					○		『物語虻田町史』第四巻産業編, 昭和61(1986)年5月20日, pp82~pp90
1251	胆振	洞爺湖町(虻田町)	明治四十一年の大水害		○					『物語虻田町史』第四巻産業編, 昭和61(1986)年5月20日, pp99~pp102
1252	胆振	洞爺湖町(虻田町)	農地改革と戦後緊急入植					○		『物語虻田町史』第四巻産業編, 昭和61(1986)年5月20日, pp131~pp136
1253	胆振	洞爺湖町(虻田町)	伊藤保三の「洞爺湖畔」			○				『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp3~pp22
1254	胆振	洞爺湖町(虻田町)	そして今は(洞爺湖遊覧船の案内台本)			○				『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp28~pp32
1255	胆振	洞爺湖町(虻田町)	カルデラ湖洞爺				○			『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp37~pp45
1256	胆振	洞爺湖町(虻田町)	洞爺カルデラの生成とその後				○			『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp46~pp52
1257	胆振	洞爺湖町(虻田町)	中島の誕生				○			『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp53~pp54

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1258	胆振	洞爺湖町(虻田町)	其の他の生物達			○				『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp62～pp64
1259	胆振	洞爺湖町(虻田町)	有珠造山活動と噴火の歴史		○					『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp65～pp120
1260	胆振	洞爺湖町(虻田町)	一九七七年有珠山噴火		○					『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp121～pp143
1261	胆振	洞爺湖町(虻田町)	洞爺湖の伝説を尋ねて	○						『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp145～pp163
1262	胆振	洞爺湖町(虻田町)	シリベシ川の鮭と洞爺湖			○				『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp165～pp169
1263	胆振	洞爺湖町(虻田町)	月浦加藤農場					○		『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp177～pp180
1264	胆振	洞爺湖町(虻田町)	金毘羅寺と秋山宥猛		○	○				『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp198～pp208
1265	胆振	洞爺湖町(虻田町)	洞爺湖地名の旅	○		○				『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp233～pp250
1266	胆振	洞爺湖町(虻田町)	支笏・洞爺国立公園の指定			○				『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp295～pp300
1267	胆振	洞爺湖町(虻田町)	歴史のマチづくり		○					『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp407～pp409
1268	胆振	洞爺湖町(虻田町)	洞爺湖観光年表		○					『物語虻田町史』第五巻洞爺湖温泉発展史, 昭和58(1983)年3月7日, pp414～pp423
1269	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	洞爺という名前	○		○				『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp11～pp13
1270	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	土質				○			『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp14～pp15
1271	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	洞爺湖と有珠山の履歴書～有珠山, 洞爺湖の生成と現状～		○		○			『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp18～pp34
1272	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	後方羊蹄日誌			○				『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp43～pp50
1273	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	羊蹄素描			○	○			『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp51～pp53
1274	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	羊蹄伝説	○						『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp56～pp57
1275	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	旧石器時代の遺跡				○			『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp71～pp72
1276	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	洞爺湖底遺跡の成因は何か		○		○			『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp88～pp91
1277	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	湖底の様相				○			『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp91～pp93
1278	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	一つの大きな謎, 理由を推定する仮説(先住民の消滅)		○					『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp110～pp113
1279	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	洞爺村のアイヌ時代と地名考	○		○				『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp114～pp129
1280	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	移住地撰定			○				『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp178～pp180
1281	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	戸長役場設置当時の虻田村			○				『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp261～pp262
1282	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	金毘羅寺頼末記～秋山宥猛と篠原又兵衛～		○					『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp310～pp313
1283	胆振	洞爺湖町(洞爺村)	洞爺湖の魚	○						『洞爺村史』昭和51(1976)年10月5日, pp575～pp577
1284	胆振	安平町(追分町)	地勢				○			『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp2～pp3
1285	胆振	安平町(追分町)	地名の起源	○		○				『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp66～pp70
1286	胆振	安平町(追分町)	地名の起源			○				『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp79
1287	胆振	安平町(追分町)	打ち続く冷災害		○					『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp261～pp263
1288	胆振	安平町(追分町)	災害と安平川の改修工事		○					『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp391～pp393
1289	胆振	安平町(追分町)	字名地番の改正			○				『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp508～pp510
1290	胆振	安平町(追分町)	農業災害		○					『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp817～pp860
1291	胆振	安平町(追分町)	昔の交通事情			○				『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp1039～pp1041
1292	胆振	安平町(追分町)	追分町史年表		○					『追分町史』昭和61(1986)年8月, pp1466～pp1501
1293	胆振	安平町(早来町)	地勢				○			『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp4～pp5
1294	胆振	安平町(早来町)	地勢				○			『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp11～pp12
1295	胆振	安平町(早来町)	早来町の自然のおいたち				○			『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp37～pp43
1296	胆振	安平町(早来町)	早来町のアイヌ語の地名	○		○				『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp75～pp77
1297	胆振	安平町(早来町)	開村前の早来地方			○	○			『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp81～pp84
1298	胆振	安平町(早来町)	農業災害		○					『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp115
1299	胆振	安平町(早来町)	打ち続く災害		○			○		『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp140～pp142
1300	胆振	安平町(早来町)	早来町地名起源			○				『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp280～pp281
1301	胆振	安平町(早来町)	昔の安平				○			『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp307～pp308
1302	胆振	安平町(早来町)	入植前のシアビラ			○				『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp326～pp328
1303	胆振	安平町(早来町)	入植前のフモンケ			○				『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp360～pp362
1304	胆振	安平町(早来町)	開拓以前		○	○				『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp399
1305	胆振	安平町(早来町)	昔の遠浅			○				『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp408
1306	胆振	安平町(早来町)	昔の北進地区			○	○			『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp439
1307	胆振	安平町(早来町)	字名地番改正			○				『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp608～pp615
1308	胆振	安平町(早来町)	農業災害と安平川の改修		○					『早来町史』昭和48(1973)年3月30日, pp900～pp959
1309	胆振	安平町(早来町)	地形, 地質				○			『早来町史(続刊)』平成10(1998)年2月27日, pp56
1310	胆振	安平町(早来町)	通信			○				『早来町史(続刊)』平成10(1998)年2月27日, pp1614～pp1623

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1311	胆振	安平町(早来町)	災害		○		○			『早来町史(続刊)』平成10(1998)年2月27日, pp1685~pp1704
1312	胆振	むかわ町(穂別町)	地勢				○			『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp46
1313	胆振	むかわ町(穂別町)	地形と地質				○			『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp50~pp52
1314	胆振	むかわ町(穂別町)	氷河と火山の時代				○			『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp101~pp103
1315	胆振	むかわ町(穂別町)	鶴川川筋のアイヌ	○	○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp169~pp172
1316	胆振	むかわ町(穂別町)	巫術と呪術	○	○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp203~pp205
1317	胆振	むかわ町(穂別町)	小山になった鯨と鯢	○	○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp219~pp220
1318	胆振	むかわ町(穂別町)	大崩の虻	○						『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp222
1319	胆振	むかわ町(穂別町)	穂別のアイヌ語地名				○			『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp223~pp279
1320	胆振	むかわ町(穂別町)	外国船の再接近		○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp365~pp366
1321	胆振	むかわ町(穂別町)	松浦武四郎の見た穂別				○	○		『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp402~pp409
1322	胆振	むかわ町(穂別町)	北海道の命名と国郡分割				○			『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp427~pp429
1323	胆振	むかわ町(穂別町)	武川村外七ヶ村戸長役場の開庁		○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp482~pp485
1324	胆振	むかわ町(穂別町)	凶作と救済事業		○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp566~pp571
1325	胆振	むかわ町(穂別町)	村政と村会		○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp572~pp577
1326	胆振	むかわ町(穂別町)	字名改正, 地番整理				○			『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp598~pp600
1327	胆振	むかわ町(穂別町)	第二次中村村政と集中豪雨		○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp673~pp677
1328	胆振	むかわ町(穂別町)	九号台風の被害		○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp690~pp692
1329	胆振	むかわ町(穂別町)	災害		○					『新穂別町史』平成3(1991)年3月31日, pp1699~pp1717
1330	胆振	むかわ町(鶴川町)	位置, 面積など				○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp3~pp6
1331	胆振	むかわ町(鶴川町)	地史, 地質など				○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp12~pp22
1332	胆振	むかわ町(鶴川町)	松前藩の独立と鶴川場所				○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp50~pp53
1333	胆振	むかわ町(鶴川町)	信仰と祭事	○						『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp105~pp108
1334	胆振	むかわ町(鶴川町)	医療と呪術	○						『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp108~pp113
1335	胆振	むかわ町(鶴川町)	伝説・説話	○						『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp120~pp124
1336	胆振	むかわ町(鶴川町)	地名解				○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp124~pp126
1337	胆振	むかわ町(鶴川町)	明治三十一年の水害と官公衛の設置		○					『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp153
1338	胆振	むかわ町(鶴川町)	鶴川土功組合の発足				○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp177~pp178
1339	胆振	むかわ町(鶴川町)	水害と火災に続く凶作		○					『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp182~pp185
1340	胆振	むかわ町(鶴川町)	字名改正				○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp204~pp209
1341	胆振	むかわ町(鶴川町)	十勝沖地震災害		○					『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp271~pp274
1342	胆振	むかわ町(鶴川町)	昭和四十三年十勝沖地震		○					『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp307~pp311
1343	胆振	むかわ町(鶴川町)	直轄灌漑事業		○		○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp325~pp331
1344	胆振	むかわ町(鶴川町)	土功組合の歩み		○		○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp455~pp472
1345	胆振	むかわ町(鶴川町)	農業災害		○					『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp507~pp509
1346	胆振	むかわ町(鶴川町)	シシヤモ	○						『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp592~pp604
1347	胆振	むかわ町(鶴川町)	災害		○					『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp898~pp915
1348	胆振	むかわ町(鶴川町)	豊城				○	○		『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp965~pp967
1349	胆振	むかわ町(鶴川町)	春日		○	○	○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp967~pp971
1350	胆振	むかわ町(鶴川町)	旭岡				○			『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp971~pp980
1351	胆振	むかわ町(鶴川町)	生田		○	○				『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp980~pp984
1352	胆振	むかわ町(鶴川町)	花岡		○	○				『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp989~pp994
1353	胆振	むかわ町(鶴川町)	米原		○	○				『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp994~pp996
1354	胆振	むかわ町(鶴川町)	曙				○	○		『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp996~pp999
1355	胆振	むかわ町(鶴川町)	宮戸		○	○				『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp999~pp1004
1356	胆振	むかわ町(鶴川町)	河童の神謡	○						『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp1019~pp1021
1357	胆振	むかわ町(鶴川町)	鶴川町史年表		○					『鶴川町史』昭和43(1968)年11月20日, pp1023~pp1037

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1358	日高	日高町	地理				○			『日高町史』昭和52年12月1日, pp35～pp39
1359	日高	日高町	自然災害とのたたかい		○					『日高町史』昭和52年12月1日, pp697～pp709
1360	日高	日高町	地名の由来			○				『日高町史』昭和52年12月1日, pp1030～pp1038
1361	日高	日高町	伝説	○						『日高町史』昭和52年12月1日, pp1038～pp1042
1362	日高	日高町(門別町)	地形				○			『新門別町史(上巻)』平成7年3月31日, pp9～pp19
1363	日高	日高町(門別町)	地質				○			『新門別町史(上巻)』平成7年3月31日, pp20～pp23
1364	日高	日高町(門別町)	水害		○					『新門別町史(中巻)』平成7年3月31日, pp923～pp953
1365	日高	日高町(門別町)	地名解			○				『新門別町史(下巻)』平成8年3月31日, pp777～pp826
1366	日高	平取町	昭和初期の冷水害凶作		○					『平取町史』昭和49年3月31日, pp328～pp342
1367	日高	平取町	アイヌ始祖「オキクルミ」の伝説	○						『平取町史』昭和49年3月31日, pp813～pp816
1368	日高	平取町	位置・面積と地質・気候				○			『平取町百年史』平成15年3月31日, pp3～pp27
1369	日高	平取町	平取のアイヌ語地名	○		○				『平取町百年史』平成15年3月31日, pp47～pp90
1370	日高	平取町	平取町域のアイヌ集落	○				○		『平取町百年史』平成15年3月31日, pp287～pp289
1371	日高	平取町	主な災害			○				『平取町百年史』平成15年3月31日, pp1049～pp1055
1372	日高	平取町	アイヌ民族と信仰	○	○					『平取町百年史』平成15年3月31日, pp1330～pp1390
1373	日高	新冠町	土地				○			『新冠町史』昭和41年11月3日, pp169～pp177
1374	日高	新冠町	新冠の災害		○					『新冠町史』昭和41年11月3日, pp1103～pp1140
1375	日高	新冠町	新冠の地名解説			○				『新冠町史』昭和41年11月3日, pp1195～pp1199
1376	日高	新冠町	地質・気候				○			『続新冠町史』平成8年12月25日, pp5～pp7
1377	日高	新冠町	地勢				○			『続新冠町史』平成8年12月25日, pp44～pp45
1378	日高	新冠町	新冠のアイヌ語地名	○		○				『続新冠町史』平成8年12月25日, pp46～pp55
1379	日高	新冠町	自然災害		○					『続新冠町史』平成8年12月25日, pp919～pp923
1380	日高	浦河町	自然環境				○			『新浦河町史 上巻』平成14年12月, pp3～pp43
1381	日高	浦河町	風水害		○					『新浦河町史 上巻』平成14年12月, pp189～pp196
1382	日高	様似町	風水害		○					『新様似町史』平成5年9月, pp655～pp661
1383	日高	えりも町	口碑伝説	○						『えりも町史』昭和46年3月30日, pp105～pp115
1384	日高	えりも町	幌泉郡アイヌ語地名			○				『えりも町史』昭和46年3月30日, pp115～pp151
1385	日高	えりも町	行政位置と地境				○			『えりも町史』昭和46年3月30日, pp275～pp276
1386	日高	えりも町	伝説	○						『えりも町史』昭和46年3月30日, pp1077～pp1081
1387	日高	新ひだか町(静内町)	自然環境				○			『静内町史 上巻』平成8年3月31日, pp3～pp10
1388	日高	新ひだか町(静内町)	災害除け	○						『静内町史 上巻』平成8年3月31日, pp125～pp128
1389	日高	新ひだか町(静内町)	静内町のアイヌ語地名			○				『静内町史 上巻』平成8年3月31日, pp136～pp163
1390	日高	新ひだか町(静内町)	明治三十一年の水害		○					『静内町史 上巻』平成8年3月31日, pp701～pp702
1391	日高	新ひだか町(静内町)	大正十一年の水害		○					『静内町史 上巻』平成8年3月31日, pp711～pp712
1392	日高	新ひだか町(静内町)	昭和三十年の水害		○					『静内町史 上巻』平成8年3月31日, pp753～pp754
1393	日高	新ひだか町(静内町)	災害		○					『静内町史 下巻』平成8年3月31日, pp584～pp628
1394	日高	新ひだか町(静内町)	地名の由来			○				『静内町史 下巻』平成8年3月31日, pp866～pp877
1395	日高	新ひだか町(静内町)	伝説	○						『静内町史 下巻』平成8年3月31日, pp878～pp891
1396	日高	新ひだか町(三石町)	自然環境				○			『三石町史』昭和46年3月31日, pp3～pp7
1397	日高	新ひだか町(三石町)	三石地方の地名解			○				『三石町史』昭和46年3月31日, pp11～pp19
1398	日高	新ひだか町(三石町)	自然災害		○					『三石町史』昭和46年3月31日, pp149～pp151



No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1399	十勝	帯広市	不況と凶作・洪水		○					『帯広市史(平成十五年編)』平成15(2003)年12月25日, pp21
1400	十勝	帯広市	自然の姿 ・帯広市の位置・面積, 十勝の自然 ・十勝平野 ・日高山脈・山地 ・火山灰				○			『帯広市史(平成十五年編)』平成15(2003)年12月25日, pp45～pp48
1401	十勝	帯広市	天災と人災		○					『帯広市史(平成十五年編)』平成15(2003)年12月25日, pp702～pp704
1402	十勝	帯広市	変災・事故 ・火山噴火・地震 ・水害・風雪害		○					『帯広市史(平成十五年編)』平成15(2003)年12月25日, pp954～pp958
1403	十勝	帯広市	岐阜県団体		○			○		『帯広市史』昭和51(1976)年3月, pp183
1404	十勝	帯広市	加賀団体		○			○		『帯広市史』昭和51(1976)年3月, pp187
1405	十勝	帯広市	越前団体		○			○		『帯広市史』昭和51(1976)年3月, pp189～pp190
1406	十勝	帯広市	三十一年代水害		○					『帯広市史』昭和51(1976)年3月, pp216～pp217
1407	十勝	帯広市	野火, 洪水		○					『帯広市史』昭和51(1976)年3月, pp262～pp264
1408	十勝	帯広市	冷害, 水害, 凶作		○					『帯広市史』昭和51(1976)年3月, pp453～pp454
1409	十勝	帯広市	火山噴火, 地震, 水害, 火災		○					『帯広市史』昭和51(1976)年3月, pp862～pp873
1410	十勝	帯広市	帯広市地名解	○		○				『帯広市史』昭和51(1976)年3月, pp983～pp987
1411	十勝	帯広市	十勝沖地震		○					『帯広市史』昭和35(1960)年, pp17～pp18
1412	十勝	帯広市	災害相次ぐ		○					『帯広市史』昭和35(1960)年, pp449～pp450
1413	十勝	帯広市	冷害水害凶作		○					『帯広市史』昭和35(1960)年, pp517～pp519
1414	十勝	音更町	地質及び土壌				○			『音更町史』昭和55(1980)年12月30日, pp5
1415	十勝	音更町	地名の由来		○	○				『音更町史』昭和55(1980)年12月31日, pp44～pp46
1416	十勝	音更町	明治.31年の水害		○					『音更町史』昭和55(1980)年12月31日, pp968～pp972
1417	十勝	音更町	十勝沖地震		○					『音更町史』昭和55(1980)年12月31日, pp973～pp974
1418	十勝	音更町	十勝川の伝説	○						『音更町史』昭和36(1961)年11月3日, pp26～pp27
1419	十勝	音更町	語源	○		○				『音更町史』昭和36(1961)年11月3日, pp42～pp44
1420	十勝	音更町	武儀団体		○			○		『音更町史』昭和36(1961)年11月3日, pp75～pp77
1421	十勝	音更町	武儀団体		○			○		『音更町史』昭和36(1961)年11月3日, pp340～pp344
1422	十勝	音更町	凶作一覧		○					『音更町史』昭和36(1961)年11月3日, pp405～pp406
1423	十勝	音更町	変災		○					『音更町史』昭和36(1961)年11月3日, pp665～pp674
1424	十勝	音更町	ヌブカウシヌブリ	○						『音更町史』昭和36(1961)年11月3日, pp700
1425	十勝	音更町	地名の由来	○		○				『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp32～pp33
1426	十勝	音更町	中島に大洪水が襲う		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp36～pp37
1427	十勝	音更町	武儀では...		○			○		『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp48
1428	十勝	音更町	危機管理体制		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp147
1429	十勝	音更町	2年ごとの冷害凶作		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp290～pp291
1430	十勝	音更町	火災発生状況		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp673～pp676
1431	十勝	音更町	嗚呼如何ナル厄日ゾ		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp796～pp804
1432	十勝	音更町	音更ゆるがす大地震		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp804～pp807
1433	十勝	音更町	山火事で自衛隊出動		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp810～pp820
1434	十勝	音更町	然別川の大洪水		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp816～pp820
1435	十勝	音更町	猛烈台風大暴れ!		○					『音更百年史』平成14(2002)年9月, pp821
1436	十勝	土幌町	位置, 音更川, 日高山脈と大雪山塊, 火山灰地				○			『土幌村史』昭和37(1962)年10月31日, pp52～pp54
1437	十勝	土幌町	その成立事業		○			○		『土幌村史』昭和37(1962)年10月31日, pp148～pp150
1438	十勝	土幌町	凶愾略史		○					『土幌村史』昭和37(1962)年10月31日, pp409～pp411
1439	十勝	上土幌町	地形及び地質				○			『上土幌町史』昭和45年(1970), pp3～pp5
1440	十勝	上土幌町	河川				○			『上土幌町史』昭和45年(1970), pp14～pp17
1441	十勝	上土幌町	武儀団体		○			○		『上土幌町史』昭和45年(1970), pp119～pp122
1442	十勝	上土幌町	美濃開墾合資会社		○			○		『上土幌町史』昭和45年(1970), pp128～pp130
1443	十勝	上土幌町	・土幌の地名 ・コロボックル	○		○				『上土幌町史』昭和45年(1970), pp166～pp168
1444	十勝	上土幌町	上土幌		○			○		『上土幌町史』昭和45年(1970), pp191～pp192

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1445	十勝	上士幌町	変災事変 ・火山噴火 ・地震 ・水害		○					『上士幌町史』昭和45年(1970), pp1033~pp1053
1446	十勝	上士幌町	地理				○			『上士幌町史 補遺版』平成4年(1992), pp2~pp9
1447	十勝	上士幌町	古地図と伝説	○		○				『上士幌町史 補遺版』平成4年(1992), pp503~pp508
1448	十勝	鹿追町	地勢及び気候				○			『鹿追町史』昭和53(1978)年3月, pp3~pp16
1449	十勝	鹿追町	なし(鹿追の語源)	○		○				『鹿追町史』昭和53(1978)年3月, pp51
1450	十勝	鹿追町	なし(アイヌ語由来の地名)	○		○				『鹿追町史』昭和53(1978)年3月, pp63
1451	十勝	鹿追町	山火事		○					『鹿追町史』昭和53(1978)年3月, pp645~pp646
1452	十勝	鹿追町	ヌブカウシヌブリ	○						『鹿追町史』昭和53(1978)年3月, pp758
1453	十勝	鹿追町	災害		○					『鹿追町史』昭和53(1978)年3月, pp933~pp942
1454	十勝	鹿追町	アイヌの伝説・然別湖	○						『鹿追町七十年史』平成6(1994)年10月, pp53
1455	十勝	鹿追町	アイヌ民族の言葉	○		○				『鹿追町七十年史』平成6(1994)年10月, pp53~pp58
1456	十勝	鹿追町	アイヌの伝説	○						『鹿追町七十年史』平成6(1994)年10月, pp89
1457	十勝	鹿追町	水害の記録		○					『鹿追町七十年史』平成6(1994)年10月, pp423~pp429
1458	十勝	鹿追町	国有林等の山火事		○					『鹿追町七十年史』平成6(1994)年10月, pp528~pp530
1459	十勝	鹿追町	観光資源		○		○			『鹿追町七十年史』平成6(1994)年10月, pp612~pp613
1460	十勝	鹿追町	然別湖とその周辺		○		○			『鹿追町七十年史』平成6(1994)年10月, pp618~pp619
1461	十勝	鹿追町	雨乞い		○					『鹿追町七十年史』平成6(1994)年10月, pp698~pp699
1462	十勝	新得町	地形				○			『新得町史』平成2(1990)年11月3日, pp4~pp10
1463	十勝	新得町	トムラウシの山火事		○					『新得町史』平成2(1990)年11月3日, pp89
1464	十勝	新得町	振りかかる災害, 十勝岳の爆発, 台風九, 十号の水禍		○					『新得町史』平成2(1990)年11月3日, pp107~pp110
1465	十勝	新得町	地名・伝承, 地名抄, 口碑伝説	○		○				『新得町史』平成2(1990)年11月3日, pp825~pp833
1466	十勝	新得町	風水(雪)害		○					『新得町史』平成2(1990)年11月3日, pp867~pp886
1467	十勝	新得町	地震, 十勝岳爆発		○					『新得町史』平成2(1990)年11月3日, pp893~pp897
1468	十勝	新得町	水魔が襲う		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp74
1469	十勝	新得町	降りかかる災害		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp111~pp114
1470	十勝	新得町	集中豪雨と十五号台風		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp134~pp135
1471	十勝	新得町	火災状況と消防団活動状況		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp856~pp858
1472	十勝	新得町	地名抄	○		○				『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp893~pp901
1473	十勝	新得町	新得の地名伝説	○		○				『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp901
1474	十勝	新得町	災害		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp937~pp950
1475	十勝	新得町	昭和56年8月の15号台風		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp955~pp956
1476	十勝	新得町	地震		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp965
1477	十勝	新得町	十勝岳爆発		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp966~pp968
1478	十勝	新得町	おもな災害年表		○					『新得町百年史』平成12(2000)年1月31日, pp969
1479	十勝	新得町	地名の由来	○		○				『新得町七十年史』昭和47(1972)年3月, pp21~pp22
1480	十勝	新得町	昭和九, 十年の冷水害		○					『新得町七十年史』昭和47(1972)年3月, pp62~pp63
1481	十勝	新得町	突如台風来る		○					『新得町七十年史』昭和47(1972)年3月, pp89~pp90
1482	十勝	新得町	十勝岳爆発		○					『新得町七十年史』昭和47(1972)年3月, pp102~pp104
1483	十勝	新得町	台風九, 十号災害の発生		○					『新得町七十年史』昭和47(1972)年3月, pp104~pp106
1484	十勝	新得町	狩勝線路の大欠壊		○					『新得町七十年史』昭和47(1972)年3月, pp286~pp287
1485	十勝	新得町	開墾組合の成立		○					『新得町史』昭和30(1955)年5月31日, pp33
1486	十勝	新得町	洪水禍人命を奪う		○					『新得町史』昭和30(1955)年5月31日, pp49~pp50
1487	十勝	新得町	橋梁		○					『新得町史』昭和30(1955)年5月31日, pp263~pp264
1488	十勝	清水町	地形の概況				○			『清水町史』昭和27(1982)年1月, pp3
1489	十勝	清水町	松浦武四郎の足跡	○		○				『清水町史』昭和27(1982)年1月, pp4
1490	十勝	清水町	災害, 水害, 台風(風害)		○	○				『清水町史』昭和27(1982)年1月, pp268~pp275
1491	十勝	清水町	地震, 噴火		○					『清水町史』昭和27(1982)年1月, pp286~pp287
1492	十勝	清水町	地勢				○			『清水町史』昭和27(1982)年1月, pp727~pp728
1493	十勝	清水町	本村の地名	○		○				『清水町史』昭和27(1982)年1月, pp738
1494	十勝	清水町	村名の由来	○		○				『清水町史』昭和27(1982)年1月, pp744

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1495	十勝	清水町	災害, 冷水害と凶作, その他の災害		○					『清水町史』昭和27(1982)年1月, pp824~pp828
1496	十勝	清水町	「清水」の由来	○		○				『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp29~pp30
1497	十勝	清水町	御影の火砕流		○		○			『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp36~pp37
1498	十勝	清水町	佐幌川と芽室川, 芽室川の出水	○			○			『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp48~pp51
1499	十勝	清水町	佐幌川の水系	○			○			『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp51~pp53
1500	十勝	清水町	十勝川の右岸(西側)の水系(佐幌川と芽室川を除く), 十勝川左岸(東側)	○			○			『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp52~pp54
1501	十勝	清水町	「トカチ」の語源	○		○				『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp82~pp83
1502	十勝	清水町	「讃岐団体」の入殖		○			○		『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp137~pp140
1503	十勝	清水町	火と水の洗礼, 「十勝橋」と水害		○					『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp310~pp312
1504	十勝	清水町	明治, 大正期の水害		○					『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp397~pp398
1505	十勝	清水町	水害の追い打ち		○					『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp405~pp410
1506	十勝	清水町	林野火災と「森林防火組合」		○					『清水町百年史』平成17(2005)年2月, pp415~pp416
1507	十勝	芽室町	位置, 地勢				○			『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp3~pp6
1508	十勝	芽室町	北伏古地区		○			○		『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp56~pp57
1509	十勝	芽室町	座談会の記録		○					『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp63~pp64
1510	十勝	芽室町	芽室付近の地名と語源	○		○				『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp72~pp74
1511	十勝	芽室町	十勝沖大地震		○					『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp123~pp124
1512	十勝	芽室町	開町以来の大暴風		○					『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp126~pp127
1513	十勝	芽室町	台風二十号被害甚大		○					『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp148~pp149
1514	十勝	芽室町	打ち続く凶作水害		○					『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp227~pp230
1515	十勝	芽室町	打ち続く農業被害		○					『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp252~pp254
1516	十勝	芽室町	水害		○					『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp265~pp266
1517	十勝	芽室町	上美生の消防と大火		○					『芽室町八十年史』昭和57年(1982)9月1日, pp681~pp682
1518	十勝	芽室町	明治三十一年の大洪水		○					『芽室町五十年史』昭和27(1952)年12月, pp71~pp76
1519	十勝	芽室町	移住の頃(古老の談話)		○					『芽室町五十年史』昭和27(1952)年12月, pp90
1520	十勝	芽室町	またも凶作水害		○					『芽室町五十年史』昭和27(1952)年12月, pp126~pp131
1521	十勝	芽室町	下美生(シモビセイ)		○					『芽室町五十年史』昭和27(1952)年12月, pp566~pp567
1522	十勝	芽室町	ピウカ川の護岸竣工		○					『芽室町五十年史』昭和27(1952)年12月, pp609
1523	十勝	芽室町	十勝の地名と語源	○		○				『芽室町五十年史』昭和27(1952)年12月, pp652~pp660
1524	十勝	中札内村	・地勢 ・地質, 土壌				○			『中札内村史』昭和43(1968)年11月6日, pp1~pp2
1525	十勝	中札内村	十勝沖地震		○					『中札内村史』昭和43(1968)年11月6日, pp6~pp7
1526	十勝	中札内村	地名解			○				『中札内村史』昭和43(1968)年11月6日, pp435~pp436
1527	十勝	更別村	地形・地質, 土壌				○			『更別村史』昭和47(1972)年9月1日, pp3~pp8
1528	十勝	更別村	十勝川団体について		○			○		『更別村史』昭和47(1972)年9月1日, pp42~pp44
1529	十勝	更別村	山田嘉一郎と伍位団体		○			○		『更別村史』昭和47(1972)年9月1日, pp47~pp49
1530	十勝	更別村	青森団体の悲劇		○			○		『更別村史』昭和47(1972)年9月1日, pp63
1531	十勝	更別村	草原と柏林ー開拓者の生活の違い		○					『更別村史』昭和47(1972)年9月1日, pp66~pp68
1532	十勝	更別村	「勢雄」地名考	○		○				『更別村史』昭和47(1972)年9月1日, pp78
1533	十勝	更別村	昭和5年(1930年)ー豊作貧乏		○					『更別村史』昭和47(1972)年9月1日, pp178
1534	十勝	更別村	十勝沖地震		○					『更別村史』昭和47(1972)年9月1日, pp442~pp443
1535	十勝	大樹町	地勢, 地質, 地形				○			『新・大樹町史』平成7(1995)年3月1日, pp7~pp9
1536	十勝	大樹町	町名の起源	○		○				『新・大樹町史』平成7(1995)年3月1日, pp31~pp32
1537	十勝	大樹町	蝦夷地, トカチの探検	○		○				『新・大樹町史』平成7(1995)年3月1日, pp84~pp87
1538	十勝	大樹町	大樹橋		○					『新・大樹町史』平成7(1995)年3月1日, pp191~pp192
1539	十勝	大樹町	凶荒・災害 ・蝦夷地・明治期の凶荒 ・大正期の大水害 ・昭和6年の凶作 ・昭和7年の水害凶作 ・昭和10年の風水害 ・十勝沖地震		○					『新・大樹町史』平成7(1995)年3月1日, pp263~pp275

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1540	十勝	大樹町	自然災害(風水害, 地震)		○					『新・大樹町史』平成7(1995)年3月1日, pp942~pp945
1541	十勝	大樹町	大樹町の主な自然災害の記録(昭和40年代以降)		○					『新・大樹町史』平成7(1995)年3月1日, pp1102~pp1107
1542	十勝	大樹町	十勝国及大樹の地名考	○		○				『大樹町史』昭和44(1969)年3月30日, pp42~pp51
1543	十勝	大樹町	凶荒災害続く		○					『大樹町史』昭和44(1969)年3月30日, pp182~pp183
1544	十勝	大樹町	町の災害史		○					『大樹町史』昭和44(1969)年3月30日, pp821~pp833
1545	十勝	大樹町	国名の起源	○		○				『大樹町史』昭和28(1953)年2月26日, pp1
1546	十勝	大樹町	歴舟川		○		○			『大樹町史』昭和28(1953)年2月26日, pp123
1547	十勝	大樹町	地名解と名勝	○		○				『大樹町史』昭和28(1953)年2月26日, pp149~p150p
1548	十勝	広尾町	地形と地質				○			『新広尾町史』第1巻, 昭和53年(1978)10月28日, pp5~pp14
1549	十勝	広尾町	地名由来	○		○				『新広尾町史』第1巻, 昭和53年(1978)10月28日, pp83~pp95
1550	十勝	広尾町	野火		○					『新広尾町史』第2巻, 昭和55年(1980)3月30日, pp320~pp325
1551	十勝	広尾町	森林防火組合・愛護組合		○					『新広尾町史』第3巻, 昭和57年(1982)9月20日, pp772~pp780
1552	十勝	広尾町	広尾地方の地名解	○		○				『広尾町史』昭和35(1960)年12月, pp26~pp33
1553	十勝	広尾町	楽古地区, 西野塚		○					『広尾町史』昭和35(1960)年12月, pp212~pp218
1554	十勝	広尾町	花春, 紋別		○					『広尾町史』昭和35(1960)年12月, pp227~pp230
1555	十勝	広尾町	開墾と野火		○					『広尾町史』昭和35(1960)年12月, pp436~pp437
1556	十勝	広尾町	森林防火組合と愛護組合		○					『広尾町史』昭和35(1960)年12月, pp515~pp517
1557	十勝	広尾町	災害(八, 九, 十, 十四, 十五)		○					『広尾町史』昭和35(1960)年12月, pp942~pp963
1558	十勝	幕別町	幕別町の自然				○			『幕別町史』昭和42(1967)年9月15日, pp1~pp7
1559	十勝	幕別町	幕別周辺地域を含む地名の由来	○		○				『幕別町史』昭和42(1967)年9月15日, pp11~pp22
1560	十勝	幕別町	武山土平		○			○		『幕別町史』昭和42(1967)年9月15日, pp74~pp75
1561	十勝	幕別町	字名改称と地番整理			○				『幕別町史』昭和42(1967)年9月15日, pp287~pp290
1562	十勝	幕別町	災害 ・噴火・津波 ・台風・風害 ・地震 ・洪水		○					『幕別町史』昭和42(1967)年9月15日, pp754~pp762, pp771~pp772
1563	十勝	幕別町	冷害と水害		○					『幕別町百年史』平成8(1996)年10月1日, pp567
1564	十勝	幕別町	釧路沖地震発生		○					『幕別町百年史』平成8(1996)年10月1日, pp626
1565	十勝	幕別町	地震		○					『幕別町百年史』平成8(1996)年10月1日, pp1274~pp1280
1566	十勝	幕別町	火災		○					『幕別町百年史』平成8(1996)年10月1日, pp1280~pp1286
1567	十勝	幕別町	洪水		○					『幕別町百年史』平成8(1996)年10月1日, pp1286~pp1298
1568	十勝	幕別町(忠類村)	創成の大地				○			『忠類村史』平成12(2000)年12月1日, pp40~pp57
1569	十勝	幕別町(忠類村)	地名に残るアイヌ語	○		○				『忠類村史』平成12(2000)年12月1日, pp65~pp72
1570	十勝	幕別町(忠類村)	自然災害の試練		○					『忠類村史』平成12(2000)年12月1日, pp282~pp291
1571	十勝	幕別町(忠類村)	自然災害の爪痕		○					『忠類村史』平成12(2000)年12月1日, pp571~pp574
1572	十勝	幕別町(忠類村)	農業被害と対策		○					『忠類村史』平成12(2000)年12月1日, pp620~pp623
1573	十勝	池田町	地形と地質				○			『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp5~pp10
1574	十勝	池田町	アイヌ語地名解	○		○				『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp59~pp67
1575	十勝	池田町	災害に泣く大正		○					『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp118~pp120
1576	十勝	池田町	連年の災害に泣く		○					『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp143~pp144
1577	十勝	池田町	戦後の主な災害		○					『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp263~pp264
1578	十勝	池田町	災害と農民移住		○			○		『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp343~pp344
1579	十勝	池田町	明治二十九年十月二日大津に上陸		○			○		『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp345~pp346
1580	十勝	池田町	苦闘の農産		○					『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp417
1581	十勝	池田町	山火事と森林防火組合		○					『池田町史』上巻, 昭和63(1988)年10月1日, pp693~pp695
1582	十勝	池田町	治水		○					『池田町史』下巻, 平成元(1989)年3月, pp175~pp202
1583	十勝	豊頃町	アイヌ語地名解	○		○				『豊頃町史』昭和45(1971)年2月, pp58~pp64
1584	十勝	豊頃町	アイヌ民族の伝説 ・カンチューが行くぞォ!! ・桑原ツウレサンの談話	○						『豊頃町史』昭和45(1971)年2月, pp67~pp68
1585	十勝	豊頃町	水害		○					『豊頃町史』昭和45(1971)年2月, pp532~pp539

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1586	十勝	豊頃町	その他の災害 ・地震 ・風害		○					『豊頃町史』昭和45(1971)年2月, pp539～pp541
1587	十勝	豊頃町	災害 ・地震 ・水害 ・火災		○					『豊頃町史』昭和45(1971)年2月, pp933～pp943
1588	十勝	豊頃町	地勢				○			『豊頃町史』昭和45(1971)年2月, pp1195～pp1205
1589	十勝	豊頃町	地質 ・地質概況 ・豊頃町に発達する地層 ・豊頃丘陵 ・第四紀段丘群 ・地下資源 ・土壌				○			『豊頃町史』昭和45(1971)年2月, pp1206～pp1232
1590	十勝	豊頃町(大津村)	十勝の地質(平野), 地質構造				○			『大津村史』平成12(2000)年3月, pp5～pp11
1591	十勝	豊頃町(大津村)	十勝国名考察	○		○				『大津村史』平成12(2000)年3月, pp27～pp30
1592	十勝	豊頃町(大津村)	十勝川洪水		○					『大津村史』平成12(2000)年3月, pp103～pp105
1593	十勝	本別町	地形				○			『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp3～pp11
1594	十勝	本別町	土壌				○			『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp31～pp33
1595	十勝	本別町	アイヌ語地名	○		○				『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp100～pp111
1596	十勝	本別町	大水害		○					『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp171
1597	十勝	本別町	災害による不況と生活改善運動		○					『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp182～pp183
1598	十勝	本別町	水害, 冷害とその善後策		○					『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp239～pp240
1599	十勝	本別町	風害, 水害, 虫害		○					『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp251
1600	十勝	本別町	大水害に動揺		○					『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp459～pp461
1601	十勝	本別町	洪水の被害		○					『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp480
1602	十勝	本別町	五六災害		○					『追補本別町史』平成4(1992), pp132～pp133
1603	十勝	本別町	カンチュウ	○						『追補本別町史』平成4(1992), pp346
1604	十勝	本別町	利別川の河童	○						『追補本別町史』平成4(1992), pp348～pp349
1605	十勝	本別町	災害の発生		○					『追補本別町史』平成4(1992), pp455～pp456
1606	十勝	本別町	自然災害による農業被害		○					『追補本別町史第二巻』平成24(2002)年10月, pp233～pp236
1607	十勝	本別町	最初の水害		○					『本別町史』昭和52(1977)年3月, pp463～pp464
1608	十勝	本別町	明治以前		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp32～pp33
1609	十勝	本別町	明治三年の大水害		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp39～pp43
1610	十勝	本別町	本別川の大氾濫		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp49～pp52
1611	十勝	本別町	明治44年の水害		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp52～pp54
1612	十勝	本別町	暴風雨及び降霜の被害		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp55～pp57
1613	十勝	本別町	大正八年及び同一年の水害		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp71～pp74
1614	十勝	本別町	災害事故		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp81
1615	十勝	本別町	水害, 冷害とその善後策		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp122～pp127
1616	十勝	本別町	災害の状況		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp138
1617	十勝	本別町	本別市街災害図		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp163
1618	十勝	本別町	(タイトルなし)		○					『本別町五十年史』昭和28(1953)年10月10日, pp366～pp367
1619	十勝	足寄町	アショロの語源	○		○				『足寄町史』昭和48(1973)年7月, ページ番号なし(冒頭から7枚目)
1620	十勝	足寄町	土質				○			『足寄町史』昭和48(1973)年7月, pp28～30
1621	十勝	足寄町	土壌				○			『足寄町史』昭和48(1973)年7月, pp31～36
1622	十勝	足寄町	一五号台風		○					『足寄町史』昭和48(1973)年7月, pp389～390
1623	十勝	足寄町	地名解 付 地域集落地	○		○				『足寄町史』昭和48(1973)年7月, pp1207～1219
1624	十勝	足寄町	雌阿寒岳の噴火		○					『足寄百年史』上巻, 平成19(2007)年3月, 口絵
1625	十勝	足寄町	雌阿寒岳の噴火		○					『足寄百年史』上巻, 平成19(2007)年3月, pp13～pp14
1626	十勝	足寄町	阿寒岳の伝説 I, II	○						『足寄百年史』上巻, 平成19(2007)年3月, pp71～pp72

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1627	十勝	足寄町	アイヌ語地名解	○		○				『足寄百年史』上巻, 平成19(2007)年3月, pp75～pp83
1628	十勝	足寄町	町内のアイヌ語地名	○		○				『足寄百年史』上巻, 平成19(2007)年3月, pp85
1629	十勝	足寄町	農業災害		○					『足寄百年史』上巻, 平成19(2007)年3月, pp312～pp314
1630	十勝	足寄町	水害, 地震		○					『足寄百年史』上巻, 平成19(2007)年3月, pp430～pp431
1631	十勝	足寄町	山火事		○					『足寄百年史』下巻, 平成22(2010)年3月, pp245～pp246
1632	十勝	足寄町	火災記録		○					『足寄百年史』下巻, 平成22(2010)年3月, pp344
1633	十勝	足寄町	河川改修		○					『足寄百年史』下巻, 平成22(2010)年3月, pp360～pp362
1634	十勝	足寄町	風水(雪)害		○					『足寄百年史』下巻, 平成22(2010)年3月, pp363～pp369
1635	十勝	足寄町	地震		○					『足寄百年史』下巻, 平成22(2010)年3月, pp373～pp374
1636	十勝	陸別町	地形				○			『陸別町史』通史編, 平成6(1994)年3月1日, pp4～pp5
1637	十勝	陸別町	地勢, 地質				○			『陸別町史』通史編, 平成6(1994)年3月1日, pp11～pp15
1638	十勝	陸別町	消防団の発足		○					『陸別町史』通史編, 平成6(1994)年3月1日, pp463～pp464
1639	十勝	陸別町	自然災害		○					『陸別町史』通史編, 平成6(1994)年3月1日, pp467～pp470
1640	十勝	陸別町	森林火災		○					『陸別町史』通史編, 平成6(1994)年3月1日, pp475～pp476
1641	十勝	陸別町	伝説, アイヌ語地名	○		○				『陸別町史』通史編, 平成6(1994)年3月1日, pp816～pp832
1642	十勝	陸別町	地名史料	○		○				『陸別町史』史料編, 平成3(1991)年3月1日, pp351～pp362
1643	十勝	浦幌町	町内地名の解説	○		○				『浦幌町百年史』平成11(1999)年12月, pp58～pp60
1644	十勝	浦幌町	町内の地名由来	○		○				『浦幌町百年史』平成11(1999)年12月, pp60～pp75
1645	十勝	浦幌町	河川改修, 災害復旧		○					『浦幌町百年史』平成11(1999)年12月, pp710～pp713
1646	十勝	浦幌町	災害		○					『浦幌町百年史』平成11(1999)年12月, pp714～pp725
1647	十勝	浦幌町	地形				○			『浦幌町史』昭和46年3月, pp2
1648	十勝	浦幌町	河川				○			『浦幌町史』昭和46年3月, pp12
1649	十勝	浦幌町	一. 厚内 (二. 上厚内) 三. 静内 四. 豊北 五. 十勝太 六. 直別	○		○				『浦幌町史』昭和46年3月, pp57～pp69
1650	十勝	浦幌町	十勝沖地震と復興		○					『浦幌町史』昭和46年3月, pp525～pp528

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1651	釧路	釧路市	たびかさなる地震		○					『新修釧路市史』第三巻, 平成8(1996)年3月29日, pp466~pp470
1652	釧路	釧路市	十勝沖地震とその後の港湾再建		○					『新修釧路市史』第四巻, 平成9(1997)年, pp42~pp53
1653	釧路	釧路市	釧路の基盤				○			『新釧路市史』第1巻, 昭和49(1974)年9月25日, pp42~pp43
1654	釧路	釧路市	地質構造の骨ぐみ				○			『新釧路市史』第1巻, 昭和49(1974)年9月25日, pp60~pp61
1655	釧路	釧路市	金属資源と火山の鉱床				○			『新釧路市史』第1巻, 昭和49(1974)年9月25日, pp64~pp65
1656	釧路	釧路市	阿寒カルデラの誕生				○			『新釧路市史』第1巻, 昭和49(1974)年9月25日, pp91~pp92
1657	釧路	釧路市	大正九年の大洪水		○					『新釧路市史』第1巻, 昭和49(1974)年9月25日, pp735~pp740
1658	釧路	釧路市	地境地史				○			『釧路市史』昭和32年9月15日, pp1~pp6
1659	釧路	釧路市	地名史	○		○				『釧路市史』昭和32年9月15日, pp7~pp27
1660	釧路	釧路市	災害		○					『釧路市史』昭和32年9月15日, pp616~pp630
1661	釧路	釧路市(阿寒町)	伝説に見るアカン	○						『阿寒町史』昭和41(1966)年10月16日, pp57~pp58
1662	釧路	釧路市(阿寒町)	昔を語るアイヌの地名	○		○				『阿寒町史』昭和41(1966)年10月16日, pp59~pp68
1663	釧路	釧路市(阿寒町)	大正九年の水害		○					『阿寒町史』昭和41(1966)年10月16日, pp121~pp122
1664	釧路	釧路市(阿寒町)	災害復旧工事について		○					『阿寒町史』昭和41(1966)年10月16日, pp236~pp237
1665	釧路	釧路市(阿寒町)	阿寒の地名伝説	○		○				『阿寒町史』昭和41(1966)年10月16日, pp695~pp696
1666	釧路	釧路市(阿寒町)	地系および地質				○			『阿寒町史』昭和41(1966)年10月16日, pp1051~pp1069
1667	釧路	釧路市(音別町)	地域環境				○			『音別町史』昭和60(1985)年12月, pp3~pp6
1668	釧路	釧路市(音別町)	地名考	○		○				『音別町史』昭和60(1985)年12月, pp10~pp19
1669	釧路	釧路市(音別町)	治山・治水		○					『音別町史』昭和60(1985)年12月, pp642~pp646
1670	釧路	釧路市(音別町)	主な火災発生記録		○					『音別町史』昭和60(1985)年12月, pp900~pp903
1671	釧路	釧路市(音別町)	災害, 防災		○					『音別町史』昭和60(1985)年12月, pp919~pp926
1672	釧路	釧路市(音別町)	十勝沖地震		○					『音別町史』昭和60(1985)年12月, pp933~pp942
1673	釧路	釧路市(音別町)	洪水からの牛の救出		○					『音別町史』昭和60(1985)年12月, pp1129~pp1130
1674	釧路	釧路市(音別町)	郷土の伝説	○						『音別町史』昭和60(1985)年12月, pp1154~pp1164
1675	釧路	釧路町	地勢				○			『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp7~pp18
1676	釧路	釧路町	気象災害・地震と津波		○					『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp23~pp25
1677	釧路	釧路町	湿原の地形・地質				○			『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp40~pp44
1678	釧路	釧路町	釧路町の地名解	○		○				『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp113~pp140
1679	釧路	釧路町	釧路川大洪水と流送の終息		○					『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp745~pp746
1680	釧路	釧路町	火災発生記録		○					『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp1082~pp1083
1681	釧路	釧路町	災害		○					『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp1087~pp1111
1682	釧路	釧路町	治水		○					『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp1112~pp1121
1683	釧路	釧路町	鶴が野生になった由来	○						『釧路町史』平成2(1990)年8月31日, pp1327~pp1329
1684	釧路	厚岸町	位置・広さ・地勢・地質・河川				○			『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月1日, pp1~pp3
1685	釧路	厚岸町	厚岸の地名について	○		○				『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月1日, pp34~pp42
1686	釧路	厚岸町	尾幌川の氾濫と分水溝		○					『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月1日, pp272~pp274
1687	釧路	厚岸町	地震・津波・風水害		○					『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月1日, pp785~pp794
1688	釧路	厚岸町	山林火災		○					『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月1日, pp795~pp798
1689	釧路	厚岸町	冷水害		○					『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月1日, pp816~pp820
1690	釧路	厚岸町	厚岸町の概況, 厚岸町とその周辺地域の地史				○			『新厚岸町史』通史編第1巻, 平成24(2012)年11月31日, pp3~pp24
1691	釧路	厚岸町	地形, 地質と自然災害(地すべり, 地震, 津波)		○					『新厚岸町史』通史編第1巻, 平成24(2012)年11月31日, pp34~pp49
1692	釧路	厚岸町	厚岸町の字名, 厚岸町の大字と字, 太田村の大字と字	○		○				『新厚岸町史』通史編第1巻, 平成24(2012)年11月31日, pp261~pp279
1693	釧路	厚岸町	天災と伝染病		○					『新厚岸町史』通史編第1巻, 平成24(2012)年11月31日, pp671~pp674
1694	釧路	厚岸町	大地震と大風被害の復旧		○					『新厚岸町史』通史編第1巻, 平成24(2012)年11月31日, pp797~pp798
1695	釧路	厚岸町	有珠山噴火と善光寺		○					『新厚岸町史』通史編第1巻, 平成24(2012)年11月31日, pp941~pp942
1696	釧路	厚岸町	安政の大地震		○					『新厚岸町史』通史編第1巻, 平成24(2012)年11月31日, pp949~pp950
1697	釧路	厚岸町	厚岸の地名について	○		○				『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月, pp34~pp42
1698	釧路	厚岸町	尾幌川の氾濫と分水溝		○					『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月, pp272~pp274
1699	釧路	厚岸町	尾幌の入殖		○			○		『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月, pp291~pp293
1700	釧路	厚岸町	地震, 津波, 風水害		○					『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月, pp785~pp793
1701	釧路	厚岸町	山林出火		○					『厚岸町史』上巻, 昭和50(1975)年2月, pp794~pp798
1702	釧路	浜中町	地形				○			『浜中町史』昭和50(1975)年月, pp5~pp10
1703	釧路	浜中町	町内の地名由来	○		○				『浜中町史』昭和50(1975)年月, pp39~pp44

No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1704	釧路	浜中町	二つの津波		○					『浜中町史』昭和50(1975)年月, pp695～pp703
1705	釧路	標茶町	地勢				○			『標茶町史』第1巻, 平成10(1998)年3月20日, pp3～pp5
1706	釧路	標茶町	標茶町とその周辺の地質				○			『標茶町史』第1巻, 平成10(1998)年3月20日, pp8～pp39
1707	釧路	標茶町	治水対策		○					『標茶町史』第1巻, 平成10(1998)年3月20日, pp56～pp58
1708	釧路	標茶町	摩周火山の噴火と縄文人		○		○			『標茶町史』第1巻, 平成10(1998)年3月20日, pp243～pp244
1709	釧路	標茶町	山火事の続発		○					『標茶町史』第1巻, 平成10(1998)年3月20日, pp862～pp863
1710	釧路	標茶町	大正二年の大凶作		○					『標茶町史』第1巻, 平成10(1998)年3月20日, pp884～pp886
1711	釧路	標茶町	北海道開拓と移民							『標茶町史』第2巻, 平成14(2000)年3月20日, pp59～pp61
1712	釧路	標茶町	関東大震災と補助移民政策		○			○		『標茶町史』第2巻, 平成14(2000)年3月20日, pp64～pp66
1713	釧路	標茶町	十勝沖地震		○					『標茶町史』第3巻, 平成18(2006)年3月20日, pp12～pp13
1714	釧路	標茶町	標茶のアイヌ語地名	○		○				『標茶町史』第3巻, 平成18(2006)年3月20日, pp727～pp731
1715	釧路	標茶町	自然災害(二度の大震災)		○					『標茶町史』第3巻, 平成18(2006)年3月20日, pp761～pp763
1716	釧路	弟子屈町	位置・面積・地勢				○			『弟子屈町史』昭和56(1981)年3月31日, pp3～pp4
1717	釧路	弟子屈町	地質				○			『弟子屈町史』昭和56(1981)年3月31日, pp61～pp98
1718	釧路	弟子屈町	弟子屈地名調	○		○				『弟子屈町史』昭和56(1981)年3月31日, pp121～pp137
1719	釧路	弟子屈町	災害の記録		○					『弟子屈町史』昭和56(1981)年3月31日, pp294～pp299
1720	釧路	弟子屈町	山火事とのたたかい		○					『弟子屈町史』昭和56(1981)年3月31日, pp300～pp301
1721	釧路	弟子屈町	災害の記録		○					『弟子屈町史』昭和56(1981)年3月31日, pp655～pp661
1722	釧路	弟子屈町	治山・治水		○					『弟子屈町史』昭和56(1981)年3月31日, pp672～pp673
1723	釧路	弟子屈町	災害		○					『弟子屈町史』更科源蔵編, 昭和24(1949)年, pp246～pp250
1724	釧路	弟子屈町	弟子屈地名調	○		○				『弟子屈町史』更科源蔵編, 昭和24(1949)年, pp257～pp280
1725	釧路	鶴居村	自然環境				○			『鶴居村史』昭和62(1987)年9月20日, pp3～pp7
1726	釧路	鶴居村	地名考	○		○				『鶴居村史』昭和62(1987)年9月20日, pp9～pp16
1727	釧路	鶴居村	災害		○					『鶴居村史』昭和62(1987)年9月20日, pp899～pp902
1728	釧路	鶴居村	初期の災害		○					『鶴居村史』昭和41(1966)年, pp97
1729	釧路	鶴居村	戦後の農業		○					『鶴居村史』昭和41(1966)年, pp119～pp120
1730	釧路	鶴居村	災害		○					『鶴居村史』昭和41(1966)年, pp254～pp255
1731	釧路	白糠町	町名の由来と庁内地名解	○		○				『白糠町史 上巻』昭和62(1987)年10月, pp130～pp152
1732	釧路	白糠町	白糠町の地誌				○			『白糠町史 上巻』昭和62(1987)年10月, pp156～pp163
1733	釧路	白糠町	その地質と構造と				○			『白糠町史 上巻』昭和62(1987)年10月, pp164～pp174
1734	釧路	白糠町	恐怖の十勝沖地震		○					『白糠町史 上巻』昭和62(1987)年10月, pp974～pp978
1735	釧路	白糠町	地域及び地名史	○		○				『白糠町史』昭和29(1954)年10月, pp1～pp6
1736	釧路	白糠町	災害		○	○				『白糠町史』昭和29(1954)年10月, pp7～pp8
1737	釧路	白糠町	大正九年の水害		○					『白糠町史』昭和29(1954)年10月, pp141～pp142
1738	釧路	白糠町	鉄道の災害		○					『白糠町史』昭和29(1954)年10月, pp260
1739	釧路	白糠町	震災		○					『白糠町史』昭和29(1954)年10月, pp348～pp349
1740	釧路	白糠町	アイヌ語地名解	○		○				『白糠町史』昭和29(1954)年10月, pp371～pp374



No.	振興局	市町村名 (旧名)	タイトル	記載の内容						市町村史名, 出版時期, ページ番号
				アイヌ伝承等	災害	地名	地形地質	移住	その他	
1741	根室	根室市	厚岸郡界より納沙布岬の海岸地名	○		○				『根室市史』上巻, 昭和43(1968)年7月30日, pp3~pp24
1742	根室	根室市	地質, 地勢				○			『根室市史』上巻, 昭和43(1968)年7月30日, pp27~pp28
1743	根室	根室市	山火事		○					『根室市史』下巻, 昭和43(1968)年7月30日, pp500~pp501
1744	根室	根室市	災害		○					『根室市史』上巻, 昭和43(1968)年7月30日, pp809~pp814
1745	根室	別海町	火の山 摩周火山				○			『別海町百年史』昭和53(1978)年10月7日, pp36~pp39
1746	根室	別海町	地名解	○		○				『別海町百年史』昭和53(1978)年10月7日, pp208~pp209
1747	根室	別海町	関東大震災と許可移民		○			○		『別海町百年史』昭和53(1978)年10月7日, pp321~pp322
1748	根室	別海町	相次ぐ災害の発生		○					『別海町百年史』昭和53(1978)年10月7日, pp454
1749	根室	別海町	山火事の頻発状況		○					『別海町百年史』昭和53(1978)年10月7日, pp1220
1750	根室	別海町	昭和40年代の災害		○					『別海町百年史』昭和53(1978)年10月7日, pp1601~pp1602
1751	根室	中標津町	摩周カルデラと火山灰				○			『中標津町史』昭和56年(1981)6月, pp23~pp28
1752	根室	中標津町	開拓の進展と地名, 地名の由来, 川筋と山の地名	○		○				『中標津町史』昭和56年(1981)6月, pp75~pp117
1753	根室	中標津町	許可移民制度					○		『中標津町史』昭和56年(1981)6月, pp400~pp402
1754	根室	中標津町	昭和三十五年の融雪災害, 十勝岳爆発被害と凶作, 昭和三十九年の凶作		○					『中標津町史』昭和56年(1981)6月, pp585~pp589
1755	根室	中標津町	森林愛護組合と山火		○					『中標津町史』昭和56年(1981)6月, pp613~pp615
1756	根室	中標津町	中標津の地名	○		○				『中標津町五十年史』平成7(1995)年7月1日, pp61~pp63
1757	根室	中標津町	地名の由来	○		○				『中標津町五十年史』平成7(1995)年7月1日, pp67~pp74
1758	根室	中標津町	川筋と山の地名	○		○				『中標津町五十年史』平成7(1995)年7月1日, pp74~pp83
1759	根室	中標津町	釧路沖地震被害		○					『中標津町五十年史』平成7(1995)年7月1日, pp303~pp304
1760	根室	中標津町	戦後の恐慌災害		○					『中標津町五十年史』平成7(1995)年7月1日, pp547~pp549
1761	根室	中標津町	北海道東方沖地震		○					『中標津町五十年史』平成7(1995)年7月1日, pp555~pp584
1762	根室	標津町	位置, 地形, 地質, 気象				○			『標津町史』第一巻, 昭和43(1968)年10月, pp1~pp9
1763	根室	標津町	アイヌ伝説	○						『標津町史』第一巻, 昭和43(1968)年10月, pp76~pp80
1764	根室	標津町	古地名解	○		○				『標津町史』第一巻, 昭和43(1968)年10月, pp80~pp88
1765	根室	標津町	川北地区の入植		○			○		『標津町史』第一巻, 昭和43(1968)年10月, pp242~pp243
1766	根室	標津町	許可移民制度始まる		○			○		『標津町史』第一巻, 昭和43(1968)年10月, pp274~pp279
1767	根室	標津町	十勝沖地震の被害		○					『標津町史』第一巻, 昭和43(1968)年10月, pp453~pp454
1768	根室	標津町	山火		○					『標津町史』第一巻, 昭和43(1968)年10月, pp676
1769	根室	標津町	本町の過去における主なる災害		○					『標津町史』第二巻, 昭和54(1979)年3月, pp662
1770	根室	羅臼町	地形, 河川, 火山, 地質				○			『羅臼町史』第1巻, 昭和45年(1960)9月15日, pp2~pp9
1771	根室	羅臼町	豪雨災害		○					『羅臼町史』第1巻, 昭和45年(1960)9月15日, pp168~pp171
1772	根室	羅臼町	五・一〇暴風雪災害発生		○					『羅臼町史』第1巻, 昭和45年(1960)9月15日, pp194~pp199
1773	根室	羅臼町	四・六突風災害発生		○					『羅臼町史』第1巻, 昭和45年(1960)9月15日, pp218~pp223
1774	根室	羅臼町	一・五暴風雪災害		○					『羅臼町史』第1巻, 昭和45年(1960)9月15日, pp237~pp238
1775	根室	羅臼町	字名改正	○		○				『羅臼町史』第1巻, 昭和45年(1960)9月15日, pp247~pp252
1776	根室	羅臼町	ひん発地震発生		○					『羅臼町史』第1巻, 昭和45年(1960)9月15日, pp257~pp260
1777	根室	羅臼町	台風二十三号		○					『羅臼町史』第1巻, 昭和45年(1960)9月15日, pp260~pp261
1778	根室	羅臼町	台風二十号		○					『羅臼町史』第2巻, 昭和58年(1960)9月15日, pp26~pp27
1779	根室	羅臼町	台風二十四号被害発生		○					『羅臼町史』第2巻, 昭和58年(1960)9月15日, pp59~pp60
1780	根室	羅臼町	治山事業の概要		○					『羅臼町史』第2巻, 昭和58年(1960)9月15日, pp235~pp237
1781	根室	羅臼町	主な災害発生状況		○					『羅臼町史』第2巻, 昭和58年(1960)9月15日, pp515~pp520
1782	根室	羅臼町	地勢				○			『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp2~pp6
1783	根室	羅臼町	被害をもたらす突風の特徴		○					『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp24~pp25
1784	根室	羅臼町	災害に強い道づくり(岩盤崩落)		○					『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp322~pp323
1785	根室	羅臼町	自然災害		○					『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp437~pp447
1786	根室	羅臼町	災害記録の一覧		○					『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp447~pp450
1787	根室	羅臼町	底無の沼	○						『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp476
1788	根室	羅臼町	知床で山火事発生		○					『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp488
1789	根室	羅臼町	治山関連の主な被害		○					『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp791~pp793
1790	根室	羅臼町	精神(シウジン)川の地すべり治山工事(国有林)		○					『羅臼町百年史』平成13(2001)年5月, pp794~pp797